

HETALIA ANIMATION OFFICIAL GUIDE

Axis Powers ヘタリア

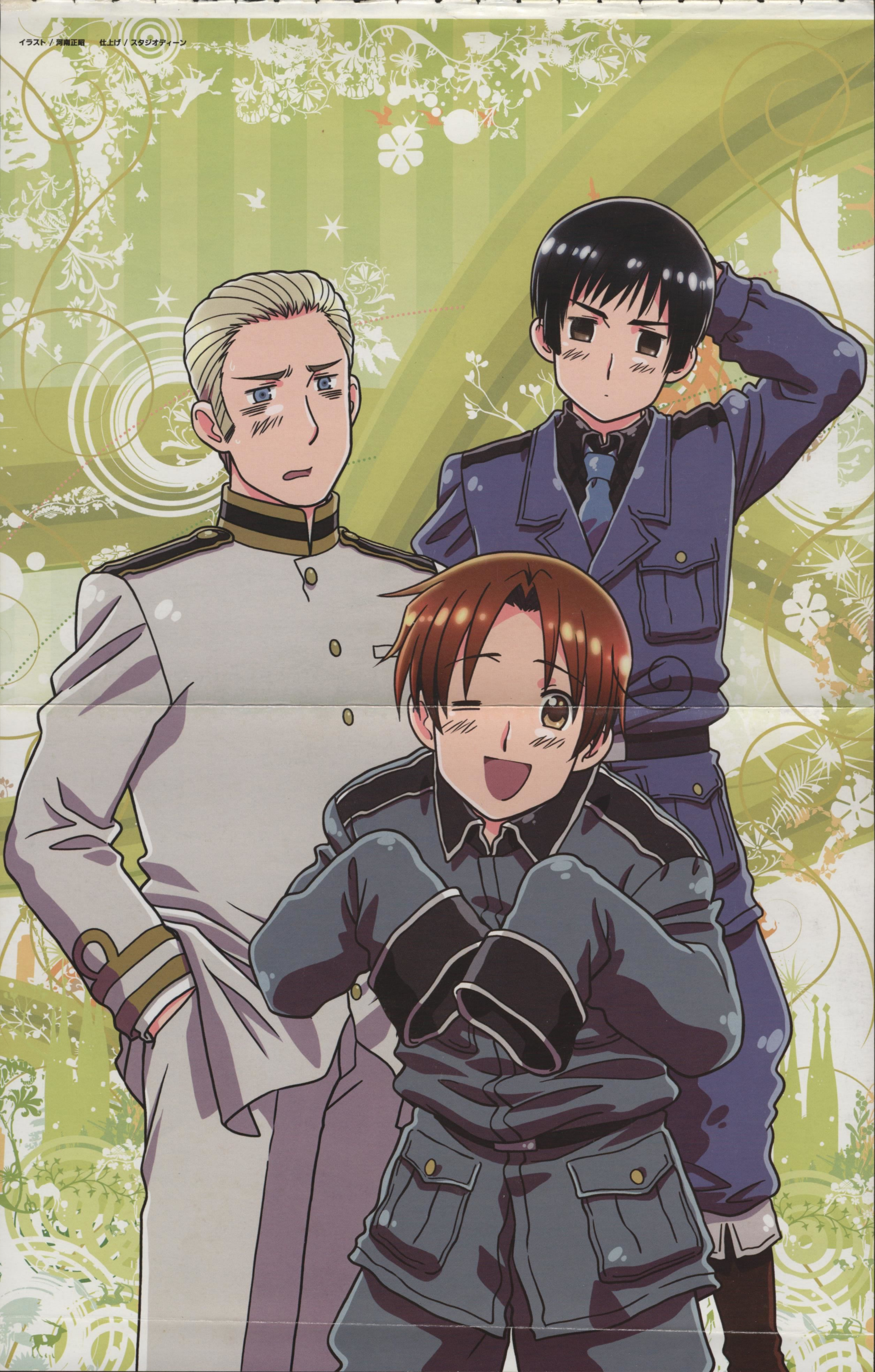
アニメオフィシャルガイド

GENTOSHA COMICS 幻冬舎コミックス

ISBN978-4-344-81937-5
C0979 ¥1900E
定価：本体1900円＋税
発行=幻冬舎コミックス
発売=幻冬舎




イラスト／河南正昭　仕上げ／スタジオティーン


イラスト／河南正昭　仕上げ／スタジオディーン


ヘタリア
Axis Powers
アニメオフィシャルガイド

CONTENTS



初出：アニメファンブック ワールドワイドウォーキング 表紙
(幻冬舎コミックス刊)

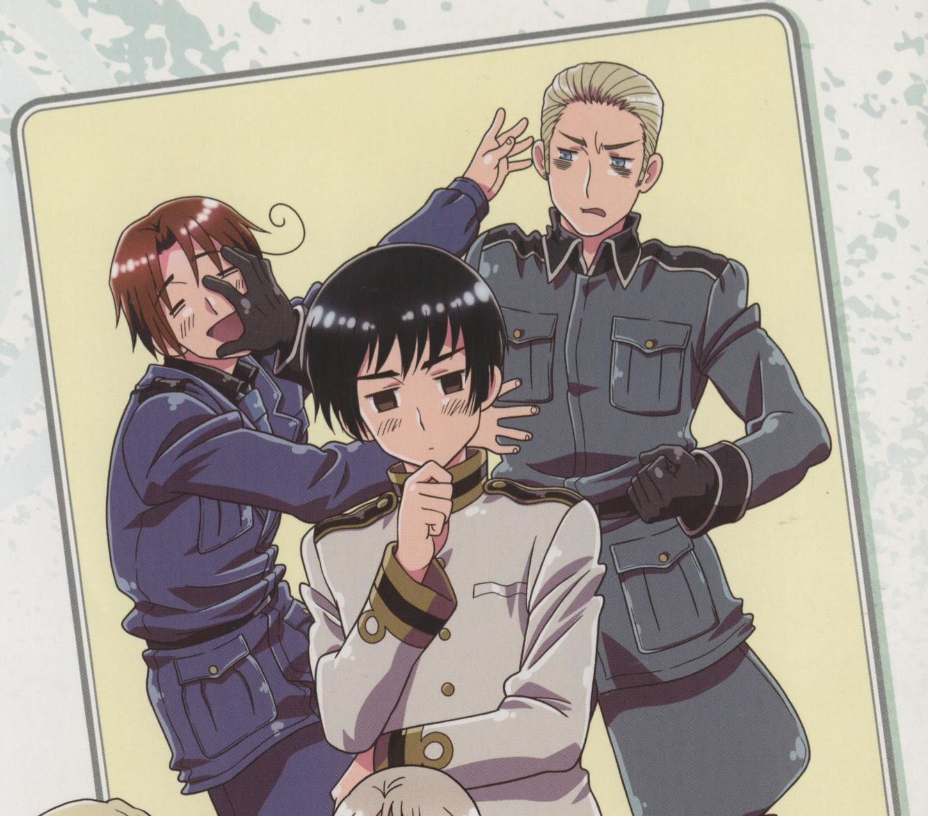
Illustration Gallery 1

Illustration Gallery 1





初出：月刊アニメディア
2009年1月号
(学研パブリッシング刊)



初出：月刊アニメディア
2009年2月号
(学研パブリッシング刊)



初出：キービジュアル第2弾



初出：月刊アニメージュ
2009年11月号
（徳間書店刊）



初出：月刊アニメージュ2009年2月号（徳間書店刊）



初出：月刊アニメージュ
2010年1月号（徳間書店刊）



初出：月刊アニメディア
2010年1月号
(学研パブリッシング刊)



初出:プリンスアニメージュ
2009秋(徳間書店刊)



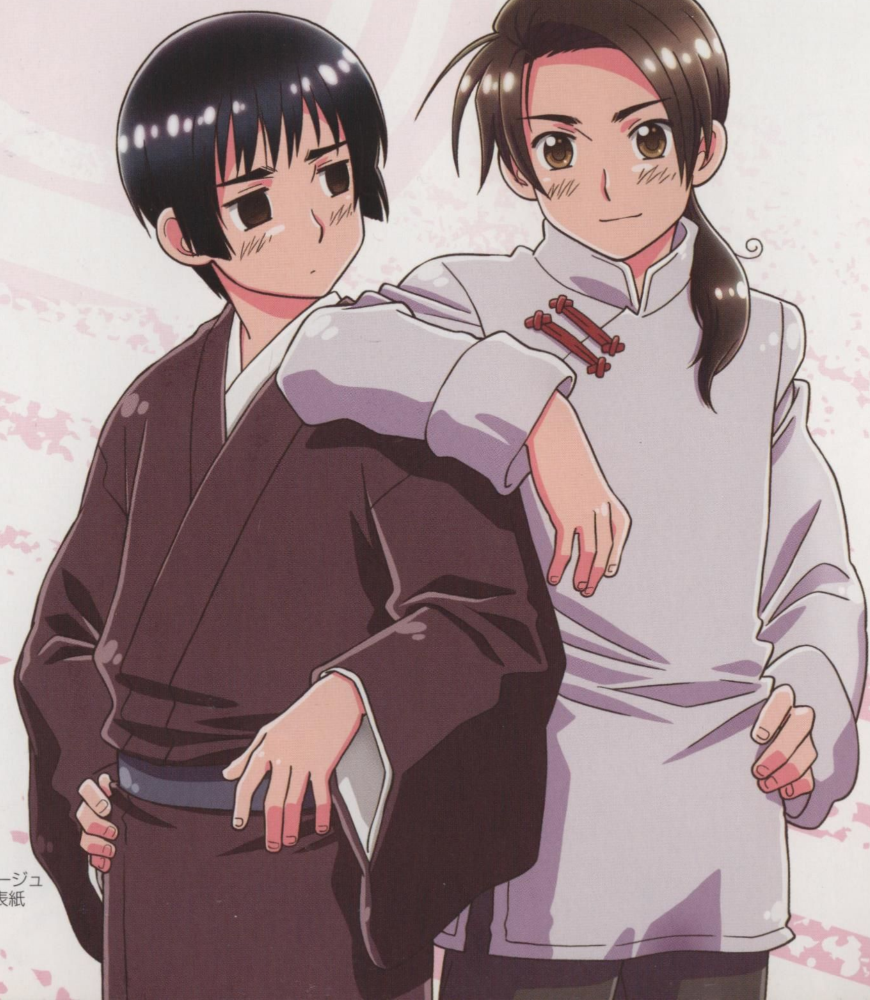
初出：月刊アニメージュ
2009年9月号(徳間書店刊)



初出：月刊アニメージュ
2009年10月号
(徳間書店刊)



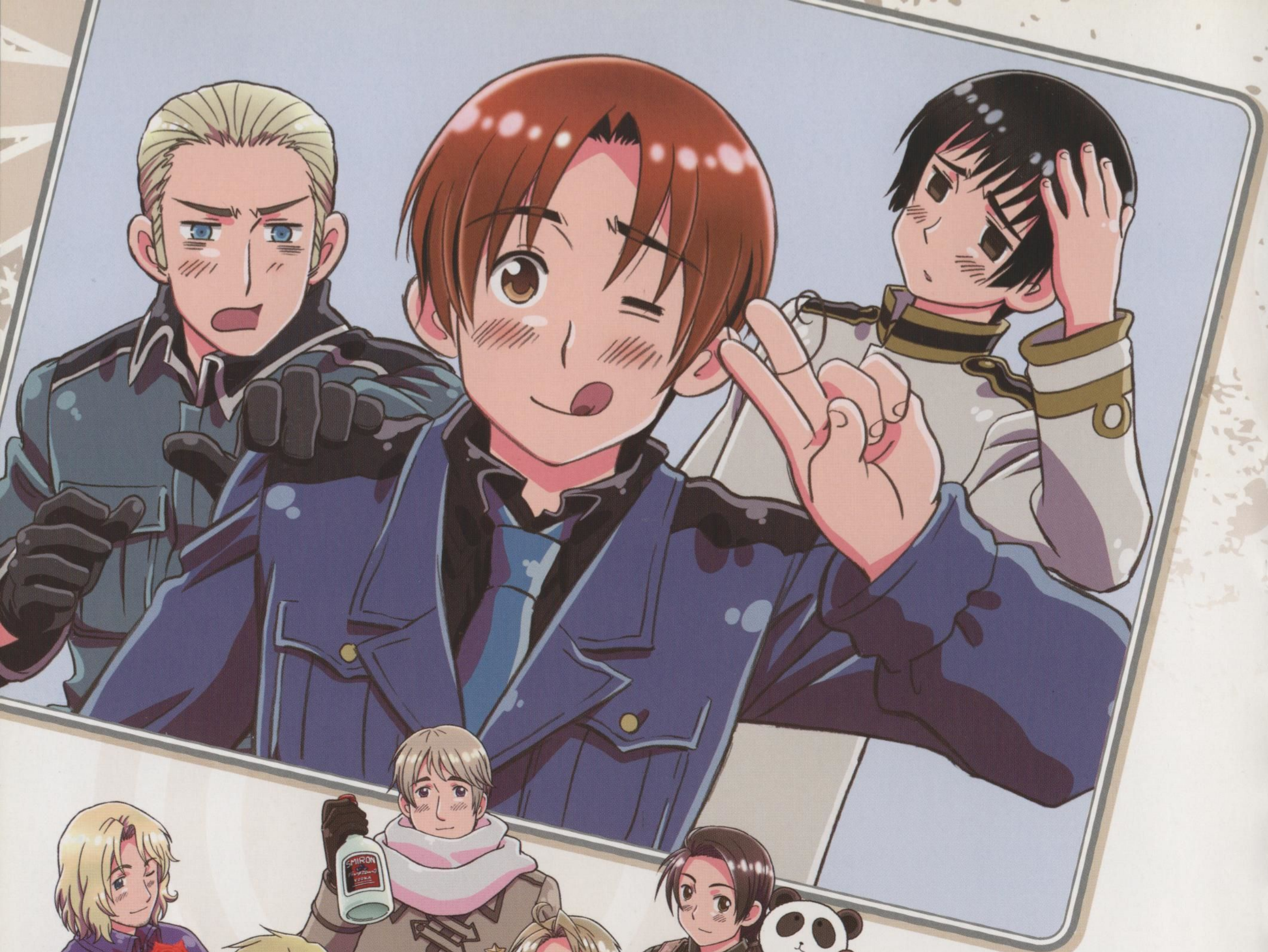
初出：月刊PASH！
2009年5月号表紙
(主婦と生活社刊)



初出：月刊アニメージュ
2009年11月号表紙
(徳間書店刊)



初出：月刊アニメディア
2010年2月号
(学研パブリッシング刊)





初出：アニメ 絵コンテ集1～3表紙
(幻冬舎コミックス刊)



初出：月刊PASH！
2010年3月号
(主婦と生活社刊)



初出：ニュータイプ・ロマンス
2009 WINTER(角川書店刊)



初出：アニメDVDジャケット
Vol.1～Vol.6
(フロンティアワークス)

ヘタリア Axis Powers
アニメオフィシャルガイド

HETALIA Story Guide 01~52



アニメ『ヘタリア Axis Powers』主題歌

まるかいて地球

作詞・作曲・編曲：紗希
うた：イタリア（CV：浪川大輔）



『ねえねえ　papa　ワインを頂戴
ねえねえ　mamma
昔に食べたボロネーゼの
あの味が忘れられないんだ』

まるかいて地球　まるかいて地球
まるかいて地球　僕　ヘタリア

まるかいて地球　ジッとみて地球
ひょっとして地球　僕　ヘタリア

アア　ひとふでで　見える　素晴らしい世界
長ぐつで乾杯だ！ヘタリア

『あ〜おなかすいた　俺、パスタが食べたいなあ〜』

まるかいて地球　まるかいて地球
まるかいて地球　僕　ヘタリア

まるかいて地球　ハッとして地球
ふんぞりかえって　地球　僕　ヘタリア

アア　ひとゆでで　泣ける　幸せのレシピ
『麺はアルデンテだ』
夢のチャック全開だ！ヘタリア

ヘイヘイ　fratello　パスタを頂戴
ついでに　sorella　ゆでといて下さい
オイオイ　nonno　平和がええわ〜
ハイハイ　bambino　『ボクのためでしゅか？』
ぐいぐい　papa　ワインも頂戴

ねえねえ　mamma
ねえねえ　mamma
昔に食べたボロネーゼの
あの味が忘れられないんだ

ヘタリア　ヘタリア　ヘタレ　ヘタリア

まるかいて地球　まるかいて地球
まるかいて地球　僕　ヘタリア

アア　ひとふでで　見える　素晴らしい世界
長ぐつで乾杯だ！ヘタリア

アア　世界中に　眠る　幸せのレシピ
長ぐつで探検だ！ヘタリア





世界会議

個性豊かな国々がそろって、会議は大紛糾！まとめようとしたドイツだけれど!?











SCENE#1
躍る躍る世界会議
1話

世界の問題を協力しあって検討するはずの世界会議。しかしアメリカのトンデモ環境保護対策を皮切りに、みんなが勝手な事を言い出して、収拾がつかなくなってきた。そこに下されたドイツの一喝！　ドイツらしく整然とした仕切りに、他の国々も納得の様子。ようやく鎮まった会議場で、真っ先に挙手したイタリア。注目の発言は……。



▲日本の発言に噛みつくスイス。



▲イギリスは落ち着いてまっとうな意見を。しかしフランスが混ぜっ返す。







▲出た！　黒ロシア!!　ベラルーシの手にはさりげなくナイフまで!!













▼こんな大騒ぎの中、のんびり居眠りできるギリシャ。大物。



SCENE#35,38
G8のミステリー
35話・38話

G8（主要国首脳会議）が開催されたが、会場には7人しかいない。あとのひとりは誰だ……と首をかしげるなか、登場したのはカナダだった。(35話)
ふたたび開催されたG8。今度はカナダもいる、と確認したけれど、どうも腑に落ちないイギリス。それもそのはず、カナダは変装したシーランドだった！(38話)





▲どこにでも座ってしまうロシアに、思いっきり敷かれていた！



▲またG8会場で違和感をおぼえるイギリスに、墓穴を掘ったシーランド君。パパに作ってもらったというニセ毛も反対側だし。

三国同盟

ドイツとイタリア、運命の出会い。
あの時、トマトの木箱さえ開けなければ……。
ドイツの奮闘は続く。





▲この後ドイツはイタリアのお守り役に身を投じる事になるのでした。

SCENE#1,2 ドイツ、イタリアと出会ってしまう

1話・2話

時はWW1。ドイツはトマトの精…ではなく、イタリアと出会ってしまう。ひとまず捕まえてみたけれど、やけにくつろいでいる姿にドイツはイライラ。（1話・2話）





▲ドイツに逃亡を勧められても、女の子と話しただけで帰ってくるイタリア。ドイツ宅は居心地いいようだ。





◀ゴロゴロしていて緊張感のまったくないイタリアにドイツは呆然。



▶フランスは、負けたくせにドイツに巨額の賠償金を請求してきた。

フランスへの賠償金に苦しむドイツ。でも戦いが終わった事でイタリアとおさらばできたしな、と自分を慰めているところへ、仕事を求めてイタリアがやってきた！即刻追い返そうとしたドイツだが、イタリアの泣き落としに、結局仕事を与えてしまうのだった。





▶給料は９億マルク！でも、卵が32億マルク！「びっくりだよね～」

SCENE#3 イタリアが戻ってきた！

3話



▲純真な笑顔で友だちになりたいと言われて、心が動くドイツ。

SCENE#3 ドイツ、イタリアと同盟を結ぶ

3話

ドイツにもたらされたバッド・ニュース、それはイタリアが味方になった事。思いっきり拒否したドイツだが、めげないイタリアに「ドイツとなら友だちになれそうな気がするんだ」と言われ、ついほだされてしまう。



▲まぶしいほどの魔法の言葉「友だち」に乗せられてしまったドイツ。魔が差すとはこの事か。

結局…



▲砂漠でもパスタを茹でるイタリアに、ドイツの胃痛は増すばかりだった。



▲戦う時に使うもの＝白旗。ドイツの分も徹夜で作ったそうで、イタリアなりに張り切ってはいるが。

▼イタリアの準備はパスタパスタパスタ…。



SCENE#5 イタリアの戦闘準備

5話

イタリアが戦う準備をしてきた。早速見せてもらったドイツはぎょっとする。さらにイタリアが作ったという「戦いに使えるもの」にちょっぴり期待するドイツ。しかし……。噛み合わないまま、同盟関係は続いていく。

▼ドイツから挨拶をしてくれたけど、イタリアは不満そう。





SCENE#11 ドイツまで8センチ

11話



▲身長差を気にしていたイタリア。悔し涙？



◀ドイツに合わせようと背伸びをしたら、つま先が！



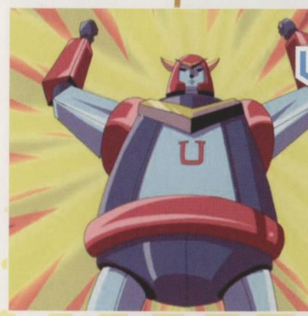
SCENE#4
ミステリアスに日本登場
4話

▲イタリアとドイツに新しい仲間が！ 少し前まで引きこもっていた日本だ。



▲ドイツもコタツではついまったりとしてしまう。

イタリアとドイツに仲間ができた。控えめだけど、勤勉で真面目な日本。日本の冬の必須アイテム、こたつでくつろぎながら、三国同盟締結（?）。





▲▶小型化も巨大ロボ化もお任せ！ ドイツ自慢のUボートもあっという間にアレンジ。

SCENE#33
星に願いを…
33話

アフリカ戦線で、星に願いをかけるイタリアに「子どものような事を」と呟いたが、自分も祈りだしたら止まらなくなってしまったドイツ！ しかもイタリア絡みの願い事ばかり。



▼星に祈るドイツ。けっこう目が真剣だ。





▲イタリアのお願いを聞いたドイツは、自分が頭痛になりそう。

SCENE#34
イタリアの輝かしい戦歴
34話

イタリアが珍しく真剣に何かを見てる…と思って声をかけた日本。しかしその中身は！



▲ふとどきものー！ 日本も呆れたイタリアの“戦歴”。





▲イタリアの戦歴と聞いて興味津々の日本だったが、そこに載っていたのは…。

苦悩のドイツ軍日誌

イタリアがヘマをするたびに西へ東へ誰か俺の苦労をわかってくれ……。





▲訊かれてもいないうちから、ドイツの秘密を暴露するイタリア。何気にいろいろ詳しい。









SCENE#8
イタリア捕まる
8話

不吉なベルの音が鳴る……と、予想どおりイタリアの助けを求める声！ でもしばらくすると返品されるから大丈夫、と思っていたドイツ。しかし、イギリスの奸計（?）に引っかかってしまった。毅然と対応するドイツだったが……。



◀せっかく助けにきたのに、イタリアの裏切り（?）に遭ったドイツは……。

SCENE#27
ドイツの苦悩
27話

ドイツ軍の日誌を手に入れた連合。どんな秘密が読めるかと思えば、そこに書かれていたのは、イタリアのために東奔西走するドイツの苦悩だった。

▼意気揚々と報告するアメリカ。これでドイツ軍対策を！





▲すっかりテンションの下がった連合側。



▲イタリアが何かするたびに、忙しいなか尻ぬぐいに走り回るドイツ。限界だけど、愚痴を言う相手がいなかった…。

▼珍しく頑張ってエジプトを攻めたイタリアだが、あっさり負けそうになり、ドイツを呼び出す。



連合会議

悪の枢軸を倒すため、頑張ろう！
アメリカのかけ声も勇ましくはじまる連合会議。

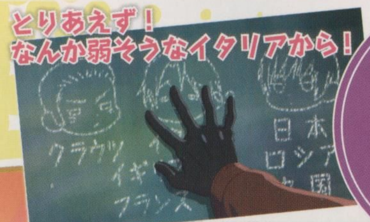


SCENE#7
つまりオレがヒーローだ！
7話

連合の会議が始まった。アメリカの演説に続いて、作戦が伝えられる…はずなのだが、食べたり飲んだりしながら話すから、何を言っているのかわからない。まあ要するに「オレがヒーロー」って言いたいらしいのだ。



▶アメリカの結論にげんなりするイギリス。真剣に聞いて損した！





▲イギリスに注意され、ハンバーガーを食べるのをやめたアメリカだが、今度はシェイクを飲みだした。

SCENE#19
どこでも中華街
19話



▲会議室に中国の仲間が大量にやってきた！そしてあっという間に中華街が登場!!



▼きりっと宣言する中国。でも遅刻した理由って、料理していたから…？



ある日の会議には中国が遅刻。しかもまったく悪びれずに、自分のポリシーを押し通す。そんなマイペースぞろいの連合会議に、今度は意外なメンバーが参加していた！ 驚く連合側の様子にまったく気付かず、食事の心配をするイタリア。やっぱりイタリアにスパイは無理だった。

SCENE#19
イタリアのスパイ大作戦
19話





▶まさかのイタリアの登場に、一堂唖然……そして騒然!! なんで敵なのにここにいる!?



◀今日の会議は終了！ 会議の内容は重要機密だから外部に洩らさないように……と、アメリカが締めたところ、大きな声で返事がかえってきた！



SCENE#9
まとまらない連合
9話



アメリカの提案

▶各々の役割分担について、アメリカの提案にみんなドン引きだ。





▶フランス相手だと意見が合うイギリスとアメリカ。



▲フランスがケンカするふたりに「まずダサい服をどうにかしろ」と指導。

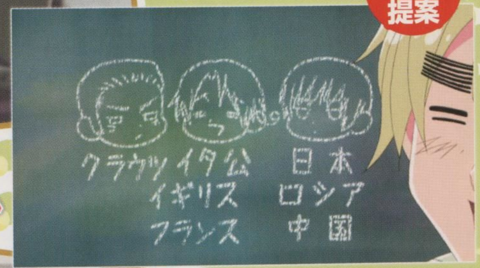


中国の提案



▲また遅れて登場した中国の提案は勝手に!?

イギリスの提案



▲最初の議題に戻って仕切り直しだ。



またある日の会議では、イギリスとアメリカが早速ケンカ。仲裁に入ったかに見えたフランスもふたりの神経を逆なでして、三つどもえの争いに発展。中国の提案で、さらに会議は混乱。相変わらずまとまりのない連合メンバーであった。

ちびたりあ

遠い昔、イタリアがまだ小さかった頃の物語…



SCENE#1,2, 4-11,21,22,39,47

ちびたりあ物語

1話・2話・4話～11話・21話・22話・39話・47話

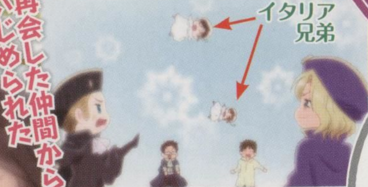
子どもだったイタリアは、戦争に負けてオーストリアの召使いになった。そこで出会った神聖ローマは、イタリアを女の子だと思い恋心を抱くが、不器用で思いを伝えられない。やがて別れが…？（1話・2話・4～11話・21話・22話・39話・47話）



▲ローマじいちゃんとふたりで暮らしていた頃は、絵を描いたりして幸せだったイタリア。



▲昔イタリアは、ローマという国でみんなと暮らしていた。





◀あっという間に負けてしまったイタリア。弱かった…。



▲召使いになっても心配なのはごはんのこと!?





◀規律にうるさいオーストリアは怖い存在。でもステキなピアノを聴かせてくれる。

SCENE#1,2,4-11,21,22,39,47&SCENE#48&SCENE#52



◀神聖ローマが扉を開けたらイタリアがいてビックリ。





▶食いしん坊なイタリアにわざわざ食べ物をあげたのに、口に合わなかったようだ…。







▲閉じ込められたイタリアを心配する神聖ローマ。逆に怖がらせてしまう。



▲イタリアに絵を習う神聖ローマ。





▲イタリアのためにネズミを退治しようとするが、ネズミの逃げ込んだ先は!?



▶ハンガリーがイタリアに洋服を着せてくれた。



▲ギスギスしていたオーストリアの家。朝になると、家にいたのは3人だけ。みんな去ってしまったのだ…。



▲イタリアに思いを告げる神聖ローマ。でもイタリアは…？



▲別れを知ったイタリアは、持っていたデッキブラシを渡す。



▲街を出ていくことになった神聖ローマ。イタリアを置いて遠い所へ行くことに…。

別れの日…

▼密かに描いたイタリアの絵をにぎりしめる神聖ローマ。



▼やっと素直に言えた…。





▶手を振って去っていく神聖ローマ。この後ふたりは…？



SCENE#52
こっち来ちゃだめ！
52話





▲イタリアが裸で川に入ってきた！真っ赤になる神聖ローマ。

川で水遊びをしていた神聖ローマ。そこへイタリアがやってきたから大慌て！

SCENE#48
イタリアの贈り物
48話

◀ある日、好きな歌を歌っていると…。





◀声変わりは成長のあかし。ハンガリーは喜んでいるが…？



▶オーストリアもイタリアの性別を誤解していたようだ。

小さい頃は女の子みたいだったイタリアも、やがて成長し声変わりするが…。

学園ヘタリアのクリスマス



新聞部の今回の調査テーマは「クリスマス」
みんなはどんなクリスマスを過ごすのかな。



▶出た！　とても食べ物には見えないアメリカのケーキ。



▲突然現れ、宣言して去ったスイス。静かに過ごしたいようだ。




▲お世話になった人にプレゼントしたりするイタリアに比べ、クリスマス商戦に明け暮れる日本はちょっと恥ずかしそう。

SCENE#31
クリスマスの過ごし方を突撃調査！
31話





◀ツリーを飾れず残念そうな中国。

各人のクリスマス調査を開始した枢軸メンバー。イタリアは山をまるごとイルミネーションしたりと、やっぱり派手好き。アメリカも負けずに盛り上がる。ロシアはロシア正教の暦の関係で、1月7日がクリスマス。いろんなクリスマスを知って感心しきりのイタリアと日本に、ドイツから最後の質問が……。



◀ゴージャスでロマンティックなフランスのクリスマスにワインは欠かせない。

▼枢軸３人の合同クリスマス会決定！





▲サンタクロースの故郷、フィンランドはサウナも名物。クリスマスにも欠かせない！

アメリカの倉庫掃除

アメリカが気まぐれではじめた倉庫掃除。
そこに眠っていた数々の思い出は……。



SCENE#17,20
アメリカの倉庫掃除
17話・20話



▲過去にも何度かトライしたが、はかどらなかったようだ。

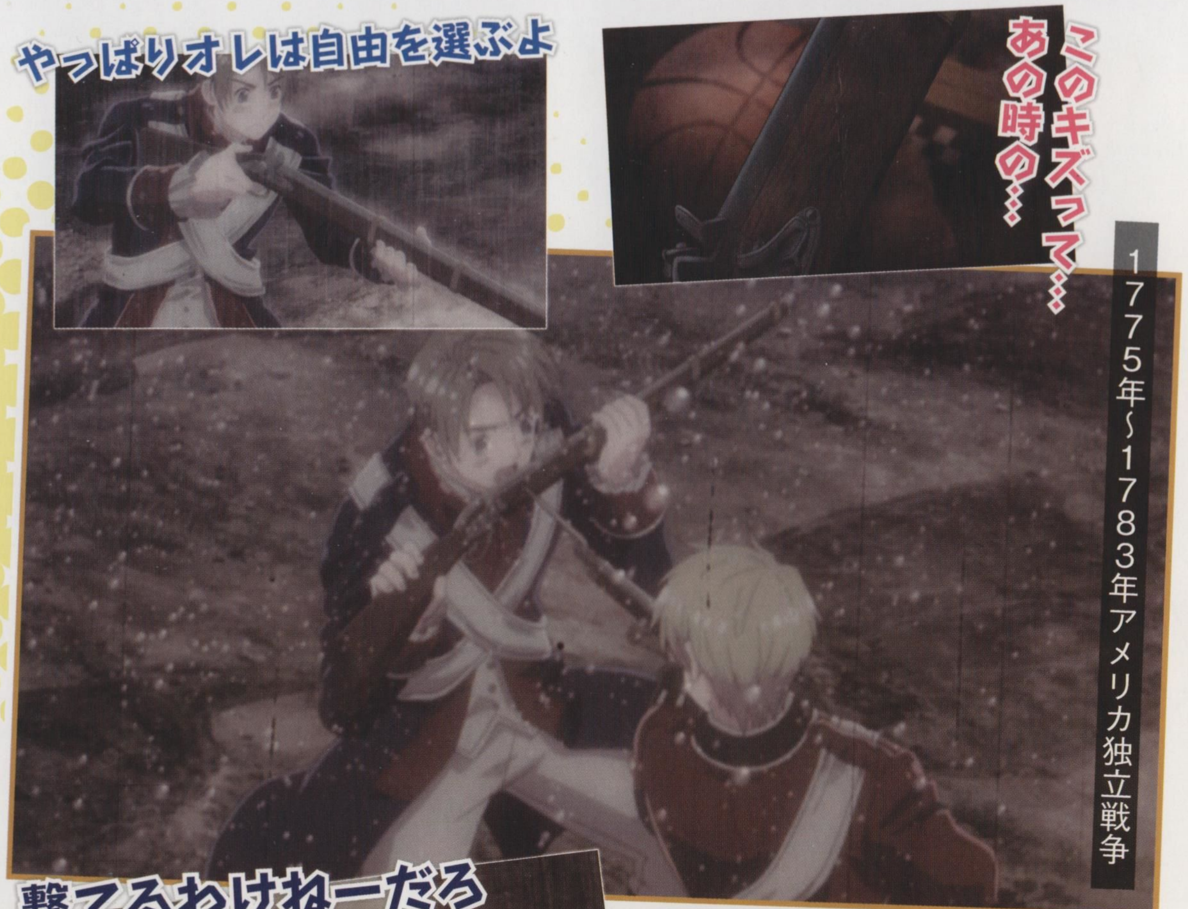
▶おもちゃの兵隊に大喜びのアメリカ。イギリスの手作りで、ひとつひとつちゃんと顔が違う凝ったものだ。「金づち使う時は気をつけろよ」…兵隊作りでケガをしたようだ。





◀いつもラフな服装のアメリカにタキシードをプレゼント。兄貴風をふかしながらもイギリスは嬉しそう。

ある晴れた日、アメリカは久しぶりに倉庫掃除をはじめた。古びたおもちゃももう使わないし、ずっと着ていないスーツももう必要ない…。その品々にまつわる思い出にちょっと切なくなったアメリカは、何かお宝はないかな、とさらに倉庫を探る。発見したのはマスケット銃。（17話）しかしそのキズを見たアメリカは、独立するためにイギリスと戦った時の記憶を呼び覚ましてしまい…。（20話）



▲イギリスからの独立を決意したアメリカ。イギリスの庇護下よりも自由を選んだのだが、イギリスにはそれが理解できず苦しむ。





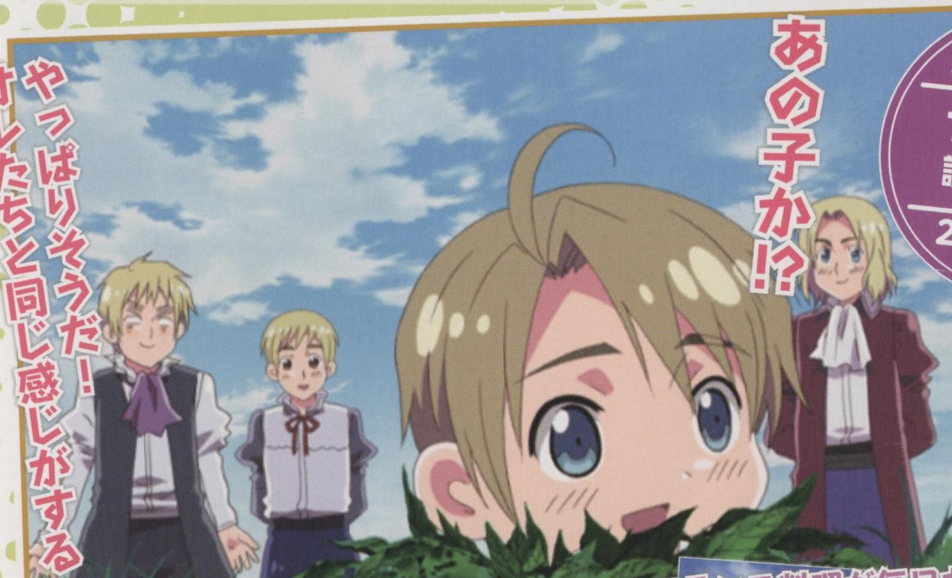
▼いつのまにかイギリスよりも大きくなってしまったアメリカ。懐かしいけれども、戻る事はできない。



アメリカの誕生と成長

新大陸に不思議な男の子が現れると
フィンランドから聞いたイギリスとフランス。





SCENE #25,40,47
アメリカの誕生と成長
25話・40話・47話

◀男の子が自分たちの仲間かどうか、確認にきたフランスとイギリス。自分の弟にしようとして争うふたりに、男の子は怯える。



◀▶フランスに対抗する手段がなく、落ち込むイギリスを心配するアメリカ。同情票でアメリカの兄はイギリスに決定だ。



フランスさえ殴れればそれでいい…とばかりに、常にフランスと争っているイギリス。新しい国を弟にしようと、フランスと争い、なんとか兄になれた。(40話)アメリカの味オンチはイギリスが育てた証だ。(25話)
保護者として、自由にのびのびと育てようと思ったイギリスだが、アメリカは予想以上のスピードでどんどん育ってしまった。(47話)



▲イギリス名物フィッシュ＆チップス（味は微妙）を美味しいものとして教えられる素直なアメリカ。



▶バッファローを振り回してはしゃぐアメリカ。広大な新大陸に生まれただけに、パワーがある。



◀アメリカに大物の素質を垣間見てしまったイギリス。この予感は当たってしまう…。



◀国に帰るイギリスを必死に引き留めていたちびは、あっという間に成長した。

徒労な条約

イギリスとフランスがポーランドを訪問。
2人の無駄な努力＝徒労とは……?



SCENE#47
マイペースなポーランド、恐るべし!
47話





▲ふたりの真剣さにまったくテンションが合わないポーランド。



◀ポーランドに同盟を持ちかけるイギリスとフランス。



▶ドイツへの対抗策を講じたというポーランドに、勇んで身を乗りだすふたりだが!

最近力をつけてきたドイツに対抗するために、同盟を結ぼうとポーランドに提案するイギリスとフランス。それに対してポーランドはまったく関係のない話をしてばかりで、ふたりを混乱させる。すっかり気力を奪われたイギリスとフランスは、ポーランドの家を辞した。こんな結果になった相互援助条約だが、フランスからは一言あるようで……。



フランス愛のうんちく劇場



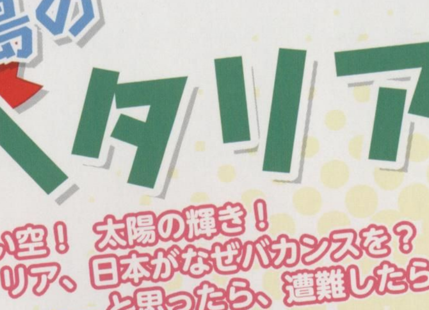


◀大人のゆとりを感じさせるフランス……ポーランドの言動に恐れをなしたなんて、まさか……?



▲「なんで帰るん～　わけわかんないし～」と呟くポーランド。イギリスとフランスは帰ってしまった。

南の島のヘタリア



青い海！　青い空！　太陽の輝き！
ドイツ、イタリア、日本がなぜバカンスを？
と思ったら、遭難したらしい。

SCENE#5,6
命名・チーム『枢軸』
5話・6話

遭難して南の島にいるイタリア、ドイツ、日本。そして枢軸を狙って、連合も上陸していた！（5話・6話）



▲日本もちょっぴり開放的な気分になっているようだ。









▲ドイツが描いた「うっすら世界情勢がわかった気になる図」。



▼すぐに対抗意識を燃やすアメリカに、イギリスは思いっきりイヤそうだ。





▼案の定、盛り上がらなかった。



SCENE#24
南の島の中華街
24話

そろそろ魚にも飽きてきたな、とドイツと日本が話している横で、イタリアが口にしているのは餃子！　ジャングルの中にお店があるという。行ってみるとそれは中国の別荘＝中華街だった!!





▲美味しい料理に、ドイツの必需品、ビールもある！





▲なぜ南の島に中華街が…。

SCENE#28
戦場のメリークリスマス
28話

いつものようにアメリカの合図でケンカが始まると、この日は特別ゲストが登場。場の空気をまったく気にせず、南の島に雪まで降らせて去っていった。何はともあれ、メリークリスマス！





▲戦闘開始！





▲今回は空の上から救いの手が？





▲みんなそれぞれが欲しかったプレゼントを手に、一時休戦。



SCENE#12-15,19-21,46,48,51

チーム枢軸の軍事訓練

ドイツの指導のもと、イタリア・日本も軍事訓練に参加！
どんな厳しい試練が待ち受けているのだろうか!?





▲どんどんエスカレートしていくドイツの危機的シミュレーション。

SCENE#12-15,19-21,46,48,51
これが驚きの
枢軸式軍事訓練！
12話～15話・19話～21話・46話・48話・51話



ドイツの指導で、軍人の心得から体力づくり、実技、と訓練を受けるイタリアと日本。それは見ているフランスががっかりするほど、低レベル（主にイタリア）。しかしドイツは諦めない！「やればできるはず」と信じて、三国同盟を支えていくのであった……。





◀▲脱走して女の子に声をかけていたイタリアだったが、ドイツに見つかって回収されてしまった。



▲「敵が降伏を求めてきた時、どうする!?」ドイツの質問に…。





◀敵情視察にきて落ち込むフランス。





▲寝坊して訓練に遅れるイタリアを起こすドイツ。



▲へろへろと走るイタリアを、ドイツは昼ご飯で釣って頑張らせる。



▲イギリス兵発見！　その瞬間、イタリアは世界記録なみの俊足に！





▲ピンを口で抜いて…と、手りゅう弾の使い方を指導したドイツだが、イタリアにやらせたら、なぜかピンの方が飛んできた!?





▲ドイツがロシアに行くため、ひとりになったイタリア。心細いけど、こんな時こそイタリア魂を発揮して頑張ると決意！



◀ふとイギリスが見上げると、崖の上で何かが…!?







▲敵地だというのに、のんきなイタリア。その後ろには敵の戦車が！



▲危なっかしいからヘルメットを着用するように言われたイタリアだが、頑なに拒否。ドイツに怒られてしまった。



イタリアの家族

イタリアの家族は個性派ぞろい！さてどんな人たち？



イタリアのおじいちゃんの名はローマ。帝国を名乗り強大な力を持っていたけれど、大きくなりすぎて滅んでしまった。ある日南の島で連合に囲まれたイタリアたち。そこにじいちゃんが現れた！


▼イタリアたちがピンチ！　その時夜空が明るくなって…？





◀ローマじいちゃんの美声が響く！驚いた連合は逃げ出した。

SCENE#18

登場！ローマじいちゃん

18話



◀ドイツの部屋に現れた謎の人物はローマ帝国を名乗った。


▲じいちゃんのローマ講座開講。



SCENE#32

地中海の覇者ローマじいちゃん

32話

孫のイタリアが心配なおじいちゃんは、ある日ドイツの家に侵入…？



◀元気なイタリアの姿に涙するじいちゃん。孫が心配なのだ。



◀栄えていたローマ帝国が消えた理由を質問するドイツ。真剣！

SCENE#7

兄のロマーノです

7話

イタリアの兄は南に住む「ロマーノ」。口が悪いけれどやっぱりヘタレ…？


▶ドイツが気に入らないのでわめいていると…。


◀フランス登場に大ショック！　フランスが怖いようだ。



▲ドイツに紹介されるなり暴言をはくロマーノ。



◀こりずにつけ髭を持ちだしてドイツに立ち向かうが…。





◀ほめてほしいと言ったら離れていくイタリアに、泣きだしてしまった…！

SCENE#23

兄弟ゲンカ？

23話

弟の家に泊まりにきたロマーノ。一緒に寝ようとするが、大変なことに⁉




▶余分なベッドがないので一緒に寝るが…。



▲深夜、ドイツにかかってきた電話はイタリアからのヘルプコール！　駆けつけてみると？



▶ベッドでの乱闘で髪の毛がからまり、とれなくなったようで…？

スイスとリヒテンシュタイン&オーストリア

スイスを兄と慕う、リヒテンシュタイン。ふたりはいつでも手をつないで一緒に歩く仲良し。







SCENE#23-25 お兄さまといっしょ 23話~25話

リヒテンシュタインはスイスのまねをして、髪を切ってしまう。おそろいの服で並んで歩く姿は、本当の兄妹のよう。(23話)

オーストリアに食事に誘われたスイスとリヒテンシュタイン。節約大好きなスイスは断れるはずもなく…。(24話)

リヒテンシュタインと過ごす時間に安らぎを感じるスイスだが、なぜかオーストリアの事を思い出し、取り乱してしまう。(25話)



▲弟と言われてショックを受けるリヒテンシュタインに、スイスはリボンを買ってあげる。





▶オーストリアにごちそうしてもらった食事だが、雰囲気は…。



◀オーストリアの家にいるプロイセンが、ジャマをしにきた! オーストリアも普段はスイスと同じく、つつましく暮らしているらしい。



◀プロイセンにムキになって言い返すオーストリアを、スイスに似ていると感じるリヒテンシュタイン。



▶スイスの言葉に、一緒に暮らしていた頃の思い出がよみがえるオーストリア。







▼リヒテンシュタインからのプレゼントには、感謝の手紙が添えられていた。









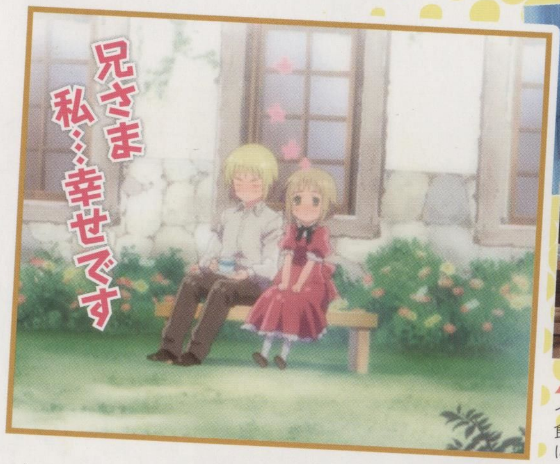
◀リヒテンシュタインとゆったり過ごすスイス。



▲またオーストリアと一緒にいた頃を思い出し、慌てるスイス。

SCENE#45 お兄さまと出会った日 45話

リヒテンシュタインはスイスに尋ねたい事があった。なぜあの日、助けてくれたのか。「放っておけなかった」というスイスの言葉に、幸せをかみしめるリヒテンシュタイン。







▲ぼろぼろのリヒテンシュタインを救ったスイス。スイスはリヒテンシュタインのために食事を切りつめる。ふたりは一緒に暮らす事になった。

ロシアを囲むひとびと

家に帰るとバルト三国が脅えながらお出迎え。そんなロシアも妹のベラルーシとウクライナ姉さんが悩みの種。



SCENE#29,37
ロシアとバルト三国
29話・37話

天然発言を連発するラトビアと、うっかり本音を洩らしてしまうリトアニア。ついにロシアの口からカタカタ音が出てきた！　早く出かけてくれないかなー、という心の声もロシアに伝わりまくりだ。ついに3人一緒に、シベリア行きの切符を手に入れてしまった。(29話・37話)





▲この後、ロシア骨折のニュースが世界中に配信された。





◀言葉も文化も民族も違うのに、まとめて「バルト三国」と呼ばれる3人。一緒のテーブルなのに、メニューもバラバラ。



▲ロシアを怒らせるとこんな怪奇な音が!?

◀シベリア行きのチケットを、ちゃんと3人分用意してくれたロシア…。









SCENE#42,43
ロシアと姉妹
42話・43話

ロシアのお姉ちゃんはウクライナ。貧乏だけど、ロシアと離れて暮らす決意をしている。一方、妹のベラルーシはロシア大好き！　あまりの執着ぶりにさすがのロシアも脅えてしまう。(42話・43話)

▼ちょっと貧乏なウクライナお姉ちゃんは、ガス代が払えない。上司には「ロシアちゃん禁止令」を出されている。







▶EU友だちを捜しているウクライナだが、気付いてもらえない。心配そうに見守るロシア。

▶昔はもっと仲良かったのに、と思い出にふけるロシアだが、実際に思い出したら、そうでもなかった。







◀フランスのラジオ番組に「ひとに好かれる方法を教えてほしい」と投稿したロシアだったが、パーソナリティがフランスなので、大人の恋愛限定でしか使えない答えが…。



◀ロシアに近づく者は取りあえず威嚇するベラルーシ。

いつかみんなの目に 留まる日を夢見て

存在感の薄いカナダは、ペットのクマ次郎さんにも名前を覚えてもらえないほど…。






▲怪しい気配がするとみんな騒ぎ出す。5人のはずなのに6人いる、とか言われる始末。

SCENE #19,44,49
誰？…カナダだよ
19話・44話・49話

同盟会議の席上、みんなが怪しい気配がすると言い出した。その原因はカナダ。アメリカに似てるけど存在感は正反対なカナダの、自己主張したいと苦闘する日々を描く。(19話・44話・49話)






▶アメリカに文句を言いにいったはずが、敵はチェーンソーを持っていた…。



▼キューバの所へ遊びに来たカナダ。またアメリカと間違えられてしまった…。



▼アメリカに間違われ、キューバに怒られたカナダ。素直に謝るキューバに、友情の予感が？





SCENE#52
キューバのお詫び
52話

こんにちは！シーランド君ですよ！

世界最小の国家（自称）シーランド君。イギリスが置いていった海上要塞が独立国家（自称）に。「イギリスの野郎がひれ伏すような」巨大帝国を目指している。






▲古い要塞なので、あちこち水モレが。でもシー君はいつでも明るく働き者。

SCENE#21
国になるにはどうするといいんですかー？
21話

世界会議に（自主的に）やってきたシーランド君。挨拶しても無視されるので、「なんだよみんなシャイだな」とちょっぴりスネ気味。でも常に前向きなシー君は、人のよさそうな国から話しかけてみる事にした。


▲まだ国として認められていない事に、ようやく気付いたシー君。

▼返事をしかける日本に、すかさずイギリスが相手にするな、と止める。







▼▶シー君に国のたいへんさを教えてあげるリトアニア。それを見て微笑むロシアが怖すぎる！



フランスより 愛をこめて

美食とワインをたしなみ、人生を愉しむフランス。そんなフランス兄さんの日々は、やはり愛に満ちている⁉



SCENE#12 フランスの結婚 12話

フランスがイギリスと結婚しようと画策。しかしイギリスはどうにか逃げおおせたようで、英仏合併は実現していない。



▲フランスの切羽詰まった様子にイギリスはおそれをなす。

▼連合の二次会に呼ばれなかったフランスは、戦力外扱いされたようで、屈辱を感じる。「思い出せ…！　強かったあの頃を…！」輝かしい戦歴に思いをはせるフランス。ええっと、フランスの戦歴とは…？

SCENE#10 フランスの必殺技 10話

フランスの戦いといえば女の子に頼ってるとからかわれたり、落とし穴にはまったりと、散々。フランスの神様は体調の悪い時が多いようだ。



フランスの必殺技 **漁夫の利** 略して ぺちぺち



(1740~48年) オーストリア継承戦争



▼プロイセンに負けたオーストリアを攻撃。



▼イギリスとの戦いで弱ったスペインを攻撃。



(1588年) イギリス スペインの無敵艦隊に勝利

SCENE#35 フランス・愛の祭典 35話

ギリシャの話をかったるそうに聞いていたフランスだが、オリンピックの話には大興奮！　とうとうアテネで近代オリンピックを開催してしまう。



▶フランスはオリンピアの遺跡を発掘しているギリシャに会う。





▲「なんだそのステキな祭り！　最高じゃないか!!」オリンピックネタに激しく食いつくフランス。

1896年4月6日　於：アテネ　第1回近代オリンピック開催



▶フランスに裸にされそうになったイギリス。スイスに助けてもらえた！

SCENE#41 フランスがイタリアをボコらない理由？ 41話

ドイツには激しく嫌がらせをするフランス。しかしなぜかイタリアの事はかばう。イギリスからイタリア2号機と呼ばれているうちに、親近感が…？







▲イギリスとフランスは、ドイツの悪い噂を流す事に。これが成功！

◀続けてイタリアも…と思ったら、なぜかフランスが大反対！　仕方ないのでイギリスはイタリアに嘘を教えに行く。



▲ドイツとイタリアの友情に嫉妬するふたりだった。





▲イギリスの嘘にショックを受けたイタリアは、なんと直接ドイツに確かめた。

日本の文明開化

文化の違いに驚くことばかりです…。



SCENE#15 食&裸のカルチャーショック 15話

アメリカに誘われて開国した日本。でも他国の人間との生活は驚くことばかり！ 枢軸の仲間が食べているのはエスカルゴ…？ それにすぐ裸になるのはなぜ？







欧米の食文化は驚くことがいっぱいです

▲イタリアもドイツもエスカルゴをおいしそうに食べているけれど、日本はちょっと食べられない…！

▼日本にとっては、人前で裸になるなんて…。





SCENE#44 これがアメリカ文化？ 44話

アメリカの家に行ったらケーキが出てきたのだが？





SCENE#49 開国とオカルト 49話

開国するなり流行ったのはオカルト。そして日本はフランスのまねをするが…？



▶流行の千里眼。日本も試してみるが…。





日本開国



◀◀布団にくるまってひきこもる日本。でもネコに反応して襖を開けた…。







SCENE#49 フランス文化をまねて 49話

▲投げキッスはもちろん、フランスがわざと言うことまでまねしちゃう日本。

▶アメリカが占いの道具を持ってきた。質問に答えてくれると言うのだが、じつは日本をビックリさせようというイタズラ！





SCENE#50 アメリカの占い 50話



◀占いを信じて本心を明かす日本に、アメリカも…。

アメリカの占いに、日本は自分の気持ちを打ち明ける。最近お疲れの日本だったが…。



▲日本と飲もうと盛り上がるが、当の日本は浮かない顔…。



SCENE#50 文明開化の結論は？ 50話



◀文明開化にちょっぴり疲れていた日本。外国から入ってきたペットを飼って、元気がでてきたようです

Ciao! イタリア観光

ゲーテがこの地を詩にして残したくなる気持ちがよくわかるぞ！

ようこそ歴史と美の国イタリアへ！
日本とドイツがイタリアの魅力を満喫!!



▶イタリア人気分で買い物を試みるドイツ。





▲慣れない笑顔が、恫喝しているようにしか見えない！ ロマーノの笑顔もひきつる。

SCENE#34 ドイツが一日イタリア人になってみる

34話

軍事行動はイケていないイタリアだが、風光明媚で美術品や遺跡をいっぱい持っている。イタリアを訪れたドイツは、イタリアの開放的な雰囲気にちょっと浮かれ気味。少しの間、イタリア人になりきってみようと決意した。しかしそこはドイツ。陽気に挨拶したつもりが……。



◀イタリア人の親切にご満悦のドイツ。異文化交流は難しい…。



▶普段は感情表現を抑えめの日本も感動を隠しきれない様子。

SCENE#15 イタリアの贈り物

15話

日本もイタリアを訪れて感激！ しかも贈り物があるという。どんなお宝が!? と思ったら、意外なものが！









▶イタリアから贈られたのは、なんと柱！ ポンペイの柱なので、考古学的な価値ある逸品だが。

白虎隊の地へ

白虎隊最後の地には、イタリアから送られたポンペイの柱とドイツから送られた石碑があります。「武士道の精神に捧ぐ」と刻まれていましたが、戦後アメリカの命令で削られたそうです。このニつは福島県会津で見ることができます。

もしもこんな……

もしもこんなDVDや喫茶店があったら？
仮想体験してみよう！









▲買い物をすると、レジには長蛇の列が。





◀ついにブチ切れたオーストリア。

SCENE#14 ドイツ人体験をしよう！

14話

『ドイツジンシミュレーター ホスタル4』で、ドイツ人になってみよう！ 効率の悪い行列待ちや迷惑な人々の中で、自分の忍耐力を試せるよ。とっても気になる映像特典付きで好評発売中らしい。



▲各国の勝手放題に耐えるドイツ。この苦渋を体験しよう！『ドイツジンシミュレーター』は通販で!!

▶店を出る時には、熱いものがこみ上げてくる。感動的な喫茶店なのだ。





▲喫茶ドイツは遅刻すると責められる…遅刻？

SCENE#33 こんな喫茶店はイヤだ！ Part1

33話

一、着いた瞬間遅刻を叱責される
二、メニューが口頭でのみ
三、制限時間がある

もしドイツが喫茶店をやったら、配給品のように決まった食事と制限時間で、ちっとも安らげないぞ。スペインの喫茶店は、脱力系。「インスタントしかないけどいいかな?」って…。

SCENE#33 こんな喫茶店はイヤだ！ Part2

33話



▼明るく元気に応対。好感度高そうな喫茶スペイン。



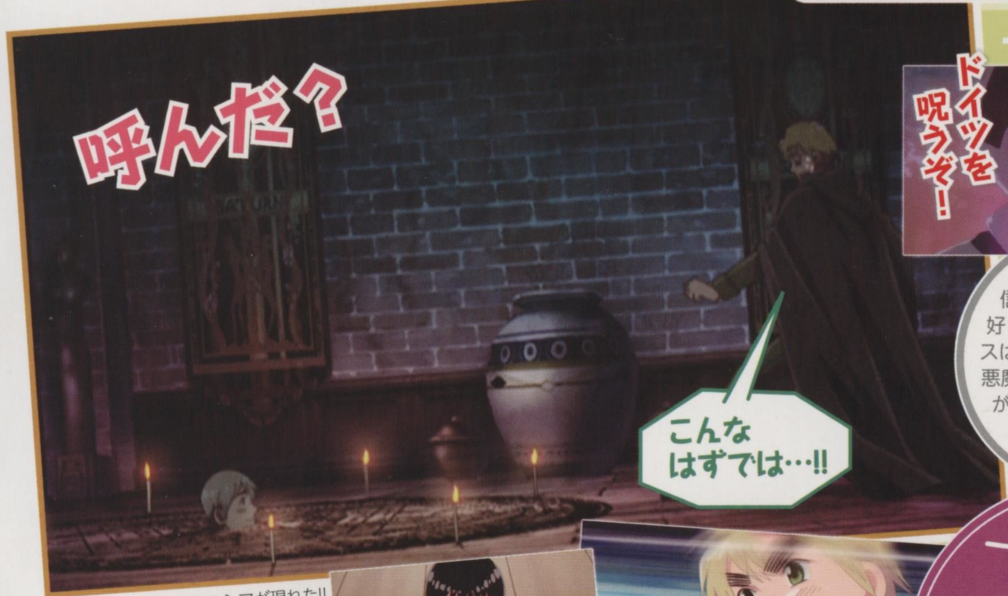


◀相手の顔色などいっさい気にせずしゃべり倒す。

イギリスの呪い

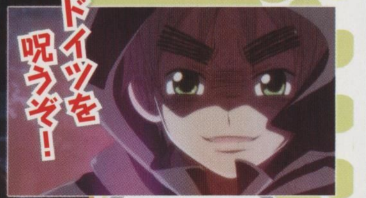
イギリス最強の武器。
それは呪い…！
魔法陣と呪いのイスが襲う!!





▲悪魔を呼んだらロシアが現れた!!

▼心に誓うはドイツへの報復！



妖精や魔術を信じ、オカルトが大好き！　そんなイギリスは、ドイツへの報復に悪魔を呼びだそうとするが、魔法陣の中に現れたのはなんとロシアで…？

SCENE#13
魔法合戦のゆくえ
13話




◀気を取り直して魔法「ネギの呪い」をかけると、ネギを焼く日本が登場。





▲ロシアが念じると、日本に腹痛の呪いが発動…。



▲会議に来たイギリスは、アメリカのイスを呪いのイス、バズビーズチェアに交換する。

SCENE#26
呪いのイス
26話

座ると死んでしまうと言われている呪いのイス。イギリスはアメリカを座らせようとするが、座ったのはロシア。するとイスが壊れて!?



◀ロシアが座るとイスがこなごなに！

イタリアの不安

夢の中でも
ドイツドイツドイツ♪





▲ドイツと日本がイタリアを仲間はずれに！…してる夢を見たイタリアは…？



▶ドイツに話したい事を忘れないよう、メモにまとめたイタリアだが、それを落として、ドイツに読まれてしまうのだった。







▲イタリアの気持ちを知ったドイツが声をかける。

SCENE#37,38
見捨てないでドイツ！
37話・38話

ドイツと日本が「今度はイタリア抜きでやろうぜ」と話している夢を見て不安になったり、フランスのアドバイスを真に受けて変なことを言ったり…。イタリアの気持ちは通じるのか？
(37話・38話)

▶イタリアの意味不明な行動に、ドイツもあきれ気味。





▼かまわれすぎて怒っちゃったドイツです。



SCENE#48
理解不能なイタリア？
48話

静かに読書をしているドイツの横で「サッカーしようよ」と誘うイタリアだが…？

絵がうまいのは誰？

黒板の上には
魅力的な絵がいっぱい？
みんなで画力勝負だ！



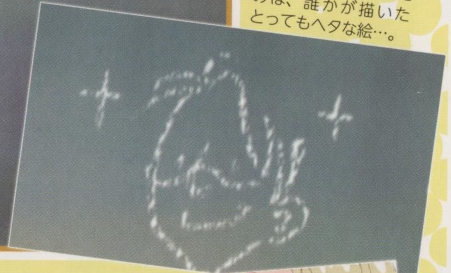
SCENE#34 似顔絵上手は誰？ 34話

ある日アメリカは、イギリスが会心の笑みをもらしているのを見る。会議の時、黒板の似顔絵を描いていたのはイギリスだったのだ！ ところがとんでもなくヘタな絵も現れて…？





▲イギリスの上手い絵を見たアメリカは、ショックを受けている。



▼ある日黒板に現れたのは、誰かが描いたとってもヘタな絵…。



◀あきれた中国がチョークを持つが？





▲これでもかとヘタな絵をほめる犯人・アメリカ。



◀黒板には古風な絵が…。これはいったい誰？

SCENE#44 スイスの隠れた才能 44話

「自分の身は自分で守れ！」スイスはリヒテンシュタインに教えるのだが、内容の真面目さに対し、絵があまりにも可愛くて…。



▶今日はスイス先生の自宅で勉強会。



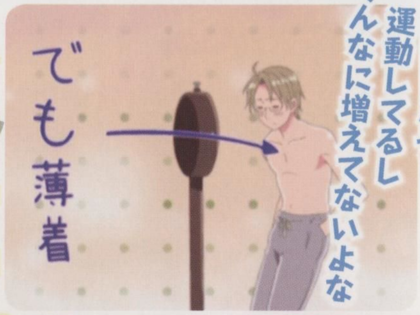
▼リヒテンシュタインは黒板の絵が気になって、話が頭に入ってこない様子。





緊急取材 各国式ダイエット

みんなダイエットしてるのかな？
アメリカが己のために緊急取材を敢行！



SCENE#17 アメリカのダイエット大作戦！ 17話

ジャンクフードが大好きなアメリカ。おそるおそる体重計に乗ってみると……！ ようやく現実と向き合ったアメリカは、まずはフランスにダイエットの秘訣を訊きにいったが、まったく役に立たない。それでは、と、中国に聞きに行ったが、あまり実りがないもよう。最後に日本を訪ねてみたが…!?

▶果たして神は残酷な真実をアメリカに突きつけた！

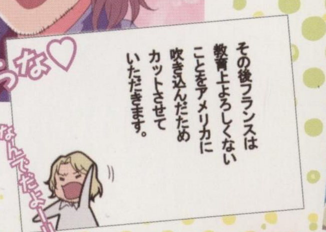


▶アメリカの偏食が気になるイギリス。

フランス式ダイエット



▲フランスはどんな消費を!? 意味深だー！



中国式ダイエット





▲美食の国なのに細身の中国。本当にお茶だけで!?

日本式ダイエット





▲▶日本の「普通」の食事がコレ。油っ気がない！ でもアメリカも気に入ったみたい。



◀日本はダイエットはしていない、自然体のよう。ショックを受けるアメリカだけど……。

中国の回想

中国は日本のお兄さん。
ふたりの昔話…。



▶小さな日本に出会った中国。



SCENE#16 日出ずる国との出会い

16話

◀うさぎを描く日本は、まだ文字を知らないようだ。

▲日本が作った、お茶を運ぶからくり人形を見て驚く中国。



▲日本のために漢字を教えてあげる中国。

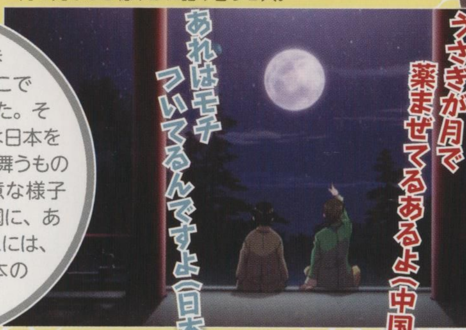
▶優秀な日本に中国は鼻高々。パンダに「ご家族ですか」と聞かれ弟と紹介したが、日本は…？





▲でも日本は、いつの間にかひらがなを作っていた！ せっかく教えてあげたのに！

▼月を見ながら穏やかに語り合う２人。





昔むかし竹林を歩いていた中国は、そこで小さな男の子と出会った。その子の名は日本。中国は日本を可愛がって兄として振る舞うものの、日本はどうも不本意な様子…？ やがて日本は中国に、ある思いを口にする。そこには、立派に成長した日本の姿があった…。

日本滞在記 ~Visited JAPAN~

不思議な国、日本へ
ようこそいらっしゃいました！



▶突然襖を走り抜ける少女にビックリ！ この少女も実は…。



SCENE#30 カッパと異文化交流

30話

▼つい長湯をしてしまったイギリス。でも日本の反応は…。





▼先にお風呂に入っていたのはなんとカッパ!!





◀妖怪が見えない日本は、イギリスの不思議な行動に困惑する。



▲今の日本には居場所がない…。カッパは山奥に引きこもることにしたという。

日本を訪れたイギリス。ひとり暮らしの日本の家でくつろごうとするが、子どもの声がうるさい。しかもお風呂に入ると意外な先客がいて…？

▶お寺の静けさも夜の歌舞伎町も、アメリカにとってはどちらも魅力的！ 楽しくてしょうがないアメリカ!!





SCENE#52 日本大好き

52話

イェーイ!!



アメリカが日本にやってきた。なんでも楽しくって興奮状態♪

▶イタリアは、日本の独特な絵画を見るのが好き。他の本も見ようと本棚を探すと…。





SCENE#15 これも絵画

15話

日本の家で絵画を見るイタリア。喜んでいると、とんでもないものが見つかった…。



◀イタリアは春画の何にショックを…？

ヘタリア Axis Powers
アニメオフィシャルガイド

Characters in the world



Characters in the world

年末年始の過ごしかた

アメリカ&日本 それぞれのニューイヤー！





▶ちょっとヨロヨロしたモチつき姿。大丈夫？



◀年越しに必要なマンガとアイスも調達。



▲かっぽう着姿がキュートな日本。

SCENE#36
クリスマスのあとは…
36話

クリスマスが終わっても、大晦日とお正月に向けてやることはまだまだいっぱいで大変な日本。一方アメリカはヒマつぶしを見つけるのが大変そう。活動的な日本とだらだらしたアメリカの、年末年始の過ごしかたは…？



▶ゲームもつまらなかったらしくふて寝…。トニーもゲーム中。

▼寒いしヒマだし、アメリカはずっと寝ていたようだ…。



▲クリスマス後はやることがないアメリカ。ゲームソフトを買うことにするが？





▲正月はコタツでぬくぬく♡



◀外に飛び出したものの、泳ぐにはまだ寒すぎる…！





▲アメリカをお花見に誘う日本。



▲ネコにも泣かされちゃう!

▲芸術が好きなイタリアは歌も歌う。

▼イタリア登場!

▲常にパスタと共に…♥

▼ドイツをサッカーに誘うけれど…?

▲最大の特技は逃げ足!

◀いつも盛大に泣いてはドイツを頼る…。

▲白旗はイタリアの常備品?



▲ドイツは常にイライラ?

▲これがドイツの軍部日誌!

◀銃の腕は確かそうだ!

▼ドイツはイタリアをおとりにされ、捕まってしまう!

◀友だちは欲しいよね…?

▲とってもキレイ好き!

▲この箱の中身は…?

▲この食べ方でドイツ人だと判明!

▲さすがのドイツも、もう我慢の限界…?

何よりも正義を愛す オレこそヒーローさ！

アメリカ

アメリカ
［誕生日］7月4日
［首都］ワシントン
［公用語］英語



空気を読んで 善処します かつては引きこもっていた

日本

日本
［誕生日］2月11日
［首都］東京
［公用語］日本語




妖精とは素直に語る、常識人(?)
イギリス
イギリス
[誕生日] 不明
[首都] ロンドン
[公用語] 英語
武器 呪いの椅子
▲紅茶を飲んで…紳士イギリス!
▶会議で反対するイギリス。
趣味 似顔絵、刺繍
▲アメリカを酔わせるつもりが、自分が酔ってしまい?
酒グセ 悪い
ファッション パンク、髪がボサボサ(フランス談)
特技その2 魔法陣が作れる
▼これがあればイギリスは無敵! でも…?
これが最終兵器呪いの椅子(バズビーズチェア)
グローバルな友人 日本の妖怪
特徴 不思議な世界が見える
▶黒マントに身を包み、呪う気満々のイギリス。
特技その1 機械の開発(ゆで卵製造機・ビールの泡発生機など)
◀イギリスは幼いアメリカをとても可愛がる!
◀諜報戦ならまかせとけ!!
小さなアメリカを可愛がっていたお兄さん…
ごはん まずい(イタリア談)
妖精はそこにいるよ
▲日本で妖怪と仲よく入浴タイム!
▲妖精と楽しく笑い合うイギリス。でも他の人には見えない…。
苦手なこと 金づちを使う
夢 フランスを殴る
きらい フランス(でもけっこう仲良し?)
好きなこと 本当は料理…
▼何かとケンカばかりのイギリスとフランス。
▼フランスにからかわれて、髪を伸ばし始めるが…?
▼イギリスは、どうしてもアメリカを撃てなかった…!


美と芸術の伝道師
フランス
フランス
[誕生日] 7月14日
[首都] パリ
[公用語] フランス語
特徴 派手、ヒゲ
実は… ラジオ・パーソナリティー
愛するもの ワイン
自分大好き!!
▶フランスはヒゲがポイント。
◀フランス式ダイエットは、教育上ヒミツ…?
▲フランスの軍服のハデさは世界一! 目立ちすぎて…?
好きなもの 美しい肉体美
必殺技 漁夫の利!
◀若き日のフランス。
性格 負けず嫌い
◀アメリカを取り合ってまたイギリスとケンカ。
◀イギリスの髪を短く切ってしまう。似合うのが一番!
ヒマつぶしの方法 情報操作(悪い噂を流す)
▲ドイツの悪い噂を流す…。
▶ハダカになってスイスに捕まるフランス。イギリスまで巻き込んだ…。
◀無理やり婚姻届にサインさせようとする。コワイ…。
アメリカを取り合ったけれど…
苦手 ポーランド
自慢 料理
過去の傷 イギリスに結婚を申し込んだこと
けっこう好き イタリア
▼昔はジャンヌ・ダルクもナポレオンもいた。強かった…。
▼サンタにもワインを! ゴージャスなクリスマス?

いつも笑顔なのに
とってもコワイ

ロシア

ロシア
［誕生日］12月30日
［首都］モスクワ
［公用語］ロシア語



▲おとなしそうな顔をしてコワイことを言う。

▲純朴そうな青年だけど？

▲これが、ロシアが壊した呪いの椅子だ！

▲カナダをいじめる（？）。重そう…。

▲ロシアが座ると呪いの椅子も…!?

▼ダイブしたのはいいけど、骨折した！

▲イギリスの魔法陣から出てきたロシア…コワイ！

◀リトアニアのひと言にカチン！

▲楽しそうにクリスマスの話をするロシア。

▲最恐（？）姉妹にロシアもビクビク！

▲バルト三国に気づかわれるけど、表情は複雑…？

▲かつての日々を思い出す…。

▶ロシアが泣くほどコワイことって!?

パンダと拳法、中華街あるよ！

中国

中国
［誕生日］不明
［首都］北京
［公用語］北京語



▲会議での中国はけっこう積極的。

▲中国といえば水墨画と竹のイメージ？

▲中国にはドイツもかなわない！

▲どんな島にも中華街はあるのだ！

▲戦う中国は強い！

◀この中には美味しい飲茶が…？

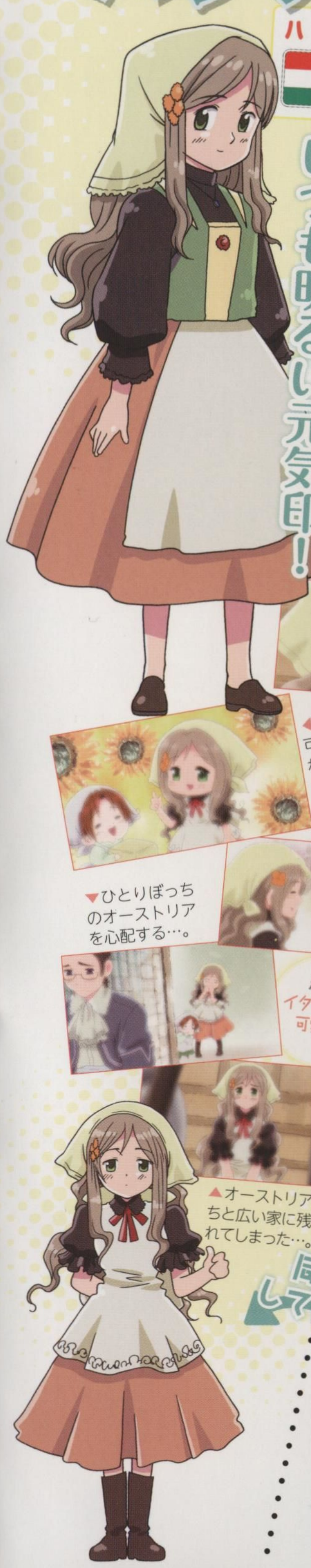
▼ダイエットにはお茶飲むよろし。

▲中国はパンダと登校する🐼

▲中国は、竹林で生まれたばかりの日本と出会う…。

◀日本に漢字を教える中国。しかし…？

実はヘタリア１ いさましい（？）女の子
ハンガリー



ハンガリー
［誕生日］6月8日
［首都］ブダペスト
［公用語］ハンガリー語

いつも明るい元気印！

性格 明朗＆優しいお姉さん

特徴 口許のホクロ

微妙 スイス（昔は仲良しだったのに複雑…）

▼働き者のハンガリー。

◀イタリアを可愛がってくれた！

▼イタリアを着飾らせてご満悦♥

▼ひとりぼっちのオーストリアを心配する…。

▲オーストリアたちと広い家に残されてしまった…。

同居していた

一見厳しいけど、実は優しい騎士
オーストリア



オーストリア
［誕生日］10月26日
［首都］ウィーン
［公用語］ドイツ語

この御馬鹿さんが!!

性格 倹約家

好きなもの コーヒー

特技 怒りをショパンで表現

趣味 イタちゃんを可愛がる

大切なもの ピアノ

▼スーパーで買っていた高級食材！

▲オーストリアの芸術的な怒りにドイツ脱帽？

▲スイスとはギスギスした関係？

▲かつては、ハンガリーに負けるたびスイスが迎えにきてくれた…。

▼ちょっと見栄っ張りなところがあるのがバレて…？

昔、戦ったことも…！

陽気なのんびり屋さん
スペイン



スペイン
［誕生日］2月12日
［首都］マドリード
［公用語］スペイン語

知っとるぅ？

特徴 関西弁

子分 ロマーノ

趣味 おしゃべり

性格 のんびり～

▶かつてのスペイン。今より血の気が多い？

▲ギリシャとしゃべってばかり！

▶これが噂の「だまれ。国王」Tシャツだ！

▶会議でもスペインの興味は…？

スイスの可愛い妹
リヒテンシュタイン



リヒテンシュタイン
［誕生日］7月12日
［首都］ファドーツ
［公用語］ドイツ語

兄さまに喜んでもらえれば幸せです

大切な人 兄さま

好物 チーズフォンデュ

コンプレックス 胸が…

武器 パジャマ、笑顔

大切なもの 兄さまからいただいたリボン

▶スイスに助けられた時のリヒテンシュタイン。

▲髪が短くなったら可愛らしい男の子みたい？

▲スイスにプレゼント。恥ずかしそう♥

▲スイスの真似をして髪を切ってみた。

◀スイスにもらったリボンでゴキゲン！

▲スイスの絵の可愛さが気になって…？

見返りも求めず リヒテンシュタインを助けた 照れ屋さん
スイス



スイス
［誕生日］8月1日
［首都］ベルン
［公用語］ドイツ語・フランス語・イタリア語・ロマンシュ語など

～である！

好きなこと 節約

大切な人 妹

特技 可愛い絵

性格 クールで動じない、面倒見がいい

弱いもの 安さ

秘密 パジャマがピンク色

得意 講義

▲自分の意見を言わない日本にいつも怒る。

▲高級チーズはおいしいけれど高い！

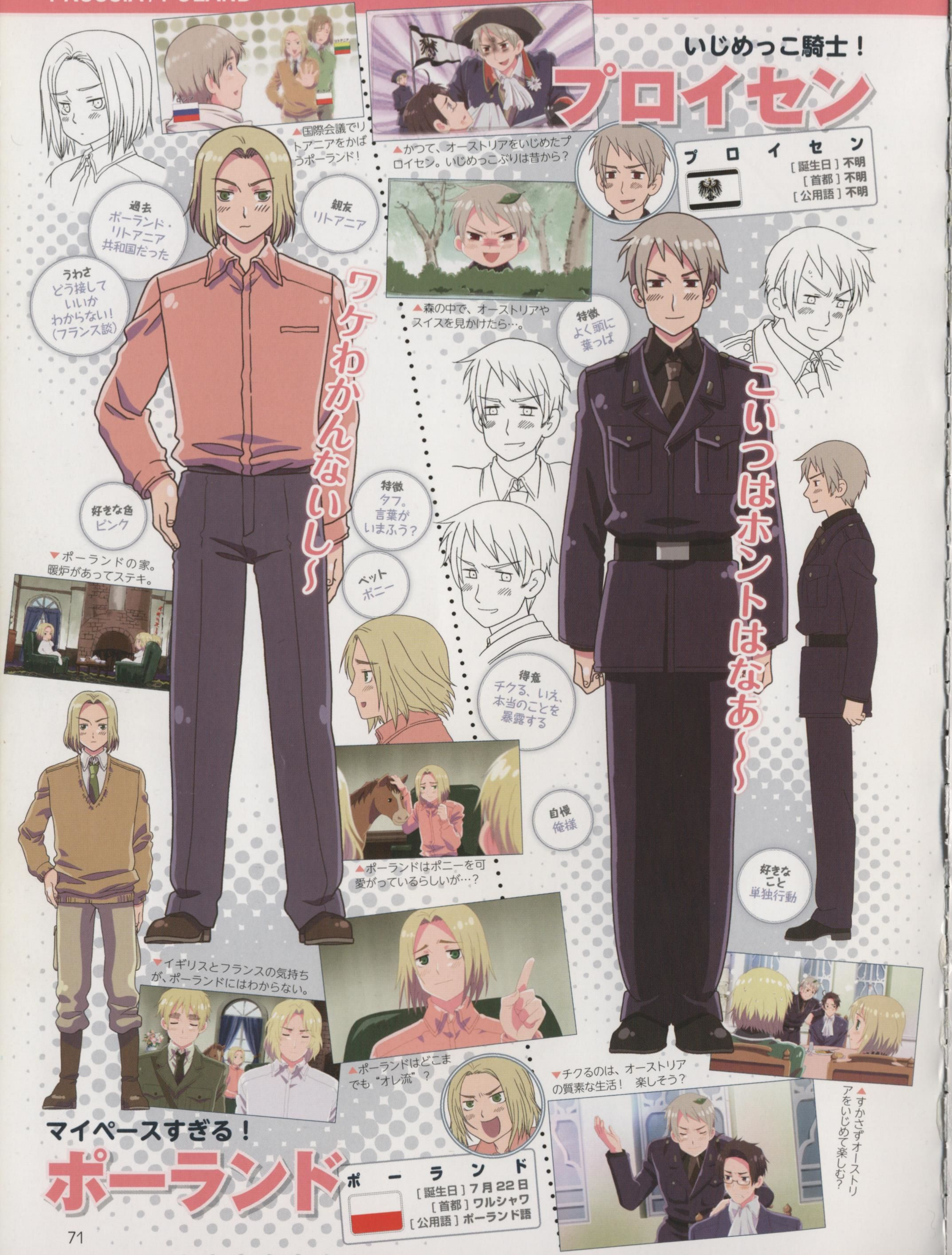
▲かつてはオーストリアの面倒をみていた…。

◀リヒテンシュタインからプレゼントされたパジャマ。

▶リヒテンシュタインのため講義もするが…。

▲リヒテンシュタインと出会ったスイス。


びくぶるトリオですが
実はアカの他人です byバルト三国
墓穴掘りの天然キャラ
ラトビア
世話好きお兄さん
リトアニア
ラトビア
[誕生日] 11月18日
[首都] リガ
[公用語] ラトビア語
▲ラトビアはひとりぼっちが寂しい。
▲ロシアに頭を押さえつけられ…。
びくぶるトリオです
バルト三国です
エストニア
リトアニア
[誕生日] 2月16日
[首都] ビリニュス
[公用語] リトアニア語
▲明日着ていく服に悩むロシアに、リトアニアは…？
▲結局ロシアの怒りを買ってしまう！
▲いつも泣いているのだ。
特技 IT
特徴 メガネ
特徴 小柄
ひとりぼっち…
時機をみよう
ドイツも怖い…
好物 ツェッペリナイ
得意 うまく立ちまわること
きらいなこと 人に頼る
好物 ピーラッカ
怖い ロシア
性格 自分に正直
▲お湯を沸かす背後ではロシアが…？
怖い ロシア
性格 ラトビアに似て墓穴掘り
▲なにかとうまくいかない3人…。
▲やはりロシアは怖い！
怖い ロシア
▲つい本当のことをしゃべってしまうのだ！
▲ロシアのご機嫌をとるのは難しい。
好物 プートラ
欲しいもの 兄弟
頼りたい ドイツ
▲ついロシアに従ってしまう…。
▲食事を作ろうとするが？
逃げるのがうまい
エストニア
エストニア
[誕生日] 2月24日
[首都] タリン
[公用語] エストニア語


いじめっこ騎士！
プロイセン
▲国際会議でリトアニアをかばうポーランド！
▲かつて、オーストリアをいじめたプロイセン。いじめっこぶりは昔から？
プロイセン
[誕生日] 不明
[首都] 不明
[公用語] 不明
過去 ポーランド・リトアニア共和国だった
親友 リトアニア
うわさ どう接していいかわからない！（フランス談）
▲森の中で、オーストリアやスイスを見かけたら…。
特徴 よく頭に葉っぱ
ワケわかんないし〜
こいつはホントはなあ〜
好きな色 ピンク
特徴 タフ。言葉がいまふう？
ペット ポニー
▲ポーランドの家。暖炉があってステキ。
得意 チクる、いえ、本当のことを暴露する
自慢 俺様
好きなこと 単独行動
▲ポーランドはポニーを可愛がっているらしいが…？
▲イギリスとフランスの気持ちが、ポーランドにはわからない。
▲ポーランドはどこまでも"オレ流"？
▲チクるのは、オーストリアの質素な生活！ 楽しそう？
▲すかさずオーストリアをいじめて楽しむ？
マイペースすぎる！
ポーランド
ポーランド
[誕生日] 7月22日
[首都] ワルシャワ
[公用語] ポーランド語


アメリカそっくり？
心優しい空気な人
カナダ
カ ナ ダ
［誕生日］7月1日
［首都］オタワ
［公用語］英語・フランス語
お友だちのクマ二郎
▲発言チャンスを待つカナダだが…？
▶半透明なためみんなに認識されない！
特徴 半透明になる
▲カナダとクマ二郎の悲しい関係…。
特徴 飼い主の名前を覚えていない
悩み 目立たないこと。誰にも名前を覚えてもらえないこと
ペット クマ二郎（でもクマ吉と呼んだことがある）
特技 言葉をしゃべる！
誰？カナダだよ…
好物 アイス
ないもの 存在感
▲今日こそは、とアメリカに会いにいくものの、結局…。
▼またまたアメリカに間違えられてしまう。
実は アメリカに言いたいことが…（でも何も言えない…）
▼ソリに乗ってプレゼントを渡しにやってきた！
▲会議でも穏やかな雰囲気のフィンランド。
▲プレゼントをもらったみんなは、いつしか戦いをやめて…。
趣味 みんなにクリスマスプレゼントをあげる
過去の傷 アメリカの別荘をオランダにとられたこと
モイ、モイ♥
クリスマスの過ごし方 サウナに入る
▲フィンランドのクリスマスはサウナ。
▼昔、イギリスとフランスに泣きついたフィンランド！
フ ィ ン ラ ン ド
［誕生日］12月6日
［首都］ヘルシンキ
［公用語］フィンランド語・スウェーデン語
みんなにプレゼントをくれる
優しいサンタさん
フィンランド

あのロシアも恐れる最強(恐)姉妹！
お兄さん大好き美人
ベラルーシ
ベ ラ ル ー シ
［誕生日］8月25日
［首都］ミンスク
［公用語］ベラルーシ語・ロシア語
ロシア兄さん大好き
性格 芯が強く粘り強い（でも粘る方向が問題？）
兄さん、結婚して…!!
▲ロシアじゃなくても、こ、怖い…！
特徴 他人がロシアと仲良くすると怒る
特技 ドアに爪を立てる
家族 大好きなロシア兄さん♥
▼こんなに可愛いのに…。
武器 結婚を迫る
▲ロシアがイタリアと仲良くしようとすると…!?
▼かつて、貧乏でボロボロながらも助け合っていたあの頃…。
▲ウクライナはロシアに会えないのだ…。
▼ちょっとおっちょこちょいで泣き虫のウクライナ。
特徴 巨乳
ロシアちゃ～ん!!
悩み 肩こり
▼よくロシアたちの面倒をみていた。
財政 貧乏！
仲良し ヨーロッパ
▼ロシアの家から出て行くことに…。
▼昔から優しくてお母さんのようだったウクライナ。
大変なこと ガス代の支払い
家 昔はソ連という大きな家に住んでいたけれど…
ウクライナさん
泣き虫なお姉さん
ウクライナ
ウ ク ラ イ ナ
［誕生日］8月24日
［首都］キエフ
［公用語］ウクライナ語

小さな体にデッカイ夢！

シーランド

シーランド
［誕生日］9月2日
［首都］領土全体

▲これが海に浮かぶ"国"シーランド！

▼いつも明るく元気で働き者。

▲みんなに挨拶するけど見てもらえないのだ。

▼頑張ってるのに…。

好物：メロンソーダ

特徴：小柄



どうするといいですか？

目標：みんなに国と認めてもらうこと！

特技：国土の修復

悩み：会議に出てもみんな見てくれない…

売り物：爵位

▼カナダに変装して会議に出るが、イギリスにバレた…。

▲アメリカと間違えてカナダをいじめるキューバ。



積年の恨みだ〜〜!!

特徴：メタボ？

大っきらい：アメリカ！

苦手なこと：怒りを正しい相手にぶつける

かつての認識：カナダ＝アメリカの子分

▼キューバにとってはカナダもアメリカも同じに見えていた。

友だち：カナダになった（はずが…）

◀つ、強そう！これは怖い…！

キューバ
［誕生日］5月20日
［首都］ハバナ
［公用語］スペイン語

陽気で気のいい兄貴！

キューバ

▼カナダを招待したものの、また…？

のんびりしてるけどけっこう哲学も語る

ギリシャ

ギリシャ
［誕生日］2月3日
［首都］アテネ
［公用語］ギリシア語

武器：スコップ

趣味：寝ること

生活：よく寝る

▲ギリシャの買い物は、とにかくスローペース！

▲会議でも、ギリシャはひとり夢の中…。



母さんの残した遺跡――

▲ギリシャが遺跡を発掘していると、フランスがやってきた。

▲この出会いが、近代オリンピックを誕生させたのだ。

特技：遺跡の発掘



性格：スペインよりのんびり

好きな時代：紀元前

好きなもの：オリンピック

ある日忽然と姿を消した地中海の覇者

ローマ帝国

ローマ帝国
［首都］ローマなど

▲ローマ爺ちゃん、船に乗っていきなり登場！

▲たくさんの女性をはべらせる。

キーワード：酒池肉林



孫と女性を愛する覇王

特徴：いきなり出現する、美声

祖父 ⇔ 孫

▲カンツォーネの歌声が響く！

特技：歌（特にカンツォーネとハワイアン）

大好き！：孫

▲ドイツの所に来たものの…？

▼孫が誰よりも可愛いのだ！

家族：孫（イタリアとロマーノ）

▲かつて孫のイタリアと過ごしていた頃…。

▼ドイツに紹介された南イタリア、ロマーノ。



全部お前のせいだ！

仲良し：スペイン兄ちゃん

家族：ローマ帝国、イタリア

喧嘩相手：ドイツのジャガイモヤロー（弟と仲良いから）

▼やはり兄弟。よく似ている…。

実は：ほめてほしい

▼さっそくヘタレぶりが判明？

▼イタリアがドイツと仲良しなのが気に食わない！

▼普段はわりと強気だが…。



怖い相手：フランス

▲姿はカッコいいが、性格は可愛い？

口の悪いヘタレ（さすが兄弟？）

南イタリア

イタリア・ロマーノ
［誕生日］3月17日
［首都］ローマ
［公用語］イタリア語

Voice HETALIA Staff&Cast Interview



Voice HETALIA Staff&Cast Interview



この作品は、アメリカでイタリア人見てなかったら描いてなかったと思います。―― 日丸屋

ヘタリア究極座談会



監督 **ボブ白旗** × 原作者 **日丸屋秀和** × アニメーションプロデューサー **松田桂一** × 『ヘタリア Axis Powers』担当編集者 月刊コミックバーズ 編集長 **高橋君枝**

『ヘタリア Axis Powers』生みの親である日丸屋秀和先生、スタッフを代表するキーパーソン３人との座談会が都内某所で行われた。最もコアなヘタリア・スペシャルトークをお楽しみあれ!!

『ヘタリア』誕生のきっかけ

日丸屋 最初ロシアはもうちょっとおじさんになる設定で、中国は眼鏡を掛けて短髪だったんですよ(※1)。

ボブ いきなり国をキャラクターにしてみようと思ったんですか?

日丸屋 そうですね、ドイツとイタリアの話がおもしろかったんです。以前ちょっとボードゲームをやってて、ドイツ軍でプレーすると、飢餓に苦しんでるイタリア軍を助けに行かなきゃいけないんですよ(笑)。ポツポツあちこちにイタリア軍がいて「わーんわーん助けて〜」って(笑)。気がつくといなくなってたりする。で、本当は放置してても、ペナルティー付かないので、みんな飢え死にさせてたんですけど(笑)。次の回からだったかな、それにペナルティー付くようになっちゃって。

高橋 じゃあ割とデフォルトだったんですね、ドイツがイタリアを助けてたっていうのは。

日丸屋 それが好きで描いたんですよ。あとはアメリカでいろんな国の人と出会えてよかった。多分この作品は、アメリカでイタリア人見てなかったら描いてなかったと思います。でもドイツ人に対するイメージは結構崩れました。ドイツ人と一緒に住んでたから(笑)。

高橋 『ヘタリア』はフィクションというか、脚色の入った娯楽作品ですが、それまでよく知らなかった国に親近感を持つきっかけになっているようですね。

日丸屋 それはありますね。アニメオタクなアメリカ人とかにドイツが好きって言ってもらえました。

ボブ 友人にアニメオタクのドイツ人がいるんですけど、その人は「ドイツを良く描いてくれてすごく嬉しい」って言ってました。普通に笑ったり落ち込んだりしているのを見ると楽しいって。ドイツはあの不器用な感じがすごく、親しみが持てますよね。





※1 『ヘタリア Axis Powers』第２巻特装版の小冊子に、初期のさまざまな設定が紹介された。

河南さんの絵はどこにでも振れるニュートラルな感じ。―― ボブ



⬆男らしくて精悍なドイツ。四角く描くとドイツに近づくそうだが…!?

ドイツを上手く描く方法が!?

日丸屋 最初はドイツもイタリアもビジュアル的に残念な設定だったのに、いつの間にかそこそこまとまった顔つきに(笑)。漫画の2〜3本くらいはドイツの作画が安定してないんですよ。

ボブ ドイツはかっこいいですよ。

日丸屋 解決法は、ちょっと四角く描くと安定するんです。

高橋 だそうです(笑)。河南(正昭)さん(作画監督)にお伝えください。

松田 河南さんは逆にラッシュ(※2)していて、「ごめん、このドイツなんだけど、四角いなぁ〜…」って。自己申告して描き直しをしてたよね(笑)。

日丸屋 四角くていいんですよ、ドイツは。あとは、スイスの女の子版がリヒテンみたいな感じだったんです。だから、名残りとしてモミアゲがあったり、前髪が短かったり、初期のやつは目がツリ目なんですよ。

ボブ 髪の毛切るのは可愛いですよね。

日丸屋 ショートカットにしてよかったです。あと、なぜか昔っぽい漫画のキャラクターの方が萌えるんですよ。

高橋 先生のキャラクターっていうのは、良い意味で古いところがあるんですよね。やってることはすごく新しいのに、キャラクターに温かみがある。だから安心して見ていられるんです。

日丸屋 結構昭和っぽい感じで描いてるんですよ。

松田 古い訳じゃないですよ。だけど新しいわけでもなくって、特化してる。普遍的なキャラ設定なんですよ。だから、河南さんが一番マッチしてて、版権イラストを河南さん以外に描かせられない。

日丸屋 河南さんの絵は温かい感じです。

ボブ どこにでも振れるニュートラルな感じ。

高橋 そこら辺を最初にすごく話し合ったし、現場でもこだわってくださってますよね。

声で広がるキャラクター性



高橋 どの役者さんも、それぞれ「このキャラにはこの方しかいない!」っていう原作サイドの思いこみがあって、無茶を承知でフロンティアワークス様にお願いしてしまって。

日丸屋 今思うと、人気が出るかわからない作品状態ですごい方ばっかり呼んだって感じですよね。

松田 平光(琢也)さん(シリーズ構成&音響監督)は心強かったよ。収録時に色々相談すると「あー、大丈夫だよ」って一言。

※2 ラッシュ/確認用のフィルムを上映すること。

(アニメで)キャラの幅が広がりましたよね。こちらとしても固定観念がなくなったというか。——高橋

かっこいい(笑)。

高橋 また平光さんが素晴らしいのは、現場で「どうですか?」って必ず訊いてくださる。それはすなわち『日丸屋先生どうですか?』ということなので、私にしたら非常に責任重大なんですが、おかげさまで、キャラのイメージがぶれないと思います。ただ、ベラルーシの声だけはどうなるか我々も想像が全くつかなかったんですよね。

日丸屋 全然つきませんでした。高乃麗さんは天才です。ベラルーシの新しい一面を見せてくれた感じでした。



ボブ 僕、麗さんにDJの大人のお姉さんの役を以前演っていただいたので、そのイメージがずっとあったんです。でもいざ聴いて「え?」って(笑)。恐い時と可愛い時のギャップが、もうびっくりしましたね。

日丸屋 あんなにインパクトのある声になるなんて思いませんでした。あと、ロシアのキャラソンの時がすごかった。

ボブ いわゆる、今の萌え萌えの可愛さじゃなくて、昭和な可愛さ。昔のアニメーションの可愛い女の子ってこんな感じだったなー、ってね。

日丸屋 ベラルーシが「お兄ちゃん」って来るシーンがあるんですけど、すごい可愛かったです。

ボブ 僕は『妖怪人間ベム』とかに出てくるイメージがあった(笑)。

日丸屋 そうそう、そんな感じ!

ボブ ベムが助けてくる女の子みたいな。で、実は女の子がとり憑かれてて「わあー!!」ってなるみたいな雰囲気。

日丸屋 そういう無機質っぽい感じが好きです。無機質というか、その役柄だけ動くみたいな。いないタイプの萌えキャラですよね(笑)。

高橋 キャラの幅が広がりましたよね。こちらとしても固定観念がなくなったというか。それぞれのキャラクターっていうのも、それは日丸屋先生の中から自然に出てきたものだけども、それが動いて活きてくると、さらに拡がる。音と声って武器だなって思います。

日丸屋 声は本当に武器ですね。

松田 反則だよね(笑)。

高橋 武器を持ってる人がキャラクターを愛する時に、奇跡が起こる。

日丸屋 本当にありがたいです。

「俺がヒーローだ!」さて、この人は…?

高橋 どのキャラも魅力的だと思うんですが、監督からみて動かしやすいキャラはいますか?

ボブ 全員動かしやすいんですけど、あえて主要8人限定で話すと、一番楽しいのが、アメリカですね。

日丸屋 アメリカは勝手に動きますからね(笑)。

ボブ 同じ台詞なのに、アメリカがしゃべると何か独特になる。劇場版ではいつもの何倍も笑ってるけど、より個性的な感じです。

日丸屋 能天気に見えて、結構したたかですからね。

高橋 結構腹黒なところもある。でも、どのキャラも結構腹黒いところが面白い(笑)。



⬆いつも元気バクハツ状態のアメリカ。画面から飛び出てきそうな雰囲気!

アニメは、普通の人が削るところを全部拾ってる。——松田

次に登場するキャラクターは?

高橋 アニメ第3期「World Series」では、またキャラが増えていくと思うんです。先生にとっては、自然に生まれていくとは思うんですが…。

日丸屋 そうですね。何か本とか読んで、これ可愛いとか思うと作りたくなります。



※3 RPG版/『ヘタリア Axis Powers』第2巻&月刊コミックバーズ2009年2・3・4月号連動の応募者全員サービスのドラマCD「ヘタリア・ファンタジア」。(応募は終了しております)

高橋 監督は、原作でこのキャラを読みたいとかありますか?

ボブ 東南アジアが見てみたいです。あと南米とかも。

日丸屋 東南アジアは気になりますね。

高橋 ブラジルさんとか情熱の国になりそうですよね。

日丸屋 チリとかペルーは描きたいな。マチュピチュとか遺跡が大好きなので。

ボブ そういえば、キャラクターが男、女とあるじゃないですか。あれはどういう意図で決めてるんですか?

日丸屋 フィーリングです。感じたままに(笑)。

高橋 逆に先生がアニメで観てみたい、っていうのは?

日丸屋 RPG版(※3)のアニメを観てみたいな、って思います。

ボブ 全然ありだと思います。面白くなると思うし。

松田 場所が街だけとか、レベル上がってないのに終わってない? っていう所が面白いよね。

日丸屋 レベル一桁ですよ(笑)。

高橋 街を出てないのに、ドイツだけレベル50なんですよ(笑)。

松田 普通ゲームって進まなきゃいけないじゃない(笑)?

ボブ たぶんキャラクターが成長しない所がいいんだと思う。

松田 そうそうそう。国だからね。

原作⇕アニメ与え合う力

高橋 監督はじめスタッフのみなさま、役者のみなさまにありがたいなって思うのは、アニメが逆に原作サイドのモチベーションアップになるってことですね。

ボブ それはこちらこそありがたい。

日丸屋 フランスとか、アニメですごい動いてるの観るの好きですし、いい感じに影響を受けてます。

ボブ フランスって、動かしたくなるんだよね(笑)。

松田 浪川(大輔)さんにはわるいけれど、最近イタリアの出番がすくねーなぁ(笑)。

高橋 映画で活躍するから!

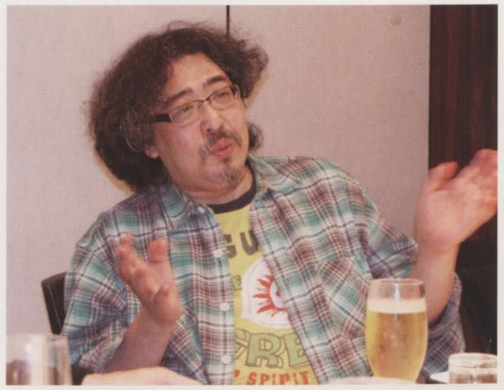
ボブ そうそう、ちゃんと主役だから。

松田 うちらってね、かけらを拾い上げて、すごく膨らますの大好きだからね。

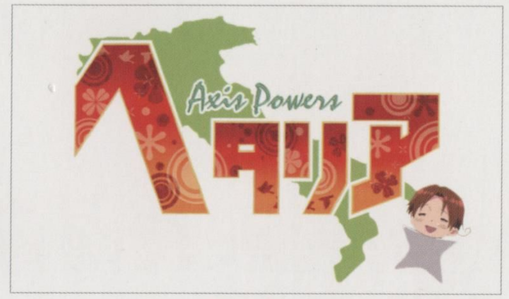
日丸屋 アニメで、何か結構膨らんでるネタありますよね(笑)。

松田 ショートコントとか、小ネタなサブカル好きだったりするので、普通の人が削るところを全部拾ってる(笑)。

ボブ 間(ま)が大事だと思うんですよ。4コマは自分の間で読めるけど、でもアニメ



僕自身が日々楽しませていただいているので、その想いがフィルムに焼きつけばいい。――ボブ



⬆映像内ではアイキャッチ登場は一瞬。どのキャラかチェックするのも楽しい。

は間を作ってあげないといけないので、そこを大切にしてます。

高橋 それでいうと、あのアイディアがすごい、アイキャッチ。あれがあるから次にいける。

ボブ あれは基本的にドリフの♪ちゃんちゃらちゃんちゃん～♪ですよ。

日丸屋 あれか～(笑)。

高橋 オチがついてなくても、音が鳴ると(笑)。

ボブ あー終わった終わったって思う。ネタとして、ギャグとしてオチてないかもしれないけど「ヘタリア」ってアイキャッチが一個入ると、別の話に行っちゃう。

日丸屋 何か田舎とかでよく売ってる、お菓子の詰め合わせみたいなやつですね。まず開けて嬉しくて、でもってその中の一つ一つ開けていくような感じ。

松田 それは最高の褒め言葉ですよ。ビックリ箱です。

ボブ 「つづく」と同じ感じなんですよ。その先に多分あったのが、アイキャッチ。アイキャッチが入ったらとりあえず一回終わる。で、そろそろやばいなって思ったらとりあえず「つづくかも」って言ってみたり(笑)。

松田 アイキャッチは最初8パターンじゃなかったっけ?

ボブ 最初は完全な思いつきで、8人しか出してなかったんですよ。でもキャラクター全員出したくなるじゃないですか。もう出したくて、しょうがなくなって「出していい?」って言って…(笑)。

高橋 ファンの方からもアイキャッチ楽しいって声をいただいています。

ボブ ホント嬉しいです。全キャラクター作ろうって頑張ってます。

高橋 キャラクターの力が半端ない作品なので、ただ文字面で「ヘタリア」って言うんじゃなくて、出したくなるようにキャラがそうさせた気がします。

ボブ それはあると思いますよ。

高橋 キャラが出たいって言ってたような気がする。…あ、ちょっといい事言ったかも(笑)。

ファンの皆さんへメッセージ

高橋 作り手の側を支えるのは、お金でも何でもなくって「好き」っていうファンの気持ちです。その気持ちをいっぱいいただいて、劇場版や第3期ができる。この状況は、これ以上ない幸せです。そうそうない奇跡の現場が実現している気がします。我々ができることっていうのはその気持ちを裏切らないよう努力することだけなので、第3期は期待の上を行くようなものを作らなければと思っています。これからも精一杯日丸屋先生を支えていくので、温かく見守っていただければ嬉しいし、みなさまの元気玉を分けてください！ 全部先生に届けます！

松田 『ヘタリア』は、いい意味でのファンに媚びない、ファンと同じ気持ちで作る作品です。それがアニメーション現場だけではなく、原作の方々と一丸になって作れたことが一番嬉しいです。おかげで第3期、劇場版、僕のプロデューサーとしての人生が繋がりましたので感謝でいっぱい(笑)。第3期は「Axis



⬆アニメ、劇場版やたくさんの楽しみを届けたい。今後も目が離せないぞ！

いろんな国のキャラが出てくるので、ワイワイ楽しんでくれると嬉しいです。――日丸屋

Powers」から「World Series」になりました。枢軸と連合は面白いけれど、『ヘタリア』の世界観が世界各国であるっていうコンセンサスのもとのタイトルです。これもやっぱりファンあっての作品作りであると思いますので、期待に応えられるように、これからも作り続けていきたいです。

ボブ 「World Series」ってことで、いろんなキャラ、今まで出てないキャラが出て来て、さらに今まで頑張ってたキャラもどんどん活躍していくす。劇場版の方は完全オリジナルです。でも多分「ヘタリアってこうだよね」ってみんなが思うキャラクター達になっています。とにかく俺自身が楽しんで日々、コンテ描き続け、ラフを見ながら楽しませていただいてるので、その想いがフィルムに焼きつけばいいなという気持ちです。スタッフ全員が、楽しみながら本当に頑張って作っているので、それを楽しみにしていただければと思います。

日丸屋 アニメを観てくださった方達に「好き」って言ってもらえたことが、すごく嬉しかったです。スタッフの皆さんにも本当にありがたいと思っています。自分はダメ人間なんで一人だとすぐ躓いちゃうんですけど(笑)、高橋さんや、いろんな人の支えがあって続けられています。ファンの方々にも温かい目で見続けていただいて、本当にありがたいばかりです。劇場版は、すごい出来になること請け合いなので、ぜひ楽しんでください。あと「World Series」や単行本3巻では、いろんな国のキャラが出てくるので、ワイワイ楽しんでくれると嬉しいです。本当にありがとうございます。



⬆日丸屋先生とボブ監督のなかよし2ショット。後ろのピースサインは松田プロデューサー？

PROFILE●
日丸屋秀和（ひまるや ひでかず）『ヘタリア Axis Powers』原作者（第1～3巻発売中　幻冬舎コミックス刊）。月刊コミックバーズにて『ちびさんデイト』を大人気連載中(第1巻発売中・幻冬舎コミックス刊)。アメリカ在住。

PROFILE●
松田桂一（まつだ けいいち）『ヘタリア Axis Powers』アニメーションプロデューサー。スタジオディーン所属。代表作『ヴァンパイア騎士（2008年）』『びんちょうタン(2006年)』『TV HUNTER×HUNTER(1999年～2001年)』他多数。

PROFILE●
ボブ白旗（ぼぶ しらはた）『ヘタリア Axis Powers』監督。スタジオディーン所属。代表作『南の島の小さな飛行機バーディー（2005年：監督）』『北へ。～Diamond Dust Drops～（2004年：監督）』『グラビテーション(2000年:監督)』他多数。

PROFILE●
高橋君枝（たかはし きみえ）『ヘタリア Axis Powers』担当編集者、『月刊コミックバーズ』編集長。主な担当作『ちびさんデイト（日丸屋秀和著）』『QUO VADIS（新谷かおる＋佐伯かよの著）』『ドクシー読師ー（樋口大輔著）』『来世であいましょう(小路啓之著)』他多数。

もうひとりのキーパーソン ㈱フロンティアワークス 野村美加プロデューサー



この作品で実感したのは、いい出会いをさせていただいたな、ということに尽きます。日丸屋先生の『ヘタリア』という作品が生まれて、それを高橋さんが世の中にご紹介し、さらに我々がお話しに行ったところから始まりました。いろんな意見、アイディアをみんなで出し合って、それを先生にフィードバックして、という素晴らしい連携が取れている現場です。作品自体に、世界が繋がってハッピーで…っていうメッセージもありますけど、我々も本当に幸せになれました。これからもっと幸せになってもらえるように、劇場版、第3期だけではなく、いろんな場面で力を合わせて続けられるといいなと思います。本当にこのメンバーじゃなきゃ出来なかったと思います。

裏がなくて親しいみやすい、そんなところがイタリアの魅力。

浪川大輔

Daisuke Namikawa AS イタリア





ヘタリアのキャラは変わらないところが面白い

——イタリア役を演じて、最初のイメージと現在と変わった点はありますか。

最初、他のキャラクターが非常に個性豊かだったので、イタリアは「なんだその声」みたいな声でやりたいなと思いました。ただイタリアの声はどうしても声の幅が狭くなるんです。たとえばイタリアの成長物語であったら、変えていかなければいけないんですが、一番最初から今まで、ずっと変わらないんです。

——変わらない良さですね。

そうですね。ドイツとか、相手に対して思いやりが増えるとか、そういうのはあると思うんですけど……。日本もそうですよね？ テンションも変わらない(笑)。まあそういう、それぞれのキャラクターがひとつの方向を向いている、というのが面白いし素敵ですね。

——イタリアを演じる際、気を遣っている点を教えてください。

完全なるヘタレなんですけど、「自分はヘタレだから」とは思わないように演じています。最初から逃げようと思って逃げているわけではなく、どうしようもなくなったから逃げちゃう。それを「どうせイタリアだからこういう事をするんだろう」という機械的な反射行動ではなく、その時々の状況によって、感情を込めて演じています。

——独特なイタリアの口調や擬音はどこから生まれてきたのでしょうか？

「ヴエー」というのは最初の台本に書いてあったんです。で、「『ヴェー』ってなんですか？」と悩みました(笑)。イタリアは動作は多いんですが、セリフは意外と少ないんです。たまにパッと出てきて騒いで、パッと引くので、そんな時になんかないかなーと思って……「SE(効果音)」と台本に書いてあるところを読んでいたんです。たとえば雷が落ちた時に「ドガガガーン」とか台本に書いてあったらそのまま読む、みたいな(笑)。旗を振るのも「パタパタ」と書いてあったので、「パタパタパタパタ」ってそのまま読んで。「やりたい事はとりあえずやってみて」という、ノリを重視する演出をしてくださるので、いろんなことを試させてもらってます。それにスタッフが応えてくれて、それにさらに役者が応える、みたいな感じです。

——イタリアのチャームポイントを教えてください。

彼はすごく信じる力が強いというか、何事もそんなに疑わないところが可愛らしいと思います。裏がなくて、いい意味で深くない。浅いからこそ……海もそうですよね。浅瀬では遊べる、怖くない、なんかそういう気持ちになれる(笑)。そんな親しみやすさが、彼の大きな魅力のひとつかな、と思いますね。

寝起きでロマーノやれと言われたら、できます

——ではイタリアの兄、ロマーノ役を演じる際に気をつけている点は？

イタリアは僕にとって「挑戦」をさせてもらっているので、演じている時は楽しいんですけど、エネルギーをものすごく使うんです。でもまだ1年で、イタリアとして完璧ではないと思ってはいます。そういうエネルギーをぜんぶ省いて作ったのが、ロマーノです。だから寝起きでロマーノやれって言われても、たぶんできます(笑)。なんにも考えないでやるのがロマーノ。たぶん地声にも近いんじゃないでしょうか。

——浪川さんの中にスイッチがあって、演じ分けているんですか？

その辺って自分でもわからないんです。声優は1日で何役もやる事があるので、引きずらないとは思いますが……。ヴェネチアーノの方が自分の意見しか言わないので、そっちでばーっとしゃべって、ロマーノがそれを聞いて受け止める。と、自分の中ではそういう分け方をしていますね。聞いて怒るのがロマーノ。聞いても聞かなくても泣いたりするのがヴェネチアーノ(笑)。

——お気に入りのエピソードは？

どれもすごくいいんですけど、やっぱり原点という事で、1話ですね。何が始まるんだろう、という、なんだかよくわかんないうちに「まるかいて地球」が流れたあのあたりが、今でもやっぱりすごいインパクトだな、と思います。だって僕、パスタしか言ってないんですよ(笑)。



⬆ヴェネチアーノとロマーノの掛け合いも聴き所

——〝カッコイイキャラ〟をあげるとしたら、誰でしょうか？

いっぱいいますけど、ひとりに絞るとしたら……カナダはカッコイイですね。見た目ではないんですけど……半透明ですから(笑)。誰も気づかないのに、ちゃんと会議に参加してますよね。なんかこう、耐えているように見えるんです、僕には。いわゆる「おしん」みたいな……日本の昔のかっこよさですよね。

——ちなみに〝一番ヘタレなキャラ〟は？

ヘタレなキャラというより、ヘタレにしたいのはフランスですね。あの自信！ あ、小野坂さんが見えてきちゃった(笑)。小野坂さんには、いつか勝ちたいです(笑)。

「ヘタリアを80分」は未知の世界ですよ

——演じてて一番楽しかったことは？

自分のキャラクターも好きですし、自分も頑張ってますが、やっぱり他のキャラクターの声を聞いている時が一番楽しいですね。ライブ感があって。

——大変だったことはありますか？

それはもうイタリアの声を出すのが(笑)。本当にイタリアをやる前の体調管理というのが、大変ですね。できあがったものを観させてもらうと、スタッフの皆さんが一番いいところ、奇跡をぜんぶつないでくださってる感じです。

——劇場版製作決定！と聞いたときの感想をお願いします。

「えっ」と思いました。いったいどんな風になっちゃうんだろうな、というワクワク感はありました。でもあのテンポを…ヘタリアを80分って…未知の世界です(笑)。

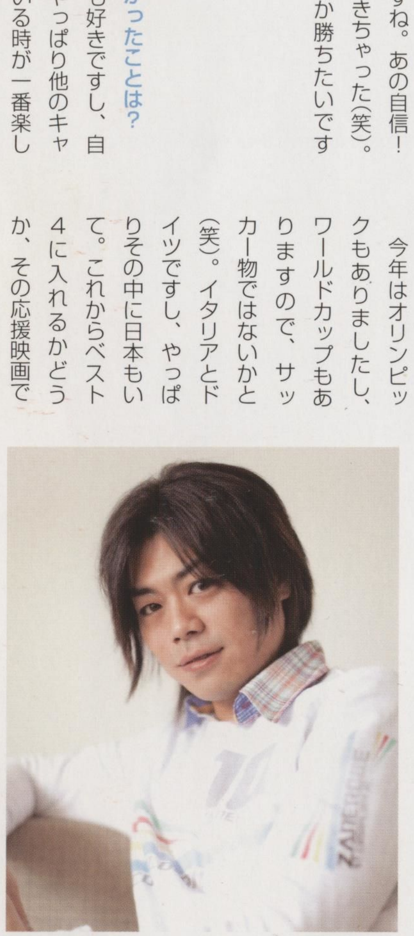
——ではずばり、劇場版の内容は？

今年はオリンピックもありましたし、ワールドカップもありますので、サッカー物ではないかと(笑)。イタリアとドイツですし、やっぱりその中に日本もいて。これからベスト4に入れるかどうか、その応援映画ですね。相手はフランス、イギリス……アメリカも最近すごいですし、ロシアも古豪ですよ。いよいよイタリアが輝く瞬間です(笑)。

——最後にファンへのメッセージをお願いします。

応援してくれる皆さんがいたから、僕たちがこうやって笑ったり楽しんだりできています。さらにもっといい物を作ろうと、もっと恩返しをしたいな、と思います。皆さんに納得してもらえる物を発信して、もっとヘタリアの世界を力強く広げていきたいです。頑張りますので、今年もよろしくお願いします。また来年も何か新しいことができたらいいな、と思っています！

——ありがとうございました。



PROFILE
浪川大輔（なみかわ だいすけ）3月29日生まれ。東京都出身。代表作『07-GHOST(ミカゲ役)』『FAIRY TAIL（ジークレイン役）』など。

収録現場は、とても良質な、ストレスのたまらないカオスだと思ってます。

安元洋貴

Hiroki Yasumoto AS ドイツ



頑固親父に見えるけど根は優しいドイツ

——ドイツ役に決まった時のお気持ちをお願いします。

申し訳ないんですけれども、僕は『ヘタリア』っていう作品を知らなかったんですね。それで「安元さん、ドイツ役に決まりました」って言われて、「は?」って(笑)。「僕は日本人だけど、ドイツ役というのはどういうことだね?」と。「ドイツっていう人がいるんですか?」って聞いたら、「そうです」って言われて。それで作品を読んだら、ああなるほど、とようやく理解したんです。

——演じられてからはいかがですか。

自分で見た印象、感じた印象をそのまま演じたら、ダメ出しもなく、すんなりそのまま形になったんです。ですので、自分が今までやってきたキャラクターの中でも、相当、素の僕に近いんじゃないかな、と思うキャラクターですね。

——ご自身で感じられるドイツの魅力はどんなところだと思われますか?

〝質実剛健〟が魅力になるのであれば、そこだと思います。あと見た目とかごつい人だし、ずっと怒鳴りちらしてるから頑固親父みたいな感じだけど、優しいですよね。根はとても愛情のある人だと思っているので、そこら辺が魅力かな。見た目の印象とのギャップですね。

——気に入っているエピソードをあげるとしましたら。

これはもう色んなところで言ってるんですけど、僕は本当に1話の冒頭が一番なんですよ。世界観がすごくわかりやすいと思いますね。皆が自分勝手にめちゃくちゃに騒いでいて、それをドイツが一喝して収め、イタリアがわけのわからないことを言って始まる(笑)。それがヘタリアの根底のひとつだと思うんですね。そういう意味で、あの関係性や空気感を今でも大事にやっています。



⬆ドイツの一喝&早口を印象づけた第1話冒頭シーン

——〝カッコイイキャラ〟をあげるとしたら、誰でしょうか?

ローマ爺ちゃんかな? ふふふ…ローマ爺ちゃんって、なんか一番ずるいですよね(笑)。

——それは〝おいしいところ〟を持っていくということですか。

もちろんそれもあるし、何より存在がずるいです(笑)。「ずるカッコいい」(笑)。

——ちなみに〝一番ヘタレなキャラ〟は?

これは…イタリアって言ったら面白くないと思うので、プロイセンですかね。数多い空気が読めないキャラクター達の中で、ぶっちぎりなんですよ、彼は。読もうとしてて読めてない日本とか、読む気がないアメリカとか、読んでるけどズレてるイギリスとか。そんな中で、彼だけ「空気? なにソレ」みたいな感じで。言ってることとやりたいこと、やれてることとのギャップもすごいし(笑)。

——では自分でなってみたい国はありますか。

スイス! スイスは数少ない常識人だと思うので(笑)。可愛い妹もいるし!

——収録現場のことをお伺いしたいのですが、どんな現場でしょうか?

アドリブは絶対受け止めてくれると信頼しています

一言で言うと〝カオス〟ですね。まぁ、自由な方ばっかりで(笑)。とても良質な、ストレスのたまらない混沌だと思います。

——今まで演じてこられて、楽しかった、面白かったことなどは?


⬆落ち込み気味のイタリアのために、秘蔵のソーセージを届けるドイツ

名前を出すのははばかられますが、○本と○ランスが遅刻してきた時の、謝り方が面白かったです。日○は打ちひしがれてましたし、フ○ンスは土下座よりも上の、最上位の謝り方とかで、土下寝をしてました(笑)。ちなみに僕も遅刻したことがあって、スライディング土下座をしました(笑)。

——テスト時に皆さんアドリブが多いと伺いましたが。

コミュニケーションがすごくよくとれてる現場だから、信頼してアドリブができるんですよ。こういう変化球を投げたって、こいつは絶対受け止めてくれるな、っていう圧倒的な信用がみんなにありますし。正しいテストの形だとは思うんですけど、こうやったら面白いかもなっていうのを、みんなが実験しながらやれてるという感じですね。

——逆にこれは苦労された、ということはありますか?

それはまあ、早口なんですよ、ドイツくんが。しゃべっていい尺(時間の長さ)に「おいおい入るのかよ」っていうセリフ量があります。僕の限界を試されている(笑)。その中で言葉を叩き込みつつ表現し、なおかつアドリブの要素があったら遊ぶっていうのは、毎回けっこう大変ですね。でもそれが楽しくもあり、やりがいがあるんです。

劇場版は、こっそりやってるイタズラが大っぴらになる感じ

——劇場版製作決定! と聞いたときの感想をお願いします。

「マジか、やめておけよ」と思いました(笑)。僕はアニメに関しては、大人が本気でこっそりやってるイタズラ、みたいなイメージがあったので(笑)。そのイタズラがどんどん大っぴらになっていく気がして「やべえ、ビビる」という感じです。もちろんすごく嬉しいんですけど、ドキドキしています。

——ではずばり、劇場版の内容を教えていただきたいのですが。

イタリアのヘタレ度、ドイツの熱血度、日本のふんわり感、連合のしっちゃかめっちゃか度、もろもろ5割増しぐらいになってます。で、フィンランドのキモイモイ度が6千倍になってます。そんな作品です(笑)。

——最後にファンへのメッセージをお願いします。

僕らに悪気はないんです(笑)。悪気なく、本気で楽しくイタズラをしています。劇場版を観に来られた方も、一緒に楽しんでくれたら本当に幸せです。楽しい作品にならないはずがないキャラクターばかりなので、ぜひ劇場に観に来てください!

——ありがとうございました。



PROFILE●
安元洋貴(やすもと ひろき)3月16日生まれ。山口県出身。代表作『BLEACH(茶渡泰虎役)』『夏のあらし!(村田英雄役)』など。

日本を愛していますが、全員で盛り上がるシーンに参加できないのが辛いです。

高橋広樹

Hiroki Takahashi

AS 日本



日本の魅力は、なんかよくわからないところ

——日本役を演じられての感想をお願いいたします。

一番最初がドラマCDだったのですが、その時はわりと元気いっぱいで、どんどん食い込んでいくキャラだったんですね。アニメではまた演出が違うので、最初の頃はちょっと戸惑いましたね。

——では日本役を演じるうえで、気をつけている点を教えてください。

雅なところですかね。よく言われるのが、優柔不断で、追随するところを美徳とせず、目立たない事がよい事なのである……という点なんですが、それは奥ゆかしさではなく、美的感覚だと思うんです。はっきりと言わないけれど、伝わっている。自分から否定や肯定の方向に持って行くのではなくて、他人が自分が望む方になるよう促す、そんな言い方に気をつけています。

——高橋さんが思う日本の魅力は？

目立たなさですかね。カナダがいますけど、カナダは影が薄いという事自体がものすごく目立ってますよね。日本って、イギリスから見た日本とか、世界が見た日本だったりして、日本自体を単体でプッシュアップするエピソードがないんですよ。そういう点「いるんだけど、なんかよくわからない」というのが魅力だと思います。

——お気に入りのエピソードは？

日本と中国の回（16話）ですね。ドイツのUボートの時もそうでしたけど、日本は小型化が得意でカラーバリエーションもそろえてしまって、果てはロボットまで作っちゃう。なんでもちょっとアレンジして、いい物にしてしまうんですよね。その日本の得意分野が、じつは二千年以上前から中国とやってきている事で…それが原点なんだろうな、と思ったんです。中国から教えてもらったものを、よりいっそう、自分達の気持ちがよいように作り変えるお話だったので、好きですね。

——日本と兼ね役のキューバとの演じ分けでコツなどありますか？

日本をやっている時はどちらかというと、内面で処理する部分が多いんですけど、キューバは赤道に近い国なので、日本よりもより開放的に演じています。男らしさ、男臭さみたいなところを出そうかなと思うと、自然と回路がつながってキューバになれるんです。猛々しいところから入っていく事に、意識を集中しています。

——"カッコイイキャラ"は誰だと思いますか？

いないですね。カッコイイはいないですけど、素敵と思うのはハンガリーですね。ビジュアルも含めて。

——では一番"ヘタレなキャラ"は？

バルト三国かな。しょうがないんですよ、彼らは。かわいそうですね。



⬆中国に漢字を教えてもらう日本

——うらやましいと思うキャラは？

フランスですね。フランスの自由奔放さというか、ある種のナルシシズムの持ち方というか、そういうものが非常にうらやましく感じますね。僕自身は日本人的な気質を持っていると思うので。

——日本以外に演じることができたらどの国がいいですか。

色が付いていない、まだ見ぬ新興国がいいですね。なるべく元気のある、シーランドのように野心を持った、そういうエネルギーのある国が。国際宇宙ステーションもいいですね。宇宙ステーション共和国をやってみたいです。絶対、孤高の存在になるんですよ。それで周りの大きい国々から「俺のもんだ俺のもんだ」と手を引っ張られたりするわけですよ（笑）。

収録で笑わないようにするのが一番大変!?

——収録現場の雰囲気は？

愛おしい現場ですね。個性的ないろんな色がパレットの上で混ざり合って、新しい色を作っていく。それを目撃できるという意味で、大変幸せな現場です。

——高橋さんもその色のひとつですね。

私、白なんでね（笑）。修正ペンで直し入れるみたいな、そんな状況ですね。シリーズは5分ですし、1分以内のエピソードがどんどん並ぶ時があるし……という、あえて分ければ大変なアフレコになってしまうんですが。でもそこは皆さん、作品作りに長けているので、ちゃんと自分の色の出し方がわかっている。そういう物作りの現場なので、役者冥利に尽きます。

——演じていて、楽しかったことは？

どっちかというとアフレコの現場ではおとなしい部類に入るので、眺めているのが楽しいですね。積極的に入っていくタイプではないので、「ああ楽しいな」とゆったり座っているのが好きです。

——大変だったことはありますか？

自分の役なので、日本を大切にして愛しているんですけど……騒がしいシーンでみんなが「イェイイェイ」とか盛り上がったり、喧嘩をしあったりとかしている時に、ひとりじっとしてないといけないのは辛いです。でも最近では汗を噴き出しながらおろおろしている、というシーンが増えているので、まだちょっと安心しているんですけど。初期の頃はそれさえも控えめで、端っこでひとりで、「ああ、この先どうなってしまうんでしょう」と独り言をぼそっと（笑）。全員で盛り上がるシーンに参加できないのは、若干フラストレーションがたまりました。僕も一緒に盛り上がりたいのに……そこをこらえるのが大変辛いです。

体中の筋肉をほぐしながら観てください

——劇場版製作決定！と聞いたときの感想をお願いします。

申し訳ないと思いました（笑）。完全に立場を超えた発言なんですけど、どちらかといえばこの作品は、こっそりやっている良さがあった、と個人的には思っていましたので。映画でやるなら、全米ナンバーワン映画いよいよロードショー……の時に、お知らせの間3分間だけ特別公演があります、みたいなこっそり感（笑）。観ていただく方の生活エリアの中にすっと入り込んでくるような。お客さんに足を運んで時間を決めて観ていただくということで、どうなるのかなという楽しみと、不安がありました。

——劇場版の内容は？

それぞれの国の県ないし州も擬人化して、日本が47人くらい出ます。北海道君と青森君がテーブルの下で手をつないで青函トンネル完成とか（笑）。

——最後にファンへ、メッセージをお願いします。

我々としては非常に楽しく、なんというか、クラブ活動みたいな感じで、取り組ませてもらっています。ですのであまり肩肘張らずに、自然体でいらしてください。トイレの中で観るくらいにリラックスしていただければ（笑）。ヘタリアはシリーズ、劇場版とも、ぜひ体中の筋肉をほぐしながら観ていただき、これからも長くおつきあい願えればと思います。

——ありがとうございました。



PROFILE

高橋広樹（たかはし ひろき）9月7日生まれ。東京都出身。代表作『家庭教師ヒットマンREBORN!（スペルビ・スクアーロ）』『ネオ アンジェリーク Abyss（レイン役）』ほか。

アメリカは元気で明るくて自由人で、自分の正義感を持っている。

小西克幸

Katsuyuki Konishi AS アメリカ





アメリカは第1話の高いテンションそのままです

——アメリカ役を演じてられての感想をお願いします。

最初に絵を見せていただいた時は、元気そうな人、という印象でした。いつも必ず笑っていて、困った顔をしている事があんまりなくて。最初は、世界のリーダーというところもあったので、騒がしいだけじゃなくて、もっと落ち着いたトーンも欲しいと言われたような気がするんですよ。でも1話からテンション高くて、そのまきちゃってる気がします。僕は勝手な人間なので、フリーダムにやるのが好きなんです。そういったところが似ているかな、と思うので、アメリカは非常にやりやすいですね。演じていて、楽しいです。

——兼ね役のカナダはいかがですか?

カナダはアメリカと顔が似てるので、逆に思いっきり弱くした方がいいと思ったんです。スタッフの方々が「アメリカと両極端にしましょう」「何言っているかわかんないぐらいでいいよ」と言ってくださったので。でもあのか細さは難しいです。僕らは音を出す仕事なので、音を出すなと言われると……。声を出さずに存在感だけ出すというのは、やっぱり難しいですね。

——小西さんの思われる、アメリカのチャームポイントを教えてください。

ヒーローなところじゃないですかね。アメリカらしさ……元気で明るくて自由人で自分の正義感を持っているという、それが可愛いかな、と思います。有言実行で、どちらかというと言うんだったら言うなりのことをやっている、と僕は解釈しているので、そんなところはすごいなと思いますね。アホに見えて(笑)。たまに自分のメタボリックさ加減を憂いているところとかも(笑)可愛いなと。

——では、アメリカのハンバーガーの食べっぷりはどう思われますか?

すばらしいですね。あんなに食べられないです。僕もハンバーガーとか好きで、何個食べられるのか、やった事あるんです。でもパサパサしてて意外と食べられないんですよ。

——どのぐらい食べたんですか?

もう具体的な数は覚えていないのですが、そんなに食べられなかったと思います。そもそもラジオ番組の中でしたので、しゃべりながら食べないといけないので無理でした。



⬆ハンバーガー大好き！ なアメリカ。会議中も、もりもり食べてます

——お気に入りのエピソードを教えてください。

1話ですね。僕だけ異常に速かった気がするんですよ、セリフが。アメリカの演説から入りますよね。それが長くて入らないんですよ、どうやっても。すごいきつかったですね。でもヘタリアというのはこういうものですよ、という入口としてはいいですよね。ですから(きつかったけど)そういう意味でも好きですよ。あとは倉庫掃除。あそこでしかアメリカの真面目なトーンを聞けないので、貴重な回ですね。あとは騒いでいるだけなので。それから「みんなの役割を発表するぞ」というところもいいですね。さんざんみんなにふって、「俺かい? 俺はもちろんヒーローさ」というのが好きですね。あと自分には関係ないのですが、フランスの結婚話はすごい好きです。フランスのセリフとか。



⬆ヒーロー担当はオレに任せろ！

イタリアはあまりヘタレてないかも

——〝カッコイイキャラ〟をあげるとしたら、誰でしょうか?

……うーん……。まあ、アメリカかなあ? 有言実行なところが。子供っぽいですけど、大人ですからね。意外にちゃんとしてますから。

——では、〝一番ヘタレなキャラ〟は?

……うーん……。イタリアはヘタレなようで、あまりヘタレてないんですよね。「できないよー怖いよー」とか言ってたりするんですけど、僕のイメージだとわりとこう、ちゃんとしているな、という感じなんですよね。逆にイエスノーを言えないというか、ずっと優柔不断な日本はヘタレな感じがしますね。決めゼリフが「善処します」だし。イタリアは立ち直りも早いし、打たれ弱くないんですよ。だから意外と強い感じがするんですよね。

——なってみたいと思うキャラクターはいますか?

そういう観点で見たことがないんですが……イギリスは絶対イヤですし、ロシアも絶対イヤですね。ドイツも疲れそうです。アメリカがいいかな、自由だし。ハンバーガーとかコーラとか好きだし。

——では、収録現場の雰囲気を教えてください。

ふだん仲のいい人や知っている人が多いので、そう言った意味では非常に楽しいですね。

——演じていて、一番楽しかったことは?

南の島でたき火を囲んでいる枢軸に、「いけー中国!」と言って、中国ばっかり行かせている時は楽しいですね。アメリカらしくて。

——ここは苦労したな、という事はありますか?

大変大変とか言ってますけど、じゃあものすごい大変なのかというと、そうでもないですね。演じている時は楽しい事のほうが先にくるので。

みなさんの勢いを感じています

——劇場版製作決定! と聞いたときの感想をお願いします。

率直に、何やるんだろうな、と思いました。どんな話になるんだろうというのが、気になりましたね。

——ではずばり、劇場版の内容を教えていただきたいのですが。

このあいだオリンピックがあったバンクーバーで、ヘタリアオリンピックを開催します。80カ国ぐらい出るんじゃないですかね。で、オリンピックやっていたら大問題が起きまして、そこからどうなっていくのか……各国の存亡をかけた危機です。あと、いつも何を考えているのかわからない不気味なロシアが、劇場版だといい奴になります。みんなのピンチを助けるジャイアン的な存在ですね。ぜひハンカチを持って観ていただければと。白旗ハンカチというのが販売されますので、それをご購入のうえ、観てください(笑)。

——最後にファンへメッセージを、お願いします。

おかげさまでヘタリアも1期2期、そしてキャラクターソングも出て、劇場版と第3期も決まりました。やっぱり皆さんが、ものすごい勢いで応援してくれているんだなと感じられます。ヘタリアファンの皆さんに、より質のよいものをお届けしようと、スタッフも頑張っています。僕たちも全力で、恩返しができるよう頑張りますので、今後とも応援していただければ嬉しいです。よろしくお願いいたします。

——ありがとうございました。



PROFILE

小西克幸（こにし かつゆき）4月21日生まれ。和歌山県出身。代表作『D.Gray-man（コムイ・リー役）』『FAIRY TAIL（ラクサス・ドレアー役）』

杉山紀彰

Noriaki Sugiyama

AS イギリス





イギリスは普段は常識人なのに、切り替わってしまうギャップが面白いです。

素直じゃないところがおもしろ可愛い英国紳士

――イギリス役に決まった時のお気持ちや演じられてからの感想をお願いします。

最初にお話をいただいた時に、国を擬人化するということで、アメリカとかロシアとかは割とイメージがありました。ではイギリスは、というと英国紳士とか、王室とか、そういうキーワードで捉えていたんですが…。でもキャラクターの設定や絵を見せていただいたり、やんちゃな時代もあったことも知って…その辺りが意外というか、面白かったですね。

――ご自身で感じられるイギリスの魅力は、どんなところだと思われますか？

同じことを言っているのに、相手によって話し方がかなり変わるところでしょうか。それは当然といえば当然なんですけど、その変わり方が結構激しいといいますか。例えるなら色んな意見を出しあっているとき、それに対して「俺も賛成だ」と素直に言ったり「まぁ、悪くはないが」という言い方をしたり相手によって色々変わる（笑）。そういった素直じゃないところが可愛いなと思いますね。

――1、2期のお話で、杉山さんが気に入っているエピソードをあげるとしましたら。

杉山　個人的に好きなのは、フランスとケンカしているシーンと、妖精が見えたりして自分の世界に入っているところです。まあ、イギリスの中ではちゃんと相手がいて会話をしているわけなんですが（笑）。普段は常識人なのに、さらっとそっちの世界に行ってしまうギャップが面白いです。

――〝カッコいいキャラ〟は誰でしょうか？

カッコいいということ自体にも色んなベクトルがありますよね。個人的には、ドイツ的なカチっとした男らしさを、カッコいいなと思います。最近どちらかというと、物腰の柔らかい中性的で優雅なキャラが多い中で、昔ながらの男のカッコよさを持っているドイツが好きですね。



⬆イギリスといえば伝説と妖精の国。妖怪ともお話しできます！

――ちなみに、〝ヘタレなキャラ〟はいますか？

あえて鉄板のところを選んで、イタリアです（笑）。それは、何をするにも「ドイツドイツ～」っていうところではなく、ストーリーの端々で、見境無く女性に声かけちゃってるところが（笑）。普段はまだ可愛いというくくりで理解できるんですが、女性に関してはだらしがないだけじゃないか、っていう気が……しなくもないので（笑）。

――ではご自分でなってみたい国はありますか？

どれも面白そうではあるんですけど…フランスぐらい自由に生きられたら、人生楽しいだろうな、という気がします。〝人生を謳歌する〟というのは、まさにこの人のためにある言葉だと思います。

収録で笑わないようにするのが一番大変!?

――収録現場のことをお伺いしたいのですが、どんな現場でしょうか？

和気あいあいとしたアットホームな現場ですね。監督はじめスタッフの方々も優しいです。本番録りの前にテストをやるんですが、台本にはないアドリブのツッコミも結構多くて笑ってしまいます。オフ（キャラクターが画面の外で話している状態）になっている時に「あ、これは入れられる！」って、どんどん被せていって（笑）。そんな風にそれぞれがキャラクターを消化して、さらにパワーアップさせているような感じがあって…とても楽しい現場です。



⬆イギリスとフランスの舌戦が面白すぎる！

――今まで演じてこられて、楽しかった、おもしろかったことなどは？

色々ある中でも、フランス役の小野坂さんのテスト時のアドリブがすごく面白いです！　さすがにブラックすぎて収録はできないな、っていうのもいっぱいあったりして……皆さんに教えられないのが残念なんですけど（笑）。ユーモアとかアドリブをガンガン飛ばされていて、テスト段階の音声は出演者と関係者のみの楽しみですね（笑）。

――杉山さんはそれにツッコんだりするんですか？

乗っていけるところは乗っていきたいな、と思っているんですけども。小野坂さんが鋭すぎて、他のみんなと一緒に笑ってしまう（笑）。

――逆にこれは苦労された、ということはありますか？

収録自体はあまり苦労というものはないのですが、やっぱり小野坂さんが（笑）。本番の時に、テストとはまた違うネタでアドリブが入ったりするんです。僕が「この後に自分のセリフだ」と思いながらマイクの近くにいるときは、もう吹きださないようにするのが大変（笑）。小野坂さんが一番多いんですが、他の方々も面白いアドリブ入れますね。本番なのでノイズを入れるわけにもいかないし、後ろにいるメンバーも堪えて堪えて……アイキャッチのシーンになった瞬間、皆で爆笑！　みたいな感じです。

劇場版はホップ・いきなりジャンプ！

――劇場版製作決定！　と聞いた時の感想をお願いします。

最初は純粋にすごいなって、驚きました。通常の流れですとテレビで放送して、イベントとかやって、それで盛り上がってやがて劇場版という、だいたいのプロセスがあるじゃないですか。ヘタリアに関してはドラマCDやラジオはありますけど、基本的にはネット配信でやってきたので……。劇場版って、なんかホップ・いきなりジャンプ！　くらいになった印象があります。

――ではずばり、劇場版の内容を教えていただきたいのですが？

それはですね…劇場版は、テレビシリーズ以上にフルメンバーが揃いますし、通常の枢軸・連合以外のキャラクターももちろん登場します。なので、ふだんあまり交流のないキャラクターともガンガン喋って……たらいいなと思います（笑）。

――最後にファンへのメッセージをお願いします。

この作品を見て応援してくださる皆さんがいるからこそ、劇場版が実現しましたので、まずそこにお礼を述べさせていただきたいと思います。ありがとうございます。皆さんの声援の大きさに負けないくらい、今後もより面白くなるよう頑張りたいと思います、そして『ヘタリア』がずっと続いていってくれたら嬉しいですね。劇場版と第3期の放送もありますけれども、皆さんの声援次第では、まだまだいろんな可能性や展開があるのではないでしょうか。今後とも『ヘタリア』を応援していただけたら嬉しいです。

――ありがとうございました。



PROFILE●

杉山 紀彰（すぎやま のりあき）3月9日生まれ。東京都出身。代表作「BLEACH（内田雨竜役）」「NARUTO 疾風伝（うちはサスケ役）」など。

苦労しても自分はこう生きるんだ、と頑張るフランス…そういうところが自分に似ている。

小野坂昌也

Masaya Onosaka AS フランス



イギリスとケンカする時には みんなのジャマにならないように

——1、2期とフランス役を演じられて、イメージに変化はありますか?

マンガで読んで、そのイメージどおりにフランスを演じようと思ってるので、そんなに変わってないですね。というか、そのままです。

——ではフランスを演じるうえで、気を遣っているところを教えてください。

回を重ねるごとに、イギリスとのケンカのようなやりとりが任されるようになったんですね。アドリブという形で。それがBGMのように、フランスとイギリスが後ろで喧嘩しているなか、前で他の人がお芝居をする、という感じの絵が増えています。なので「みんなのジャマにならないようにケンカをする」というところを、いつも気にかけていますね。

——小野坂さんの思われるフランスのチャームポイントはどこでしょうか?

「おしゃれに考えようよ」という思考です。ドイツみたいな固い考え方の人ばっかりだったら、話も固くなっちゃいますからね。かといってイタリアは何も進めようとしないので、話が進んでいかない。そんななか、筋道を考えるアメリカとドイツの間で引っ掻きまわしていく、フランスとイギリス……という感じです。でもイギリスは真面目だから、普通に考えてしまう。そこに、なんだっていいから反対してしまおう! っていう位置なんじゃないですかね、フランスは。

イタリアみたいな生き方ができたら楽なのに

——では1、2期で気に入っているエピソードを教えてください。

自分がしゃべっているところは印象に残っていますけど、それ以外ですと……。最初の頃は「ちびたりあ」が可愛かったので、印象に残っていますね。今はローマ帝国の歌が面白いです。

——小野坂さんが"カッコイイ"と思うキャラクターは誰でしょうか?

カッコイイ?……カッコイイ人はいませんもんねー(笑)。ダメ人間ばかりですからね。カッコイイですか(悩む)……スイスはムカつきますよ。全然カッコよくないです。リヒテンシュタインが可愛くて、ずっと慕われている……あの感じが苛だちますね。

——可愛い妹がいて羨ましい、という意見もありますが。

羨ましいのもありますけど、それより出てきていない感があるんですよ、世界に。僕らはバカなりに一生懸命、世の中の事をどうしようという気持ちがあるのに、スイスは中立国としてまったく出てこない。そこにリヒテンシュタインを囲い込んで、自分たちの世界を生きている、という感じがすごい嫌ですね。



↑とりあえずイギリスとアメリカには反対しておくのがスタンス

——それでは"ヘタレ"なキャラは?

バルト三国なんじゃないですか? あれは見ているとかわいそうですね。いつも3人で同じセリフを合わせて録るんですけど、合わないし(笑)。

——うらやましいな、いいな、と思うキャラクターはいますか。

イタリアかな? 楽ですもんね。「ヴェー」って言っているだけで、みんなに可愛いと言われて。ドイツに構われて「ちゃんとしろー!」みたいなことを言われても、「ヴェー」「ヴェー」「僕できないよー」(と言っているだけ)。……うらやましいです。そういう風に生きられたらな、と思います。フランスは絶対曲げないじゃないですか、自分の考えを。苦労しても自分はこう生きるんだと決めて、一生懸命頑張るじゃないですか。そういうところが自分に似ているな、と思うんですけど、たまにイタリアみたいな生き方をしてたら楽なのにな、と思う時があります。

アドリブで任される事が楽しい

——収録現場はどんな雰囲気ですか?

毎週決められた時間に録っているわけではないので、人数も多いですし、なかなかフルに集まれないんですよね。イタ○○とアメ○○がよくいないんです。フランス、イギリス、ロシア、日本、ドイツは優秀ですよ、集まるのが。なので、いつもいるメンバーで、いない人について「なんでいないんだ」という話で盛り上がれます。そんな楽しい雰囲気です。

——演じていて一番楽しかった事はどんな事ですか?

アドリブでできる、という事ですね。「ここどうしましょうか」というところでも、決めつけるわけじゃなくて、「テストでは好きにやってみて」と言われるので、任せてもらえるのが楽しいですね。

——どんな爆弾が飛んでくるのかと、杉山さんがドキドキしているそうですね。

杉山君は真面目なので、いつもアドリブをあらかじめ考えてくるんですよ。何を言うか、いっぱいホン(台本)に書いてくるので悪いなと思って、ぜんぶテストの時に聞くんですけど。ただ最初は、ケンカって会話だから相手の言った事にこちらが返して、と考えていたんです。最近はお互いの主張をずっと言い合う方がおもしろいのかなと思って。煙の中で相手の言う事を聞かずにずっとしゃべってる、みたいになってますね。

——大変だったことはありますか?

セリフが多いのは楽しいので、全然大変だと感じないですね。反応の良さを試されるのが現場なので、その場で考える事とか任される事は、楽しいですからね。そんなに大変という事はないんですよ。

——劇場版製作決定! と聞いた時の感想をお願いします。

短編の4コマ漫画なのにどうするんだろうと思いました。5分ぐらいのアニメを10本とか20本とかやるのかなと思っていたんですが、一本の話にするというので、どうするのか、どんな話になるのかが楽しみでしたね。

——ではずばり、劇場版の内容は?

ワインと食事の話です。ワインの奥深さと、それに合う食事をフランスが中心になって進行していく、いわゆるテレビ料理ショーみたいな話ですね。それでみんなが食べに来て、各々の名物料理を作っていきます。結局フランスはその料理を食べてみて、全然ダメ! と言って、みんながガーンとなって帰っていく。そんな短編集です(笑)。

——最後にファンへのメッセージをお願いします。

僕たち役者は、これからのストーリーをまったく知らされていないので、今後どうなっていくのか楽しみですね。キャラ同士の、っていうのじゃなくて、タイムスリップしちゃったみたいなのとかあるのかな。バルト三国に「恐竜買ってこいよ」とか、「できませんよー」「じゃあ××だー」みたいなやりとりとか(笑)。まったくわからない分、どうなるのか皆さんも楽しみにしていてください。

——ありがとうございました。



PROFILE
小野坂昌也(おのさか まさや)10月13日生まれ。大阪府出身。代表作『BLEACH(平子真子役)』『BACCANO! -バッカーノ!-(アイザック・ディアン役)』ほか。

あの3人との関係は日常生活、彼らはヘタレではなく、下僕です。

高戸靖広

Yasuhiro Takato AS ロシア



ロシアって、ニコニコしながら黒いことを言う

——ロシア役に決まった時のお気持ちや、演じられてからの感想をお願いします。

失礼ながら『ヘタリア』を見たことがなく、役名がロシアと聞いても、そういう名前なんだ、と普通に思っていて。それで最初の収録前に、台本と練習用のVTRをチェックするんですが、そこで初めてイタリアもアメリカもいるんだ、ああなるほど！と思いました。台本から、ロシアってちょっとニコニコしながら黒いことを言うのね、というところでキャラクターをつくっていったんです。あとはドイツと真逆で、ビックリマークの全然ないセリフが特徴かな(笑)？声を張らずにぼそっぼそっとしゃべる感じで。予習よりも、実際にみんなと一緒に現場に入ってからのほうが、決めやすかったですね。

——ロシアの位置付けは、スキマにすーっと入るところだと思いますが。

そうですね。他のキャラ同士は結構関わりあっているけれど、ロシアって、第三者的なところにいますよね。それでいて、影響力バリバリのオーラを出しつつ(笑)。イタリア・ドイツ・日本とか、フランス・イギリスとか、みんな掛け合いコンビがあるんですけど、ロシアってひとりなんです(笑)。逆に交わらない分、好き勝手に演じられるな、っていうのはありますけど。

——ロシアを演じられるうえで気をつけていることは、どんな点でしょう。

他者との会話で空気を読まないこと(笑)。アメリカも空気読んでませんが、ひとりは嫌だ、みたいなところがありますよね。ロシアはどちらかというと、本当は僕のほうが上なんだぞ、的なところがあるので、一歩引いて、本心は見せていないですよね。



⬆イギリスの呪いの椅子もロシアにかかればガラクタ同然

——ご自身で感じられるロシアの魅力は、どんなところだと思われますか？

ロシアは表情が読めないのですが、たまーにちょこっと見せる、寂しさとか、生身の人間らしいところかな。

——1、2期のお話で、高戸さんが気に入ってるエピソードをあげるとしましたら。

僕は第1話の世界会議が一番好きですね。皆が我関せずとばかりにバーッとしゃべっていて、間にずばずばロシアが発言して。すごく各国の特徴が出ていて、面白いなぁって思います。あと雪に飛び降りるロシアも、じつは大好きなんですよ。怪我した状態の絵がないから、どうなってるのかわからない。そこも好きですね(笑)。

——びくぶるトリオとの関係はいかがですか。めちゃくちゃ支配してますよね。

ふふふ、あれは日常生活。ロシア的には通常モードです。家に帰ると3人揃ってぷるぷるしていて。やってくれて当然、という感じですからね。なので僕も日常っぽく演じてます。

——ではヘタリアの中で〝カッコいいキャラ〟は誰でしょうか？

うーん、各キャラともカッコいいんだか悪いんだか(笑)。あ、ローマ爺ちゃんはカッコいいかも！あとフランス兄ちゃんとかも、とりあえず見栄は張れてますもんね。いいですね。

——ちなみに〝ヘタレなキャラ〟は？

あんがい日本とかかな？自己主張しないで空気を読んで、っていうところが。まあびくぶるトリオは問題外ですね、私からみれば。ヘタレとかじゃなく、下僕ですから(笑)。あ、ロシアも姉妹に対してはヘタレてますね。





⬆ロシアにとって一番の脅威はこの妹・ベラルーシかも

——ではご自分でなってみたい国は？

正反対にバーッとあっけらかーんと、アメリカみたいな国もやってみたいです。ああいう弾け方は、すごく好きですね。ストレスなさそうでしょ？ヘタリアのエンディングのような、お花がいっぱーい、みたいな感じ。ああいうのいいですよね。

ここまで張らないとベラルーシは跳ね返せない

——妹とお姉ちゃんがいますが、個人的にはどちらが絡みやすいですか？

絡んでるんでしょうか(笑)？ふたりとも自己解決してますよね。かたや『ロシアちゃん！』って言っておきながら、『ダメダメ！』って逃げちゃうし。かたや『兄さん兄さん！』で、僕は逃げてばっかり。恐いですからね。でもベラルーシ役の高乃麗さんが楽しいんですよ！現場でおかしすぎて。僕の役は笑っちゃいけないのに、やっぱり笑っちゃいますね。『クソドアノブ』は、一生忘れない(笑)！

——演じていて一番楽しかったことは？

『帰ってー！』のセリフが、一気に弾けられて楽しかったですね。ここまで張らないとベラルーシは跳ね返せないと思って(笑)。ロシアには珍しく、本能のおもむくままに。

——逆に演じていて大変だったことはありますか？

えーっと、『あのアホ面どもがどう命乞いするか想像すると笑えちゃってさ』っていうセリフですね。どこまで黒くしようか、そのラインが微妙で。『僕の胸がドキドキするんだ』は、逆にもう、あっけらかんと言えた気がします。

ファンの皆さんに喜んでいただこうと頑張っております

——劇場版製作決定！と聞いた時の感想をお願いします。

えっ、すげっ！とは思いましたが、あれをどうやって映画にするんだろ、と「?」マークがいっぱいでした(笑)。

——ではずばり、劇場版の内容を教えていただきたいのですが？

とにかくみんなで頑張りました、って感じの映画になってると思います。それぞれのキャラクターのファンの方にとって、嬉しい内容になっているはずです！

——最後にファンへのメッセージをお願いいたします。

皆さんのおかげで、劇場映画やら第3期やら、はたまたイベントと、すごい大騒動になっております。演じている私達以上にスタッフの方々が大変だと思いますが。ファンの皆さんに喜んでいただけるものにしていこうと、頑張っております。楽しんでいただけたら、本当にありがたいです。これからも応援宜しくお願い致します。ありがとうございます。ううう(感涙)。

——ありがとうございました。



PROFILE
高戸靖広（たかと やすひろ）1月23日生まれ。岡山県出身。代表作『美少女戦士セーラームーン（アルテミス役）』『鋼の錬金術師（グラトニー役）』

中国は年齢も性別も超越していて、なんでもアリです。

甲斐田ゆき

Yuki Kaida AS 中国



凛々しく、を自分に言い聞かせています

—中国役と決まった時の印象は?

『ヘタリア』は小西さんと高橋さんから「こういうドラマCDをやっていて、ちょっと変わっていて面白いんだよ」と聞いていたんですね。その現場に行かれるというので、ワクワクしていました。でも中国役で、台本を受け取った時に「(語尾の)~ある」をどうしようかと。流ちょうな日本語の語尾として、その組み合わせはどうしても選択できなかったんです。それで自分のイメージのままやったら、スタッフからOKが出まして。「本当に大丈夫?」と思いました(笑)。

—1、2期と演じられて、変化はありましたか。

中国は自由なポジションでいられるので、あまり変化や違和感はないですね。ドイツなんかは、イタリアのお守り役的な事があるので、大変そうですけど。

—演じるときに気をつけている事は?

一番最初に、「凛々しくやってください」って言われたので、気分的には凛々しく演じています。でも時々思い出さないと外しそうになるので(笑)、自分に言い聞かせるようにしています。やっていることは全然凛々しくない瞬間はあるけど、「気分は凛々しく!」が大事かな。

—中国の魅力はどんなところですか?

凛々しさ7割、アホらしさ2割、思いがけない愛らしさ1割ですかね。ただ、私がやっていると、ばかばかしさの成分が増えそうで心配です(笑)。一番の魅力は、何でもアリのところかな。みんなも年齢とか超越してますけど、中国は性別も超越してる可能性が(笑)。その超越感が魅力ですね。

—お気に入りのエピソードは?

お気に入りと言うよりは、自分に印象深いのは、1話ですね。みんなが世界会議でわやわやしている中で、中国だけが泰然として「菓子やるから落ち着け」と言う回は、やっぱり一番インパクトが残っています。印象的に登場して、アップもありで。ただ、ヘタリアらしいお気に入りのエピソードって言い出すと、本当に選べなくて。みんなおもしろいですからねえ。エピソードによってタッチもすごく変わるし。お話としては、それぞれのキャラの特集回がおもしろいけれど、作業的にはみんなで出られる回が楽しいですね。



⬆戦闘では真っ先に飛び出して行く潔さを見せる中国

—〝カッコイイキャラ〟は?

ルックスはスペインかな。中身は…エジプトで。なかなか近代化に着手できないけど、まあいいやと思っているとか、しゃべっているところがなかなか目撃できないとか。声は……やっぱり、やめときます(笑)。

—一番〝ヘタレなキャラ〟は?

イタリア。イタリアあってのヘタリアですから(笑)。ヘタリアはやっぱり、へたれイタリアがいてこそだなと、いろんな時に思います。ヘタレって強いですよね。それを人生訓として気づかせてくれたイタリアが、最強です。だから、このカオスの世界で主役を張っていられる。本当にイタリアが好きになりましたね。

—いいな、羨ましいな、と思うキャラクターはいますか?

ウクライナさん。可愛らしいのにお姉さんっぽいし。彼女も大変な目にあっているだろうに、テイスト変わらないみたいな(笑)。ブレがない。そしてやっぱり可愛らしい。

キャラクターソングに感動しました

—現場の雰囲気はいかがですか?

適材適所な現場ですね。個性的なキャラクター達に合う人達がキャスティングされた結果によって、いろんな役割分担がしやすい現場ができていると思います。いろんなタイプがいて、現場は世界平和です。とてもすてきな地球がある感じですよ。

—中国を演じていて、一番楽しかった事、印象に残っている事は?

キャラクターソングに「同じ月をずっと眺めて」という台詞があって。地球上に太陽の光は同じように降り注ぐし、眺めてる月は一緒だし。国とか言葉とか違っても、こうやって同じ事を楽しめるのが、すごく大事なことだなって、感動しちゃいました。もちろん、曲の力もあるんですけれどね。すごい素敵なメッセージだなあって、今、それが一番に出てきますね。

—大変なことはありますか?

そんなにないです(笑)。ただ、ナレーションをやらせて頂いているんですが、ヘタリアのナレーションってお話によってタッチが変わりますよね。それに合わせて「何を求められているんだろう?」と探す作業が(笑)。スイス絡みのナレーションはやや若めに、リアル演劇っぽいナレーションだったり、ちびたりあは年輩の、落ち着いた女性のイメージで、と、その都度あるんです。これがベストじゃないのでは、と反省する事もあるのがナレーション(笑)。中国に関しては、反省とか後悔とかしない方向で(笑)。

じつは、こっそりと盛り上がるものと思ってました

—劇場版製作決定! と聞いたときの感想をお願いします。

いやー、びっくりしました! ヘタリアって基本的にこっそりと、その中でものすごく盛り上がるものだと、じつは思っていたので、劇場版とかそんな派手なことって!(笑) いいのかなという思いとともに、単純に「ヘタリアすごいな」と思いました。映画が公開になった時に、皆さんが一緒におもしろがってくれたらいいな、ヘタリアの楽しさを共有できたらいいな、と思います。

—ではずばり、劇場版の内容を教えていただきたいのですが。

デートに最適な、ラブロマンスです。こんな恋ってあるんだな、って、女の子はみんなときめくと思うし、男の人はホロっとしちゃうかも。恋はフランスとイタリアの専売特許かな、と思ったけど、まさかね(笑)……まさかそのフランスが、見えないところで人の恋をバックアップしちゃったのは意外でした。そして日本のこんな情熱的な一面はなかなか見られないですね(笑)。な訳ない! 劇場版ヘタリアですから、本当はヘタリアらしい内容です。

—ファンへメッセージをお願いします。

日丸屋先生がお腹を痛めて産んでくれたヘタリアは、皆さまのご家庭で愛され、大切に育まれてきた作品だと思います。アニメチームはそれを学校にお預けいただいたような感じでしょうか。ヘタリアさん、ほんと学校でもよくやってますよ(笑)。お家にいるヘタリアさんも、とてもいい子だと思いますけどね、学校でのヘタリアさんも見守っていただけたら、と思います。ぜひ一緒に、まだまだこれから成長して、進学して、大臣になっちゃうかもしれないヘタリアさんを、いっしょに見守っていけたらな、と思います。とりあえず第3期と劇場版で、中等部に入ったぐらいの感じなので(笑)。まだまだ先はあると思います。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

—ありがとうございました。



PROFILE

甲斐田ゆき(かいだ ゆき)11月30日生まれ。東京都出身。代表作『テニスの王子様(不二周助役)』『少年陰陽師(昌浩役)』

神聖ローマのほうがタジタジになってきて、私はそれを楽しんでいます。

金田アキ

Kanada Aki AS ちびたりあ





けなげさがチャームポイント

——1、2期とちびたりあを演じてきて、変化はありますか。

本当にのんびりとしたこの子の、ちびたりあタイムでしゃべりたかったんですが、決められた時間で納めなければいけないので、最初ちょっと悩みました。今は決まった時間の中で、いかにもったり感を出すか掴めたかな、と思います。最初はとにかくビクビクブルブルして「ふぇーん」って感じだったんですけど、回をおうごとに、あんまり泣かなくなって……たぶん神聖ローマとの出会いがあったからだと。だんだん神聖ローマのほうがタジタジになってきていますよね。私は今、それを楽しんでいます(笑)。

——役作りで気を遣っているところは？

すごく可愛いので、それを狙わないようにしています。私は思慮深い人間なので(笑)天然というのがわからないんですけど、天然って、本当に素直に口にした事が結果、可愛いんだろうな、と思って。ワザとらしくならないように気をつけています。

——そんなちびたりあの魅力は？

すっごいいっぱいあるんですけど、チャームポイントでいうと「けなげさ」だと思うんです。全身可愛いので、言い出したらキリがないですけど、可愛いですね。

——〝ヘタレ〟なキャラクターは誰だと思いますか？

意外と実はイギリスかなと思っています。髪を伸ばしたり、呪ったり、発明したり、一生懸命やっているのに、全部うまくいってなくて。そこがまた可愛いんですけど(笑)。

——うらやましいと思うキャラクターは？

アメリカさんかな。好き勝手しても、なんか憎めないというか。あれだけ自分を貫けるってうらやましいです。

ちびたりあにはいろんな事を教えてもらっている

——演じてて一番楽しかったことは？

ちびたりあを演じている事が、一番楽しいです。これまで可愛い役をやった事がなかった私の視野が広がり、ちびちゃんにいろんな事を教えてもらっています！

——「やー」という演技はどう生まれたのでしょう？

なんにも考えずに出てきたんです。そこを気に入っていただけたので、自分では意外ですが、これからもたくさん使おうと思ってます。

——劇場版になると聞いたときのお気持ちは？

私、携帯で観ているので「これがスクリーン？すっごーい」みたいな。単純にうれしかったです！

——映画はどういった内容でしょう？

みんながちっちゃい頃からの、成長記録です。「〇百〇年」ようやくヨチヨチ歩き」みたいな。それでだんだん成長して、学園ものになります！

——最後にファンに一言お願いします。

どんどん広がっていくヘタリアワールドは、皆さんが好いてくれている分、ふくらんでいるんだなと思います。これからも、こんなヘタリアが観たいって思っていただけるように、頑張ります。末永く見守り、愛していただけたらと思います。これからもよろしくお願いいたします。

——ありがとうございました。



PROFILE
金田アキ（かなだ あき）8月18日生まれ。愛知県出身。代表作『メタルファイト ベイブレード（鋼銀河役）』『韋駄天翔（鮫島牙舞役）』他。



⬆絵を描いてると幸せ。とってもルネッサンスな気分！

ベッドでゴロゴロするシーンは、神聖ローマのキャラクターが、はっきりしたエピソードですね。

金野潤

Jun Konno AS 神聖ローマ





じつは不器用な神聖ローマ

——神聖ローマ役に決まった時のお気持ちをお願いします。

もともとサイトでヘタリアを見ていたんです。なので、神聖ローマを私がやらせていただくことに、まずびっくりしましたね。

——金野さんの感じる神聖ローマの魅力は？

外見でいうと目が緑色がかって、すごく印象的で綺麗ですね。あと帽子から見えるモミアゲが可愛い(笑)。性格的には最初はオレ様なのかと思っていたんですが、じょじょに不器用な子なんだな、とわかってきました。

——気に入ってるエピソードはありますか？

ちびたりあが神聖ローマのところに来て、一緒に暮らすことになって。その後にベッドでゴロゴロしてるところですね。そこでひとつ、神聖ローマのキャラクターが自分の中ではっきりした気がします。プレッシャーは正直、すごかったんですが(笑)。でもすごく演技指導もしていただき、絵も可愛いらしかったので、好きなシーンですね。

——〝カッコいいキャラ〟は誰ですか？

ギリシャとか口数の少ないキャラを、カッコいいなーって思いますね。慎ましい日本にも憧れます。

——ちなみに〝ヘタレなキャラ〟は？

イギリスかも。強がってはいるけど、弱腰で。本命がイタリア、対抗馬がイギリス。ヘタレダービーでいったら、こんな感じですかね(笑)。

——ご自身がなってみたい国は？

やっぱりドイツかな。常識人だし、男らしいっていうか、ついて来い！みたいなところがあるので。

役者とキャラクターがリンクしています

——収録現場はどんな感じですか？

私がやってきた中では、役者とキャラクターがリンクしている現場として、ヘタリアが一番ですね。よくぞこれだけ合う人を集めてきたなって、端から見てて思いますね(笑)。

——収録時の思い出は？

ちびたりあとの別れのシーンで、何度もテイクを重ねてやらさせていただきました。あの別れ際の男らしさのようなものは、自分の中の引き出しのひとつとにできたかな、と思います。

——劇場版製作決定！と聞いた時の感想をお願いします。

劇場版は(笑)！全く、これっぽっちも予想してなかったですね。なので、すごくびっくりしました。

——ではずばり、劇場版の内容を教えていただきたいのですが？

本当にヘタリアらしい映画です！神聖ローマもいっぱい出てくるんですよ！…だと嬉しいですね(笑)。



⬆イタリアとひとつ屋根の下に暮らす神聖ローマはドキドキ！

——最後にファンへのメッセージを。

ファンの方の力が大きい作品だと、身に沁みて感じてます。この作品に出させていただき幸せですし、ぜひ今後も応援していただきたいなと思います。

——ありがとうございました。



PROFILE
金野潤（こんの じゅん）10月18日生まれ。千葉県出身。代表作『鉄のラインバレル（道明寺誠役）』『アイアンマン ザ・アドベンチャーズ（トニー／アイアンマン役）』など。

ローマ爺ちゃんのように、自由に生きられたらいいなーと思いますね。

郷田ほづみ

Hodumi Goda

AS ローマ帝国



ちびたりあと一緒に歌って改めて爺ちゃんの実感が

——最初にローマ役のお話があった時の、感想をお願いします。

当時からヘタリアはすごく話題になっていて、まさか、ローマ爺ちゃんという形でお話をいただけるとは思わなかったので、とても嬉しかったです。

——ローマ爺ちゃんはいきなり歌で登場しますね。

セリフがなくて歌だけだったのでびっくりしました。これは他の声優さんにはなかなか振りづらいだろうなと(笑)。プロデューサーとディレクターの陰謀にはまったというか……。でもいきなり現れて歌って去っていく、あれはいったいなんだろう、という演出は大好きなんです。そういう意味では、非常に楽しかったですね。昔の植木等さんのコントの「およびでない」とかね。ああいうの大好きなので、気持ちよくできました。

——郷田さんにとっての、ローマ爺ちゃんのイメージは?

爺ちゃんといっても、時空を超えてますので、絵のイメージは若いですよね。でもちびたりあと一緒に歌※って、「あっ、爺ちゃんなんだ!」と、改めて実感しました。

——ローマ爺ちゃんみたいな男をどう思いますか。

ローマ爺ちゃんのように自由に生きられたらいいなーと、僕は思いますね。実際生きているといろいろな事に縛られて、でもそれがなくなったら、きっと生きていけないだろうとは思うんですけど。あの自由さは憧れます。

ローマ帝国を演じられて幸せ

——"カッコイイ"と思うキャラクターは?

カッコイイとは、思わないなあ。だって、みんな変じゃないですか(笑)。でも僕はもともとイタリアという国が好きなんです。この作品はイタリアのキャラありき、というところがあるので、国としても好きなんだけど、愛すべきキャラでもありますよね。そのルーツであるローマ帝国をやらせてもらっていて、僕はとても幸せですね。

——"カッコイイ"キャラにローマ爺ちゃんを挙げる方も多いんですよ。

ちょろっと出て、おいしいところを持って行くからかな? 個人的にはもっと出番が多い方がいいんですけど(笑)。

——劇場版になると聞いたときのお気持ちは?

人気があるというのは、いろいろ感じていたんですけど、本当にすごいな、どこまで行くんだろう、と思いましたね。

——映画はどういった内容でしょうか?

タイムスリップして、みんながローマ帝国時代に来て歴史を大きく変えてしまう話です(笑)。

——最後に劇場版を楽しみにしているヘタリアファンに一言

これからもローマ帝国と河童(笑)がたくさん出てくるように、ヘタリア共々、ローマ帝国をよろしくお願いします。

——ありがとうございました。



PROFILE

郷田ほづみ（ごうだ ほづみ）8月22日生まれ。東京都出身。代表作『装甲騎兵ボトムズ（キリコ・キュービー役）』『HUNTER × HUNTER（レオリオ役）』他



⬆ローマ爺ちゃんといえばその歌声。孫のためなら、どこでも参上

※『歌って奏でるヘタリア（幻冬舎コミックス刊）』特典キャラクターソングCD「ルン・ルン・ルネッサンス♪」

プロイセンは自分を貫き通すキャラクター。

髙坂篤志

Atsushi Kousaka

AS プロイセン



乱暴だけど愛情がある部分を出したい

——プロイセン役を演じられて、最初とイメージが変わった部分はありますか。

最初に出てきたシーンがオーストリアから色々と巻き上げるところだったので、ちょっと乱暴で悪役っぽいイメージがあったんです。でも原作を読み返したり、監督さんのお話を伺ううちに、悪役ってヘタリアの世界にはいらないんじゃないかって思いはじめて。今は、乱暴者だったとしても、小学生の男の子が好きな女の子をいじめるような、そんな愛情のある部分を出すようにしてます。

——ではプロイセンのチャームポイントは?

僕にとってはプロイセンって、憧れなんですよ。自分を絶対に貫き通すキャラクターなので。それで自分の中では完結しているのに、周りから見るとちょっと可哀想な子(笑)、となってしまう。そこが魅力的なんじゃないかと思いますね。

——プロイセンは頭に小鳥を乗せていたりしますね。髙坂さんが、頭に乗せたらいいな、と思われるものは?

そうですねー。やっぱり小鳥乗ってるのは、可愛いなって思いますね。あとは王冠とか。原作では、海賊の船長みたいな帽子をかぶってましたよね。

——お気に入りのエピソードを教えてください。

自分の中では、ウクライナとベラルーシが出てきた回ですね。僕もエストニアとして参加させていただいたんですけども、その中で「なんだか兄姉妹っていいですね」って言うんです。心に沁みるセリフでしたね。

——アフレコ現場の雰囲気はいかがですか?

ヘタリアの現場は、僕にとってすごくよい勉強場所なんです。ベテランの先輩方の色んな部分を生で見て感じ取れるというのは。なおかつ、楽しいですし。皆さん本当に和気あいあいとしていて、笑わせていただいたりとか。

——劇場版が決まったと聞いた時はいかがでしたか?

すごい作品に関われて、とても嬉しいなあ、って思いました。でも映画宣伝大使に任命されて…何をすればいいのかなって。どこか遠くまで自転車で走らされたりするんだろうか、とか。電波少年的な何かがあるんじゃないかっていう、不安が(笑)。それと、宣伝大使ってことは、映画にいっぱい出られるんじゃないの? とか、そんな期待や変な妄想がいっぱい膨らんでましたね(笑)。

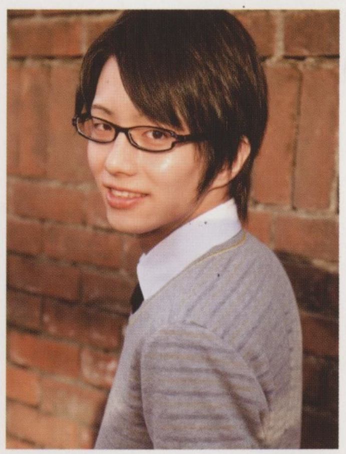
——では、どんな映画か教えてください。

プロイセンの情熱大陸です(笑)。プロイセンの今までの歴史とか生い立ちとか、プロイセンのふしぎ発見的なものだったりとか(笑)。

——ファンへ一言お願いします。

ヘタリアが始まってちょうど一年経ちますが、こんなに長く続けてこれたのは、皆さんの応援のおかげです。これからも、今まで以上にヘタリアの応援を、そして、プロイセンの暴走を温かい目で見守っていてください!!

——ありがとうございました。



PROFILE

髙坂篤志（こうさか あつし）2月22日生まれ。奈良県出身。代表作『ヒャッコ（京極柳役）』『家庭教師ヒットマン REBORN！（デイモン・スペード役）』他。



⬆意地悪も愛情ゆえ？ プロイセンはひとりでも頑張る！

とにかくリヒテンシュタインが可愛い！

朴 璐美 Romi Park

Ⓐⓢ スイス



——キャラクターの第一印象、また今感じているキャラの印象につきまして教えてください。

ステキ…。第一印象と変わらずに。

——スイスのチャームポイントはどこだと思われますか？

頬の赤みです。

——1、2期の中でお気に入りのエピソードをあげるとしましたら。

リヒテンシュタインの出てくるところ、全てです。

——この〝国〟（キャラ）になりたい、などと思うことはありますか？

スイスで良かった…！

——収録現場のことをお伺いしたいのですが、どんな現場でしょうか？

和気あいあいです。

——今まで演じてこられて、楽しかったことを教えてください。

リヒテンシュタインの可愛らしさを味わえたことです。

——劇場版製作決定！ と聞いたときの感想をお願いします。

おぉ～！

——こっそり…どんな映画か教えてください。

う――ん…観てください（笑）。

——最後にファンへのメッセージをお願いします。

可愛いリヒテンシュタインを堪能してください！

——ありがとうございました。



PROFILE●
朴璐美（ぱく ろみ）1月22日生まれ。東京都出身。代表作『鋼の錬金術師（エドワード・エルリック役）』『NANA（大崎ナナ役）』など。



⬆リヒテンシュタインをすごく大切にしているスイス！

リヒテンシュタインは頑張り屋さん。

釘宮理恵 Rie Kugimiya

Ⓐⓢ リヒテンシュタイン



——キャラクターの第一印象と、演じられてからの違いがありましたら、教えてください。

第一印象は、か弱い儚げな人という感じでしたが、演じていくにつれて、すごく一生懸命で頑張り屋な面が見えてきました。

——リヒテンシュタインの魅力は？

清楚で真面目なところは、素晴らしい美点だなと思います。

——お気に入りのエピソードは？

スイスとのやりとりは、いつも独特の時間が流れているようで、どれも気に入っています。

——他になりたい国は？

シーランド!! この作品で初めて知った国なのですが、不思議な国で、とても興味深いです。

——どんな現場でしょうか？

賑やかで楽しい現場です。みんなが楽しみながら取り組んでいる気がします。

——楽しかった事を教えてください。

一番楽しいのは、自分の役名＝国名という、なんだかすごい体験をしていることだと思います！

——大変なことはありますか。

実は本編より歌※が大変でした（笑）。頑張りましたので、まだ聴いていない方がいれば、ぜひ聴いてみてください!!

——劇場版と聞いた時の感想は？

嬉しいです!! 今後もさらなる展開を期待しています!!

——どんな映画でしょうか？

とても可愛らしかったです。お楽しみに♥

——ファンへメッセージを。

これからも暖かい目で見守っていてください！ たくさんのかたに楽しんでいただければ何より嬉しいです！

——ありがとうございました。



PROFILE●
釘宮理恵（くぎみや りえ）5月30日生まれ。熊本県出身。代表作『鋼の錬金術師（アルフォンス・エルリック役）』『ハヤテのごとく！（三千院ナギ役）』など。

※「まるかいて地球」リヒテンシュタイン Ver.

実は天然のオーストリア。

笹沼尭羅 Akira Sasanuma

Ⓐⓢ オーストリア



——キャラクターの第一印象と、演じられてからの違いがありましたら、教えてください。

当初は紳士的な感じだと思っていたのですが、ただの天然でした。

——オーストリアの魅力は？

天然なところですね。

——お気に入りのエピソードをあげるとしましたら。

ちびたりあとのやりとり全般が好きですが、オーストリアの幼少時代を知る事ができた、スイスとの話もお気に入りです。

——他人のキャラでうらやましい、と思うことはありますか？

あります！ プロイセンのへこたれないポジティブさ。でも、プロイセンになりたいとは思わないなー。

——どんな現場でしょうか？

和気あいあいとしていると思います。ムードメーカーが多いからですかね！ 浪川さんや小西さん元さんや安やなんといっても小野坂さんが。

——楽しかった事は？

いっぱいあるから…。今はこの現場にいて作品に関われることが楽しいですね。

——劇場版と聞いた時の感想は？

びっくりし、そして嬉しいです。もっともっとヘタリアワールドが広がり、長く続いてほしいですね。

——こっそり…どんな映画か教えてください。

3Dです。飛び出します。24時間のお話です。未開の惑星に行き、先住民の体を借りて進む愛と友情の話です！

——ファンへメッセージを。

皆さん！ これからもずっと私と『ヘタリア』を応援なさい。浮気をしたら許しませんよ。この御馬鹿さんが!!

——ありがとうございました。



PROFILE●
笹沼尭羅（ささぬま あきら）3月25日生まれ。東京都出身。代表作『機動戦士ガンダムSEEDシリーズ（ディアッカ・エルスマン役）』『恋歌（ユン・ミンヒョン役）』など。

ハンガリーは穏やかなふんわり。

根谷美智子 Michiko Neya

Ⓐⓢ ハンガリー



——ハンガリーのチャームポイントはどこだと思われますか？

ふんわーりと穏やかなところだと思います。

——1、2期の中でお気に入りのエピソードをあげるとしましたら。

別人!? な感じのハンガリーの子ども時代ですね。

——他人のキャラでうらやましい、と思うことはありますか？

アメリカです。お気楽で能天気に過ごせる強さ。……かといって、アメリカになりたいとは思いませんが……。

——収録現場の事をお伺いしたいのですが、どんな現場でしょうか？

みんなが楽しそうに演じてるのを見てるのが楽しいです♥

——劇場版製作決定！ と聞いたときの感想をお願いします。

びっくり!! 大きな画面で観ると、どんな感じになるのか楽しみです。

——最後にファンへメッセージをお願いします。

劇場版も3期も、いろんなストーリー満載！ おなかいっぱいになれると思います。

——ありがとうございました。



PROFILE●
根谷美智子（ねや みちこ）10月4日生まれ。福井県出身。代表作『ヒャッコ（伊井塚龍姫役）』『テイルズ オブ ジ アビス（ナタリア・ルツ・キムラスカ・ランバルディア役）』など。



⬆ハンガリーさんは優しいステキなお姉さん♥



⬆オーストリアと一緒に暮らすハンガリーさん。

ウクライナは明るい後ろ向きお姉さん。

増田ゆき Yuki Masuda

AS ウクライナ

――キャラクターの第一印象と、演じられてからの違いがありましたら、教えてください。

第一印象はほんわかお姉さんで、今は明るい後ろ向きお姉さんです。

――ウクライナのチャームポイントはどこだと思われますか？

それはもう胸。胸！ 胸!!

――1、2期の中でお気に入りのエピソードをあげるとしましたら。

ロシアちゃんに迫るベラルーシちゃんですね。最強かも！

――実際にご自分でなってみたい国はありますか？

私の前世がドイツ人だったらしいので、ドイツさんがいいかな。

――収録現場のことをお伺いしたいのですが、どんな現場でしょうか？

楽しげな現場です。

――今まで演じてこられて、楽しかったこと、面白かったことを教えてください。

必要以上に胸が揺れる事ですね。それを考えながら演じるのが、楽しかったです。

――劇場版製作決定！ と聞いたときの感想をお願いします。

ばんざーい！ と思いました。嬉しいですね。ぜひ映画館で観てください♥

――最後にファンへのメッセージをお願いします。

映画化しちゃって、ごめんねー♥ ごめんねー♥

――ありがとうございました。



PROFILE●
増田ゆき（ますだ ゆき）2月9日生まれ。静岡県出身。代表作『金色のコルダ（天羽菜美役）』『あいまいみい！ストロベリー・エッグ（天和ひびき役）』など。



↑あのロシアにため息をつかせる姉妹は最強？

ベラルーシのすべては、愛の深さゆえ！

高乃 麗 Urara Takano

AS ベラルーシ

――キャラクターの第一印象と、演じられてからの違いがありましたら、教えてください。

「すっげぇ可愛い〜！」から「すっげぇ怖いい〜！」です。

――ベラルーシのチャームポイントはどこだと思われますか？

お兄ちゃんへの愛の深さですね。

――お気に入りのシーンは？

まだあまり登場のチャンスがないんですけど、主題歌の「まるかいて地球」、すごくいいですね〜！

――他人のキャラのこんなところがうらやましい、と思うことはありますか？

フランスさんの自由さがうらやましいです……。

――どんな現場でしょうか？

お兄ちゃんの高戸さんはキュートで優しいですし、お姉ちゃんの増田さんとは「私たちが姉妹なんてすごいねー」と話しています。しかも私のほうが妹なんてどんなキャラ設定だよ、オイオイ…（笑）、という感じです。

――今まで演じてこられて、楽しかったことを教えてください。

みなさんすごく楽しそうですよね。自由な雰囲気です。

――劇場版製作決定！ と聞いたときの感想をお願いします。

いやー、めっちゃびっくりしてます。

――どんな映画か教えてください。

私が教えてほしいぐらいです（笑）。

――最後にファンへメッセージをお願いします。

「愛」ゆえに相手を縛りたくなることってありますよね。ベラルーシの愛にお兄ちゃんが応えてくれるよう、皆さま応援よろしくお願いします!!

――ありがとうございました。



PROFILE●
高乃 麗（たかの うらら）8月16日生まれ。千葉県出身。代表作『サクラ大戦（マリア・タチバナ役）』『グレイズアナトミー恋の解剖学（ミランダ・ベイリー役）』など。

これからも可愛く迷惑にいきたいです。

たなかこころ Kokoro Tanaka

AS ポーランド

――キャラクターの第一印象と、演じられてからの違いは？

第一印象は可愛い!! 素の部分の可愛いらしさを表現しようと思いました。もうっ！ と思われながらも許されちゃう子になってると嬉しいです。

――ポーランドの魅力は？

マイペースさと天然なところ！ ワガママもズレてるところも、悪意がないから許されちゃうんだと思います。これからも可愛く迷惑にいきたいです。

――お気に入りのエピソードは？

1話と47話。…って、まだ2回しか出てない…。せっかくの登場回も、最後ポニーに美味しいところを持っていかれたような気が!? 悔しい（笑）。

――うらやましいキャラは？

ツッコミキャラはうらやましく思ってます。僕自身は決して天然ではないハズ…なので、華麗なツッコミをいつか披露したい（笑）。

――楽しかったことは？

ポーランドと出会って、新たな可能性を発見できたように思います。感謝ですね。すべてが楽しいですよ！

――大変だったことは？

「まるかいて地球」の収録ですね。初めての経験なので、毎日大声で練習して。おかげで本番は楽しくやれました。

――3期や映画化について、どんなお気持ちですか。

本当に嬉しいです。3期でポーランドの出番が増えますように！

――どんな映画か教えてください。

ポーランドはまさかのあのキャラと共演が!? お楽しみに！

――ファンへメッセージを。

これからも愛をもって演じていきます！ ヘタリアを、ポーランドを観て微笑んでもらえますように!!

――ありがとうございました。



PROFILE●
たなかこころ 5月21日生まれ。大阪府出身。代表作『マッドメン（ロイ役）』『新・上海グランド（チャオ・ミン役）』など。

リトアニアは墓穴掘りのヘタレキャラ。

武内 健 Ken Takeuchi

AS リトアニア

――キャラクターの第一印象と演じられてからの違いは？

最初は優しいキャラという印象が強かったですね。しかし、それもすぐヘタレキャラという印象に変わりました。

――チャームポイントは？

意図する事なく、ロシアさんの神経を逆撫でし、そして墓穴を掘るという天然っぷりがチャームポイントかと思います。

――お気に入りのエピソードは？

アメリカさんと過ごしたお話。まどろむような空気感が印象に残っています。リトアニアには珍しく、心安らかなエピソードでした（17話、20話）。

――なりたいキャラは？

いつもヘタレているので、たまには強国に…と思ったり思わなかったり。いや、リトアニアが一番です。本当に。

――どんな現場ですか？

登場するキャラが多いせいもあるかとは思いますが、常に賑やかな気がします。冗談が飛び交ってます。

――楽しかったことは？

基本的にいつも楽しんでいますが、リトアニアとしては、バルト三国が揃った時は密かに嬉しく思っていました。

――大変だったことは？

たまに出てくる英語やリトアニア語でのセリフが大変だったかもしれません。レクチャーを受けながら収録に臨みました。

――劇場版製作決定！ と聞いた時の感想をお願いします。

単純にビックリしました。嬉しい驚きですね。

――どんな映画でしょうか？

あんな事やこんな事、あまつさえそんな事まで!? 恋愛SFヴァイオレンスサスペンスドラマティックノンストップジェットコースタームービーです。

――ファンへメッセージを。

大きなスクリーンで見る劇場版ヘタリア、面白さ、魅力も大きくなっています。ぜひ、劇場でお楽しみ下さい。

――ありがとうございました。



PROFILE●
武内 健（たけうち けん）2月20日生まれ。東京都出身。代表作『Kiss×sis（住之江圭太役）』『MAJOR（及川役）』など。

僕のせい(?)で、キモイモイという新ワードが生まれてしまいました。

水島大宙

Takahiro Mizushima

AS フィンランド



――第一印象と、演じられてからの違いはありますか。

最初に抱いたイメージよりも、可愛く演じているかな、と思います。他のキャラクターよりも毒の少ない、平和なキャラだと思うので(笑)。普通に明るく、にこやかに朗らかに。

――フィンランドの魅力は？

ともすれば空気を読んでないような、無邪気さでしょうか(笑)。

――他にやってみたい国は？

個人的に好きなのはドイツですねー。堅物で頑固で強気なところがあるんですけど、最終的にものすごく人がいい。結局三国同盟の中でも一番頑張って、真面目に同盟を維持しようとしているのが、ドイツですよね。

――収録時の思い出は？

最初にモイモイを言った時に、失笑というか、怪訝というか、え？　それ？　っていう反応を、ほぼ全員がしました！　ちょうどその時期、別の吹き替えの仕事でフィンランド映画があったんですよ。実際にはチャオ！　みたいに『モイ』とか『モーイ』って使ってるんですが。色々試して、一番可愛らしい言い方にしたんです。でもスタジオ中に『キモイよ』といわれて。僕のせいで『キモイモイ』という新ワードが生まれてしまいました(笑)。

――劇場版と聞いた時の感想は？

おおーやるんだー、すごいな、っていうのと、もっと表現の幅が広がるのかなと思いました。でもどんな内容になるかは想像できないですね。

――ファンへメッセージを。

フィンランドはヘタリアの中でもやや毛色が違うキャラですが、あえてそれを好きと言っていただける皆さんには、ぜひ、もっとモイモイを出せ、と、アピールお願いします！

――ありがとうございました。



PROFILE

水島大宙（みずしま たかひろ）6月14日生まれ。神奈川県出身。代表作『ロミオ×ジュリエット（ロミオ役）』『コードギアス反逆のルルーシュR2（ロロ・ランペルージ）』など。

関西弁でしゃべるのが楽しいです！

井上剛

Go Inoue

AS スペイン



――キャラクターの第一印象と、演じられてからの違いはありますか。

スペインなので熱いキャラかと思っていたら、ホワ～ンとした天然キャラになってました！

――スペインの魅力は？

明るく前向きなところです。友だちにしたいタイプですね(笑)。

――お気に入りのエピソードは？

「ドイツジンシミュレーター」です。国民性が簡潔に表現されてて面白かったですね。二ヶ国語ナレーションをされていた金丸淳一さんに脱帽です！

――収録時の雰囲気を教えてください。

小野坂さんがいらっしゃる時の現場の盛り上がりはすごいです(笑)。

――今までで、楽しかった事は？

関西弁でしゃべれるのが楽しいです。ハイテンションの関西弁はクセになりますよ！

――逆に大変なことは？

関西出身の方が聞くと、関西弁が不自然みたいで、楽しい反面大変です。スペインの関西弁はこうなんだと思っていただけると助かります…。

――劇場版製作決定！　感想を。

本当に嬉しかったです。ゲーム化も願わずにはいられませーん！　それにスペインのキャラソンも(笑)。

――どんな映画ですか？

まさに『ヘタリア』らしい映画ですね。スペインも…すごいことになっております！　勇姿を観てください！

――最後にファンへメッセージをお願いします。

3期では、弟分ロマーノとのエピソードを楽しみにしています。関西弁…が、頑張りまーすッ！

――ありがとうございました。



PROFILE

井上 剛（いのうえ ごう）4月19日生まれ。佐賀県出身。代表作『結界師（翡葉京一役）』『NARUTO（邪光役）』など。

シーランドはもっと皆さんと絡みたいんです！　特にイギリス!!

折笠愛

Ai Orikasa

AS シーランド



思い込みが激しくめげないところがいい

――シーランド役に決まって、印象はいかがでしたか。

私としては、可愛いマスコット的な、ちょっと生意気なことは言うけれど、凛とした少年、っていうイメージだったんです。でも少し違う、と。世の中を斜めから見ていて、その中に可愛らしさが見えてくる方向で、と言うことで、軌道修正しました。

――ご自身で感じられるシーランドの魅力は？

まずめげない！　すごい思い込みが激しいんだけど、めげずに独立するんだって思っている。そこが実に少年ぽくって、やっていて心地いいですね。相手にされてないのに一生懸命な姿が、ちょっと愛おしいんです。観てる皆さんにもそんな風に思ってもらえたら嬉しいですね。

――ではご自分でなってみたい国はありますか？

やっぱりイギリスですね!!　杉山君にとって代わりたい(笑)。

収録は遊べる部分を広げて演じるのが楽しい

――収録現場はどんな感じですか？

あのね、圧倒的に男性が多いじゃないですか。それでみんな自由人！　もちろんいい意味で！　真剣に仕事はしてますが、その中での役の遊びみたいなところがいいんです。だから雰囲気がすごくいいんですよ。ムードメーカーの小西君とか、ずっとテンションが高い小野坂さんとかが、いつも現場を明るくしているので、その波に乗って私も、すごく楽しくお仕事させてもらってます。

――演じてこられて楽しかったことは？

カチッと決まってる部分じゃなくて、遊べる部分っていうのが、ちょこちょこっと作品の中で出てくるんですね。そういう所をみんなで広げて演じるのが楽しいですね。

――劇場版製作決定！　と聞いた時の感想をお願いします。

3期も決定しましたし、やったーって感じなんですけど。個人的にはシーランド、もっと皆さんと絡みたいな。シーランドはちょっと外れたところでひとりで呟くとか、話の輪の外から見ているシーンが多いので、いくらでも広げられる役なのではと、秘かに企んでます……いえいえ、願ってます(笑)。ぜひとも、劇場版でもチョコチョコチョコチョコ登場させてやって欲しいなって思います。

――制作陣へのアピールですね！

そうなんです。あ、もうひとつ！　じつはイギリスさんともそんなに絡めてないんです。もっとバトりたいですね！　いつも軽くあしらわれて終わってるので悔しいです！　もっと、絡まないと、とって代わられないし(笑)。

――最後にファンへのメッセージを。

シーランド、とても楽しんで演じさせてもらってます。そのスタジオの楽しい雰囲気がそのまま皆さんのところに届くよう頑張ります！　どうぞお楽しみに!!

――ありがとうございました。



➡初公開！　折笠さんが取得したシーランドの爵位です！

PROFILE

折笠 愛（おりかさ あい）12月12日生まれ。東京都出身。代表作『ロミオの青い空（ロミオ役）』『サクラ大戦（藤枝あやめ／藤枝かえで役）』など。



⬆体が小さくても元気で明るく、野望は大きい!?

ニュースを観ていると、キャラクターの顔が浮かんでくるんです。

平光琢也 Takuya Hiramitsu

シリーズ構成&音響監督

——最初に抱いたヘタリアの印象は?

『怪物ランド』(※1)のテイストに似ているな、と思いましたね。それで、3人の枢軸のメンバーに共感を持ったという感じかな。

——原作を現在のシリーズに構成する作業はどのようにされたのでしょうか。

最初「シリーズ構成は無理だ」って言ったんです。そしたら「この本を構成すればいい」とコミックスを渡されて、読んだら「これは楽しそうだ」と思ったんですね。さらにネットのネタ(※2)がドサッ! と届いたので、それを自宅のリビングにばーっと並べて、目についたネタをひとつ、例えば日記のネタを拾ったら、後は日記ネタを集めて、じゃあこれはドイツの日記にして……と、そういう感じで構成していきました。何かしらテーマにできる単語を見つけたら、それに合わせて作る。

——構成上、気をつけられている点は。

短くてストレートに笑えるネタから、ちょっと複雑なものまでをうまく配合しながら、なおかつ、できるだけひとつひとつのテーマで切りたいな、という点です。普通はそれで大勢で会議をして、第二校、第三校と出していくんですが、ヘタリアでは基本的にやった事がないですね。もちろん、監督とかプロデューサーとか原作元さんとか、核になる人達とのコンセンサスはとります。で、僕が出したそのままの時もありますし、監督が「ちょっとテーマに偏り過ぎてるから、もっと軽いもの入れようよ」と、雰囲気の違うものを差し込んだりします。

——シリーズ構成と音響監督の両方を担当されていますが。

シリーズ構成をやっているから、内容がわかっているという意味で、アフレコは指示しやすいですね。ネタの何がおもしろいか、テンポ、このお話はどういう方向に持っていこうかとかは、ぶれることがない。だから僕が「こうして」って言った事に役者サイドから「いや本当はこうしたいんです」というような事はないです(笑)。それは信頼関係だと思うんですけどね。

——印象に残っている回は?

みんなどれも面白いよね。音楽にたとえると、アルバム作ってるというより、シングル作ってる密度の濃さだから。アルバムは構成上の強弱ってあるんだろうけど、シングルだとどれもヒット曲で、どれも愛着ありますよね。ネタというよりも、キャラクターに愛着があるのかな? 現実のニュースを観てても、国名が出てくると、キャラクター達の顔が浮かんでくるから。



——劇場版はどう楽しめばいいですか?

大悪ふざけしているようで、けっこう真面目にやってる、って感じかな。オリジナルシナリオという事でドキドキしているんですが、ヘタリアのキャラクターが好きな方達には、楽しんでいただけると思いますね。

——ファンへメッセージをお願いします。

クラスでヘタリアを知らない人がいたら、そんな乗り遅れてる人には教えてあげましょう! テレビでは見られないものなので、ぜひ宣伝をお願いします。ヘタリアを観て、笑って、そしてよければ色んな事を考えてみてください。

——ありがとうございました。

※1 『怪物ランド』
平光琢也氏、赤星昇一郎氏、郷田ほづみ氏によるコントユニット。深夜番組「ウソップランド」で一躍人気に。
※2 ネットのネタ
日丸屋秀和先生のHP『キタユメ。』内のヘタリアネタ。

PROFILE
平光琢也(ひらみつ たくや)1月13日生まれ。岐阜県出身。俳優、演出家、脚本家、音響監督などマルチに活躍。

演じる役者さんのノリに、絵も負けずに頑張りたい。

河南正昭 Masaaki Kannan

キャラクターデザイン&作画監督

——『ヘタリア』と出会った時の印象はいかがでしたか?

最初に見た時はちょっと自分には向いてないのでは、とか思ってたんですよ。なので、決まった時は「まさか」って思いましたね。

——最初に描いたキャラクターは?

イタリアとちびたりあですね。自分がキャラクターデザインに決まったわけでもないのに、思わず描いてしまって…。描いたときは不安もあったんですが…。それを日丸屋先生や関係者の方に気に入ってもらえて嬉しかったです。最終的には自分の絵にどうしても寄ってしまいがちなんですが、日丸屋先生の線とか洋服の裾の描き方とか独特なので、それが活かせればいいなー、という意識はあったんですよ。

——描きやすいまたは描きにくいキャラクターなどありますか。

ドイツは難しいですねえ。パーツのバランスがとりにくいんです。目が大きいとか、そういう特徴がないので。日本もそうですね。描きやすいのはアメリカとかイタリアかな。イタリアは逆に目を開けた時が難しくなる。不自然な感じになっちゃう事があるんです。そうですね、あと、イギリスの眉毛は、手抜きとか汚く見えないギリギリの線を出すのに試行錯誤しましたね。全部自分でやれればいいけど、動画さんとか仕上げさんの工程もありますから。その担当者の捉え方でも変わってくるんですよ。ラフなイメージで描いたカットを、几帳面な仕上げさんがキッチリと全部補正してくれてキレーなシーンになったり、逆にラフすぎて只のヘタレに見えたり…(笑)。

——劇場版用にキャラクターデザインを作り直されたそうですが。

全体的にトゲトゲ感をなくした感じかな。まったり柔らかな、ふっくら系にしたつもりです。毎年そうなんですが、他の作品を見てると自分の絵が古く感じてくるんですよね。それが一年の事でも。「これが流行りだよ」っていう絵柄の、時代を作れる天才がいるじゃないですか。でも『ヘタリア』に関してはプロデューサーも、スタッフの名前でコアなファンのみに訴えるものではなく、誰が作ってるか知らないけれど、面白いな、親しみを感じるな、という作品になればとメインのスタッフや関係者の方も言って下さっているので、僕の絵でもいいのかな。

——3期ではどこに注目して観ていただきたいですか?

必要以上にキャラクターを動かすというよりは、表情重視でいければいいかなと思ってます。もっとキャラクターに合った表情をつけてあげたいですし。演じてくださる役者さんのノリがすごいので、絵も負けないよう、頑張らないと。



——劇場版の見どころを教えてください。

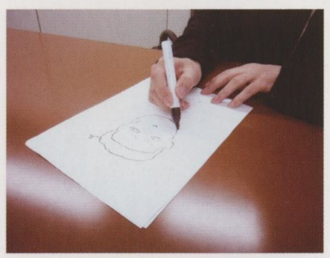
アクションシーンは見映えがするんじゃないかと思います。色もキレイですし。

——最後にファンへ一言お願いします。

劇場版に関しては出し尽くせた感があります。期待して下さい! 今後も頑張ります。

——ありがとうございました。

PROFILE
河南正昭(かんなん まさあき)7月23日生まれ。兵庫県出身。スタジオディーン所属。代表作『TVシリーズるろうに剣心(作画監督)』『TVシリーズHUNTER HUNTER(作画監督)』『TVシリーズ銀牙伝説 WEED(キャラクターデザイン)』他多数。



⬆本書のために自画像を描いてくださっている河南氏。

歌詞以外の部分も各国の特徴が出るようにしました。

紗希
Saki
作詞＆作曲

——「まるかいて地球」を作った具体的な経緯を教えていただけますか。

最初は作詞のコンペで、その時に曲もあったらぜひ、ということだったんですね。歌詞を考えながら同時に曲もラフアレンジもできたので全部お渡ししたら、いい反応をいただいて。ただ、マーチ風で楽しいものをとの事だったので、最初に完成したのはスタンダードなゆったりめのマーチだったんです。

——「まるかいて地球」の発想はどんなところから湧いたのでしょうか。

最初の曲に対して、「『変さ』が足りない」って言われたんです（笑）。真面目すぎるって。それで歌詞を練り直していた時に、ぱっと浮かんだのが「まるかいて地球」という言葉です。ちょうどその頃、趣味で地学を勉強していて、ヘタリアのコミックにも地球が描いてあったので、キーワードになるんじゃないかと思ったんです。丸ひとつでも、想像を膨らませると、みんながひとつになれる地球が出来上がるな、とか、そういう発想がどんどん出てきて、そこから「ひとふでで見える素晴らしい世界」というフレーズも生まれたんです。

——最初は〝イタリアの歌〟というイメージでしたか？

イタリアの歌というより、ヘタリアのメインテーマ、というイメージで書かせていただきました。他のバージョンでは「俺はドイツ」などと入れていますが、最初だけ「僕ヘタリア」と言わせているのは、それが所以なんです。主題歌が出来上がったのちに各国バージョンのお話をいただいたので、そこからそれぞれの名前を入れるようになりました。

——各国の曲を作る時の思い出を教えてください。

手始めに、国のことについて資料探しをたくさんしました。プロデューサーさんと国会図書館に行ったり、大使館と電話やメールのやりとりをしたり。資料は緻密にあたっていったんです。

——お気に入りやこだわりのフレーズは？

工夫したのは、歌の部分以外にも国の感じが出るように、という点です。たとえば間奏は、ロシアだったらロシア民謡の「コロブチカ」を入れてみたりとか、日本だと日本古来の慎ましやかな雰囲気を醸し出してみたりとか。アメリカは自由奔放さが出るようにギターをかき鳴らしてみたり、歌以外の所でも楽しんでもらいたいなと思いました。

——3期の新曲も用意されているということですが。

「まるかいて地球」のスケールを超越したい！と思って気合いを入れて作りました。よりワールドワイドな感じが伝わるかなと思っています。アップダウンがついて、ドラマチックな展開にできたので個人的にも気に入っております。

——ファンへ一言お願いします。

クオリティに厳しい現場ですが、ファンの方に楽しんでいただこうと、一生懸命やってきました。ヘタリアファンの皆さんが「まるかいて地球」をここまで大きくしてくれたことをとても嬉しく思っています。本当にありがとうございます。

——ありがとうございました。



PROFILE
紗希（さき）10月4日生まれ。埼玉県出身。2002年 Sony Music Audition　グランプリ受賞。デビュー曲「恋物語」。他、楽曲提供多数。



ヘタリア主題歌
「まるかいて地球」
発売元：株式会社フロンティアワークス
販売元：株式会社メディアファクトリー

紗希さんから、各国の「まるかいて地球」についてコメントをもらっちゃいました!!

ドイツ
ドイツは民族楽器のひとつとして鞭があったので、おもしろいからリズムにしちゃおう！と。「まるかいて地球ピシー！」みたいな（笑）。

日本
和風の雅な雰囲気が出したいと思っていましたので、雅楽で使われるような楽器や、尺八などを使ってアレンジしました。

イギリス
ストレートなバンド編成のロックを作りたいなと思って、ベース・ドラム・ギター・トランペットは、すべて生演奏をしていただいてます。

アメリカ
始めはR&B（リズムブルース）やヒップホップを意識したんですが、やりすぎるとヘタリアっぽくなくなっちゃう。とにかく俺がヒーローだ、他のキャラが入る隙は許さない、という雰囲気で、ギターはアグレッシブに演奏していただいてます。

フランス
おしゃれで上品、美しい情景が見えるものにしたいな、と思いました。少し大人の雰囲気も欲しかったので、ヴァイオリンやアコーディオンの生演奏を入れました。

ロシア
ロシアのおちゃめなところを表現したくて、可愛らしい音を使っています。後半にはロシアさんの怖い部分を入れようと思って、自宅のピアノを両手で押さえつけて「ズーン」ってやって（笑）。そうして弾いた音をいくつか素材にして、重みを出してみました。

中国
本場の空気を感じてみたくて、実際に上海に取材に行きました。歯切れのよいリズムに二胡（にこ）や揚琴（ようきん）などの伝統楽器で雄大さをプラスしました。

スイス
リヒテンシュタインを可愛がる気持ちを歌詞で表現しました。朴（璐美）さんがアドリブでもセリフを入れてくださって、より妹想いの曲になりましたね。

プロイセン
歌詞を考えていた時、「俺様」流に自由に歌うプロイセンが浮かび、「俺・様・栄誉賞～」のくだりが生まれました。ライブ感が欲しかったので、高坂（篤志）さんにレコーディング現場でハンドマイクをお渡しして「ここはライブ会場ですので好きに動いてください」と、実際に動きながら自由に歌っていただきました（笑）。

リヒテンシュタイン
アレンジも編成も、「お兄様とお揃い」をキーワードに作り、スイスを慕ってやまない気持ちを表現しました。ラップの部分ですが、他のキャラはそれぞれの国の言葉で、「お父さん」「お母さん」と続いていくんですけど、彼女はBruder（お兄さん）しか言っていないんです（笑）。

オーストリア
高貴さを出すために、25人編成のオーケストラ録音をさせていただきました。最初は静かに7人＋コンダクターで進行していき、後ろの幕をバッと開いたら、実はもう17人もいました！ というメリハリのある構成にしてみました。実際レコーディングでもそのとおりの並びにしてもらって、とても豪華な曲になりました。

ポーランド＆リトアニア
親友同士なので、2人でまったく同じ歌詞を入れてみたり、同じ構成にしてみたりして、友情の厚さを表現してみました。2曲を続けて聞いていただいた時に楽しんでいただけるよう工夫しました。

ちびたりあ
あの愛くるしいルックスそのままに、可愛くてふわふわしたものにしたかったんです。金田さんの声こそが命！だと思ったので、その声が生きるように気をつけました。

神聖ローマ
神聖ローマは切ないほどイタリアを想ってる、というキャラクターだったので、感情を入れやすかったですね。神聖ローマになりきった気持ちで書いた曲です。

Goods Collection



Mobile

商品名	販売元	備考
動画配信(1期・2期)	モバイルアニメイト	1話～13話は会員無料、14話～有料
動画配信(3期)	モバイルアニメイト	1話無料、2話～1週間非会員無料、2週目から有料
待受画像	モバイルアニメイト	会員無料(会員登録時に315円の入会費が必要)・随時追加更新
デコメール(テンプレート・パーツ)	モバイルアニメイト	随時追加更新
Flashゲーム(モバイル)	モバイルアニメイト	
着信メロディ・待受Flash	モバイルアニメイト	
きせかえツール(i-mode/ez/SoftBank)	モバイルアニメイト	
モバアニコレクション	モバイルアニメイト	随時追加更新
ヘタリラ(ラジオ配信)	モバイルアニメイト	無料
メールマガジン	モバイルアニメイト	無料
キャラ☆ブログ	モバイルアニメイト	会員無料(6／1～配信予定)
着信ボイス	モバイルアニメイト	
着信ボイス	キャラボ天国	
着信ボイス	ぐるメロボイス	モバイルアニメイト関連サイト
ヘタリラ(ラジオ配信)	声優アニメイト	無料
ヘタリラ(ラジオ配信)	ポケット★ドラマCD	無料
mixiコレクション	mixiモバイル	随時追加更新
着うた®	アニうた革命	随時追加更新
着うたフル®	アニうた革命フル	「まるかいて地球」
着うたフル®ショートサイズ	アニうた革命フル	キャラクターソングのショートサイズ配信

PC

商品名	販売元	備考
動画配信(1期・2期／1M)	アニメイトＴＶ	視聴可能期間7日間(有料)
動画配信(1期・2期／1M)パック販売	アニメイトＴＶ	視聴可能期間は21日間、2話より10話ずつパック販売
動画配信(3期/500k)	アニメイトＴＶ	1週間無料配信
動画配信(3期／1M)	アニメイトＴＶ	視聴可能期間7日間(有料)
ヘタリラ(ラジオ配信)	アニメイトＴＶ	

●モバイルアニメイト　http://www.animatemobile.net/ (PC ページ)
●アニメイトＴＶ　http://www.animate.tv/
発売／フロンティアワークス
※上記の情報は2010年5月現在のものです。

ヘタリア Axis Powers スタッフ&キャスト



STAFF
原作：日丸屋秀和『ヘタリア Axis Powers』(幻冬舎コミックス刊)
企画：及川 武、岩崎篤史、高橋君枝、安田正樹
監督：ボブ白旗
シリーズ構成：平光琢也
キャラクターデザイン・総作画監督：河南正昭
美術監督：高橋麻穂
色彩設計：もちだたけし
撮影監督：下崎 昭
編集：松村正宏
音楽プロデューサー：吉川 明
音楽制作：フロンティアワークス
音楽：コーニッシュ
音響監督：平光琢也
効果：出雲範子
音響制作：ダックスプロダクション(平田 哲、西島浩志)
プロデューサー：野村美加、高橋和也、岡田昭彦
アニメーションプロデューサー：松田桂一
アニメーション制作：スタジオディーン
製作：ヘタリア製作委員会

CAST
イタリア／ロマーノ：浪川大輔
ドイツ：安元洋貴
日本／キューバ：高橋広樹
アメリカ／カナダ：小西克幸
イギリス：杉山紀彰
フランス：小野坂昌也
ロシア：高戸靖広
中国：甲斐田ゆき
リトアニア：武内 健
エストニア／プロイセン／ギリシャ：高坂篤志
ポーランド／ラトビア：たなかこころ
スペイン：井上 剛
フィンランド：水島大宙
スイス：朴 璐美
リヒテンシュタイン：釘宮理恵
シーランド：折笠 愛
幼アメリカ：岩村愛子
ちびたりあ：金田アキ
オーストリア：笹沼尭羅
神聖ローマ：金野 潤
ハンガリー：根谷美智子
ウクライナ：増田ゆき
ベラルーシ：高乃 麗

ローマ帝国：郷田ほづみ





主題歌マキシCD「まるかいて地球」

DVD



ヘタリア Axis Powers
vol.1／第1話～7話収録



vol.4／
第20話～26話収録



vol.3／
第14話～19話収録



vol.2／
第8話～13話収録



vol.8／第46話～52話収録



vol.7／
第40話～45話収録
vol.6／
第34話～39話収録
vol.5／
第27話～33話収録



サウンドワールドCD

CD





プロローグ2　プロローグ



Vol.2　Vol.1　インターバルVol.1

Drama CD



アニメイト限定版
DVD特典
収納スリーブ　vol.1

vol.4　vol.3　vol.2



vol.8　vol.7　vol.6　vol.5

Character CD



Vol.4 イギリス（CV：杉山紀彰）
Vol.3 日本（CV：高橋広樹）
Vol.2 ドイツ（CV：安元洋貴）
Vol.1 イタリア（CV：浪川大輔）



Vol.8 中国（CV：甲斐田ゆき）
Vol.7 ロシア（CV：高戸靖広）
Vol.6 アメリカ（CV：小西克幸）
Vol.5 フランス（CV：小野坂昌也）

BOOKS

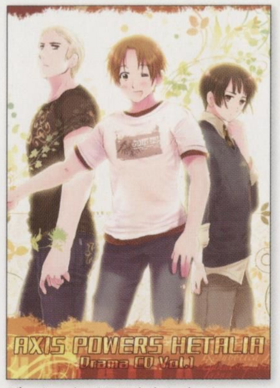


アニメ絵コンテ集2(G)
アニメ絵コンテ集1(G)
歌って奏でるヘタリア～キャラクターCD完全ガイド～(G)



アニメファンブック ワールドワイドウォーキング(G)
アニメ絵コンテ集4(G)
アニメ絵コンテ集3(G)

Calendar



ジャケットイラストトレカ／ドラマCD Vol.1特典（F）



日めくりスクールカレンダー2010～2011（G）



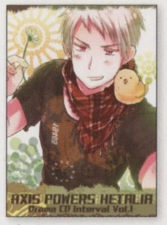
2010年版カレンダーシール



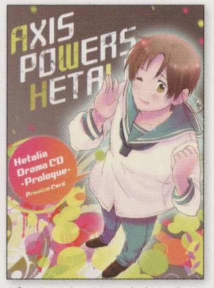
Trading card



トレーディングカード／枢軸（F）
枢軸ボックス特典封入トレカ（F）
トレーディングカード／連合（F）
連合ボックス特典封入トレカ（F）



ジャケットイラストトレカ／ドラマCD インターバルVol.1特典（F）



ジャケットイラストトレカ／ドラマCD プロローグ特典（F）



プレゼントカード／トレカ25点応募プレゼント特典（F）



特製スリーブ／ドラマCD Vol.2 アニメイト特典（F）



ジャケットイラストトレカ／ドラマCD Vol.2特典（F）



トレーディングカードバインダー（F）



DVD・CDファイル

Dress Sticker



ドレスステッカー／イタリア&アメリカ&イギリス



ドレスステッカー／イタリア&ドイツ&日本&アメリカ



Poster



スティックポスター



劇場版ポスター



スティックポスターファイル

Greeting card



クリスマスカード／CD「サウンドワールド」初回版特典（F）

Post card



ポストカード／CD「まるかいて地球」初回版特典（F）

Ticket



劇場版チケット／「まるかいて感謝祭」イベント会場限定



劇場版特典付きチケット



Daily necessaries

ミニクロック
A イタリア / B ドイツ / C 日本 / D アメリカ / E イギリス / F フランス

イタリアのパスタイマー

イギリスのカップ&ソーサー

パスタ皿

長靴で乾杯グラス

音声入り目覚まし時計
B 連合国 / A 枢軸国

Food

お土産風クッキー
B 日本 / A イタリア / C イギリス

パスタソース
A ボンゴレトマト / B ミートソース

お菓子ブーツ

ポケッツ
A ウエハース(枢軸国) / B クッキー(連合国)

ペットボトル
紅茶(イギリス) / 緑茶(日本)

ペットボトル飲料購入特典トートバッグ

Relaxation

日本の入浴セット

カラコレ ヘタリアントレーディングマスコット Aボックス
ボックス購入特典：ロマーノ

ミニ国旗セット／ドラマCD Vol.1 アニメイト特典

ミニ国旗セット2／ドラマCD Vol.2 アニメイト特典

イギリスの日本文化体験の湯

うれしい記念日の湯／アニメイト池袋店限定



Miscellaneous goods

マイクロファイバーハンドタオル(F)

ロシアのマフラータオル

前売券バンドルストラップ(F)
A 枢軸 / B 連合

紙製ティッシュケース

そくひえ

プロイセンの小鳥ストラップ

ストラップ

うちわ

ポーチ
B 連合国 / A 枢軸国

キーホルダー

携帯窓拭き
A イタリア&ドイツ / B イタリア&日本 / C ドイツ&日本

ミラー
A 枢軸国 / B 連合国

Accessories

ピンズ
A 北イタリア / B ドイツ / C 日本 / D アメリカ / E イギリス / F フランス / G 中国 / H ロシア

対応ペンダント

対応ストラップ

リトルアクセサリーコレクション
ボックス購入特典 ちびたりあ&神聖ローマ

Collector's item

メタルチャームコレクションA
ボックス購入特典：ロマーノ(金)

メタルチャームコレクションB
ボックス購入特典：ロマーノ(銀)

ぬいぐるみ第1弾
A ちびたりあ / B 南イタリア / C ドイツ / D 日本 / A 北イタリア / E アメリカ / F イギリス / G フランス

ぬいぐるみ第2弾
D オーストリア / C プロイセン / B 神聖ローマ / F リヒテンシュタイン / E ハンガリー

カラコレ ヘタリアントレーディングマスコットBボックス
ボックス購入特典：白旗マスコット

ヘタリア Axis Powers
アニメオフィシャルガイド

Cooking Guide



Cooking Guide

Stationery

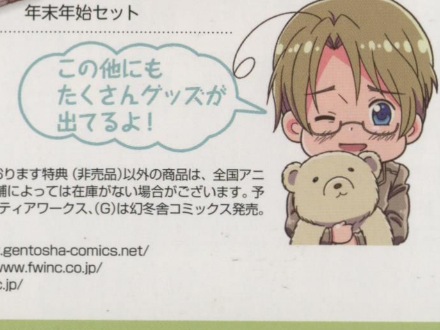


New Year



Anniversary





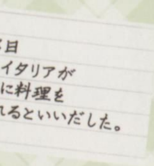
※117～120ページでご紹介しております特典（非売品）以外の商品は、全国アニメイト他にて発売されましたが、店舗によっては在庫がない場合がございます。予めご了承下さい。末尾に(F)はフロンティアワークス、(G)は幻冬舎コミックス発売。他はムービック発売となります。

幻冬舎コミックスHP http://www.gentosha-comics.net/
フロンティアワークスHP http://www.fwinc.co.jp/
ムービックHP http://www.movic.jp/

イタリアごはんを作ってみた！
「トマトとモッツァレラのパスタ」

BOKURA NO SHOKUTAKU





材料 ——— 2人分



①パスタ 200ｇ ②ホールトマト 1缶
③バジル 4〜6枚、パルメザンチーズ 適量
④モッツァレラチーズ 1個
⑤オリーブオイル 大さじ4 ⑥塩 適量
⑧にんにく 1／2片、唐辛子 1本

1

鍋にオリーブオイル、にんにく、唐辛子を入れて中火にかけ、にんにくの香りが出たら、ホールトマトを入れる。その後、塩をふたつまみ入れて、弱めの中火で煮込む。10分ほど煮込んだら、手でちぎったバジルを入れ、弱火にする。



2

塩を入れたたっぷりのお湯でパスタを茹でる。（茹で時間は使用するパスタの表示に合わせる）



3

茹で上げたパスタを1の鍋に加えて、ダイスカットしたモッツァレラチーズを合える。お皿に盛った後、パルメザンチーズを削って乗せると彩りに。









ドイツごはんを作ってみた！
「ヴルスト＆サワークラウト」

BOKURA NO SHOKUTAKU



材料 ——— 2人分



①ヴルスト 6本、キャベツ 1／2個
②酢 25cc ③塩 10g ④砂糖 10g
⑤コショウ 少々
⑥ローリエ 1枚、唐辛子 1本
⑦キャラウェイシード 小さじ1／2
⑧白ワイン 15ｃｃ



1

［サワークラウト］
キャベツを５mm幅ほどのザク切りにして、塩を加え、しんなりするまでもんで水気を取る。キャラウェイシード、コショウ、ローリエと唐辛子を混ぜ、キャベツと一緒に弱火で火にかける。キャベツから水分が出てきたら、白ワインと砂糖、酢で味をなじませる。

2

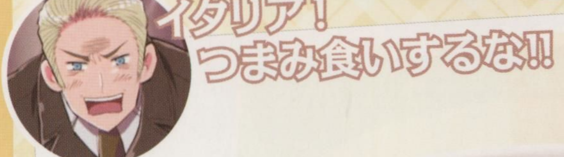
［ヴルスト］
ヴルストはたっぷりのお湯で茹でる。そのとき、グツグツと煮え立たないように注意する。















日本ごはんを作ってみた！

「肉じゃが」



材料 ―――― 2人分



①じゃがいも 2個、にんじん 1/4本、玉ねぎ 1/2個、さやいんげん 6本
②だし汁 300cc ③牛バラ薄切り肉 100g
④酒 大さじ2 ⑤みりん 大さじ3
⑥砂糖 5g ⑦しょうゆ 50cc ⑧油 大さじ1

1

じゃがいもは一口大に切り、10分ほど水にさらす。にんじんは乱切り、玉ねぎはくし型に切る。鍋に油を熱し、牛肉を炒める。肉の色が変わったらにんじん、玉ねぎ、さやいんげんを加える。その後、じゃがいもを入れる。

2

全体に油がまわったら、だし汁、みりん、酒、砂糖を加え強火にかける。煮立ったらアクをとり除き、しょうゆを加えて落とし蓋をして、中火で10分煮る。





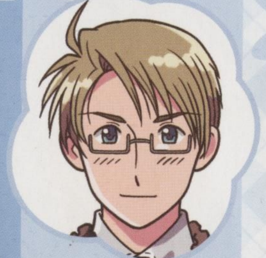






アメリカごはんを作ってみた！

「ハンバーガー」



材料 ―――― 2人分



①レタス 2枚 ②ミートパテ 2枚
③パンズ 2枚 ④マヨネーズ 少々
⑤ピクルス 1本 ⑥ケチャップ 少々
⑦バター 少々



1

バターをフライパンにひき、ミートパテを焼く。焦げ色がついたら、裏返して弱火で中まで火を通す。

2

パンズにバターをぬり、レタス、輪切りにしたピクルス、マヨネーズ、ミートパテを重ねる。











ヘタリア Axis Powers
アニメオフィシャルガイド

Illustration Gallery 2



Illustration Gallery 2

BOKURA NO SHOKUTAKU

イギリスごはんを作ってみた！
【フィッシュ&チップス】



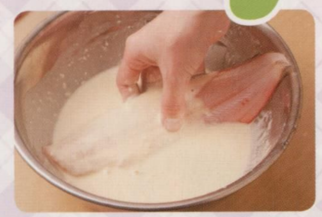


材料 ―――― 2人分



①じゃがいも　2個、
グリンピースのソテー　適量、卵　1個
②塩 少々　③薄力粉 40g　④ビール 40cc
⑤白身魚　2切れ

1
溶き卵にビールの半分を加えて、よく混ぜ、薄力粉と塩を加えて、なめらかになるまで泡だて器でよく混ぜる。残りのビールを足しながら混ぜて、クリーム状になったら、30分ほど置く。



2
塩をすり込んだ魚の表面に薄く薄力粉をつけてから、1の衣をつける。さらにもう一度薄力粉をまぶして、数分置く。じゃがいもは、棒状にして水につけ、その後水気をとっておく。









3
低めの温度（160℃程度）でじゃがいもを揚げる。次は高温（190℃）にして、じゃがいもを揚げる。その後、中温（180℃程度）で魚を中まで火が通るまで揚げる。

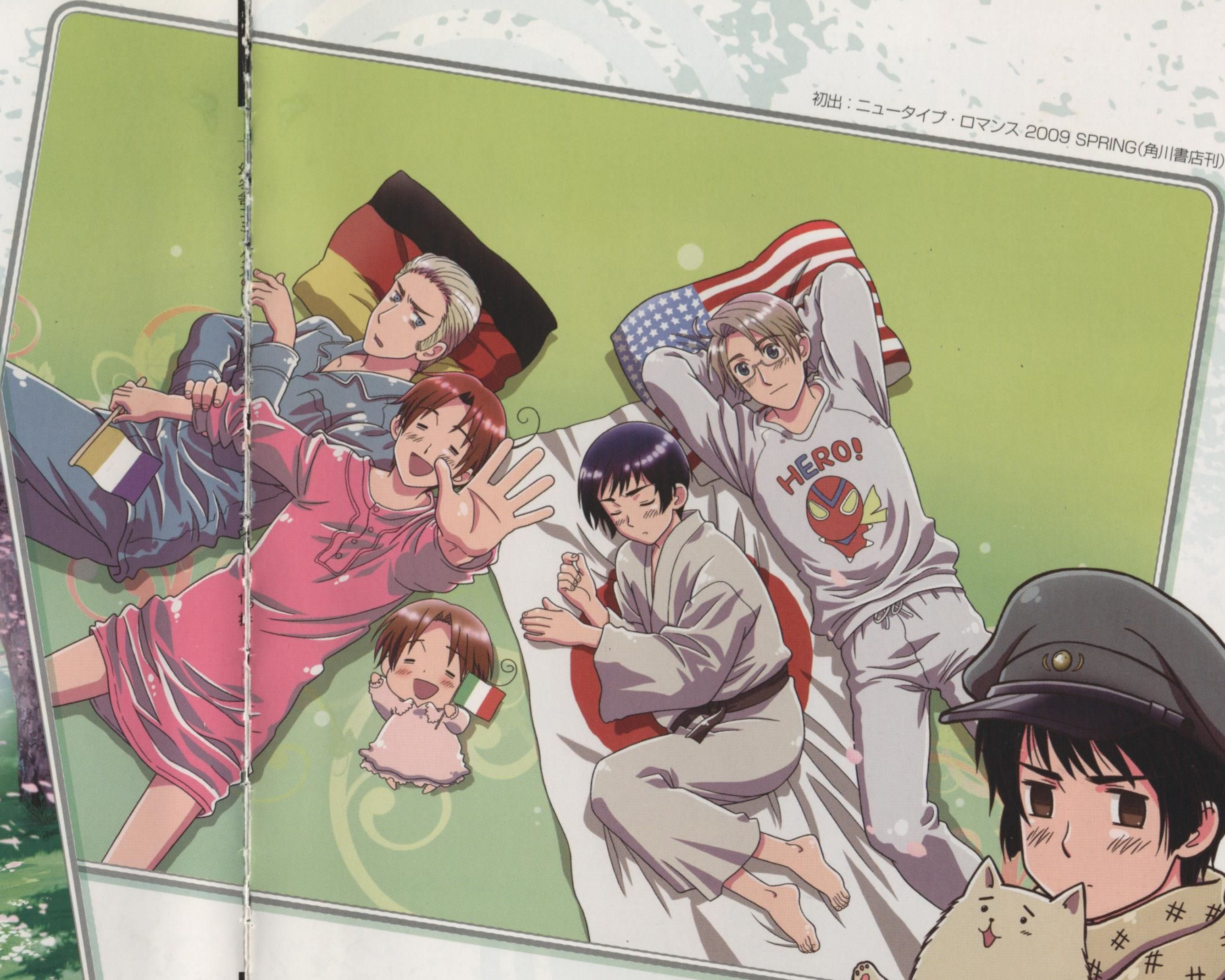




英国紳士・伝統の一品！



初出：2010年カレンダー 3-4月
（ムービック）



初出：ニュータイプ・ロマンス 2009 SPRING（角川書店刊）



初出：プリンスアニメージュ
2010 winter（徳間書店刊）



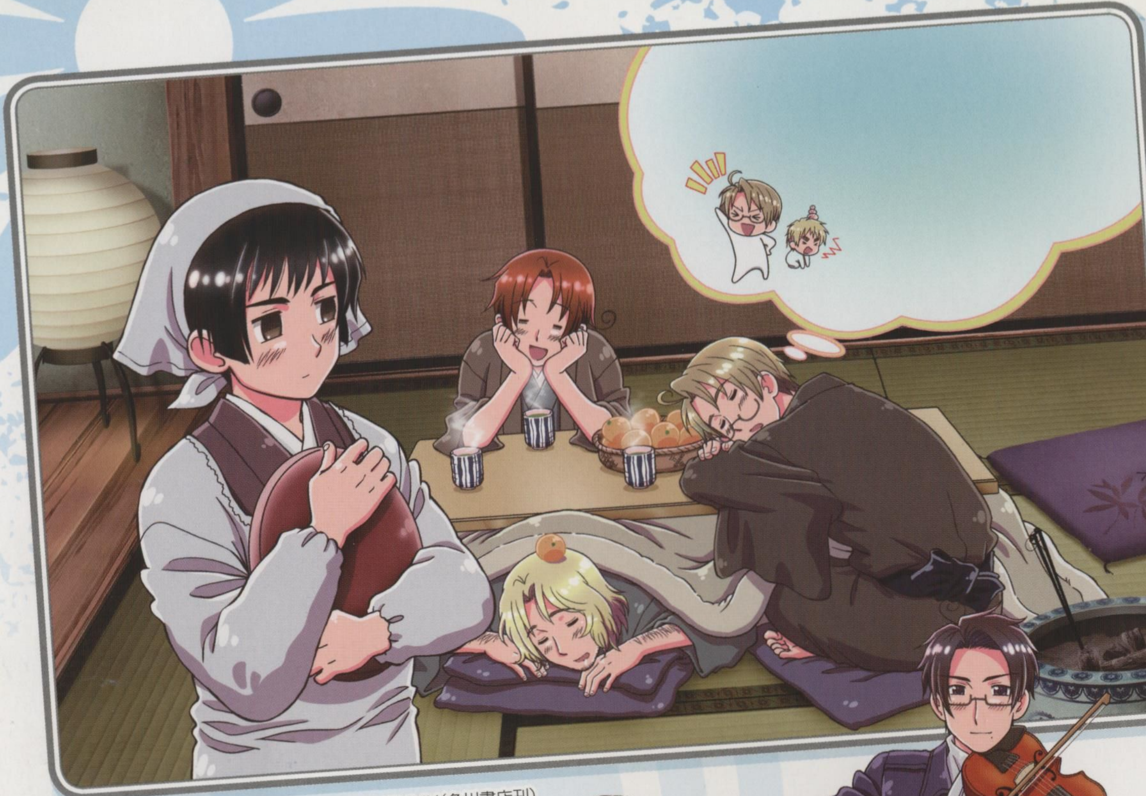
初出：2010年カレンダー 7-8月(ムービック)



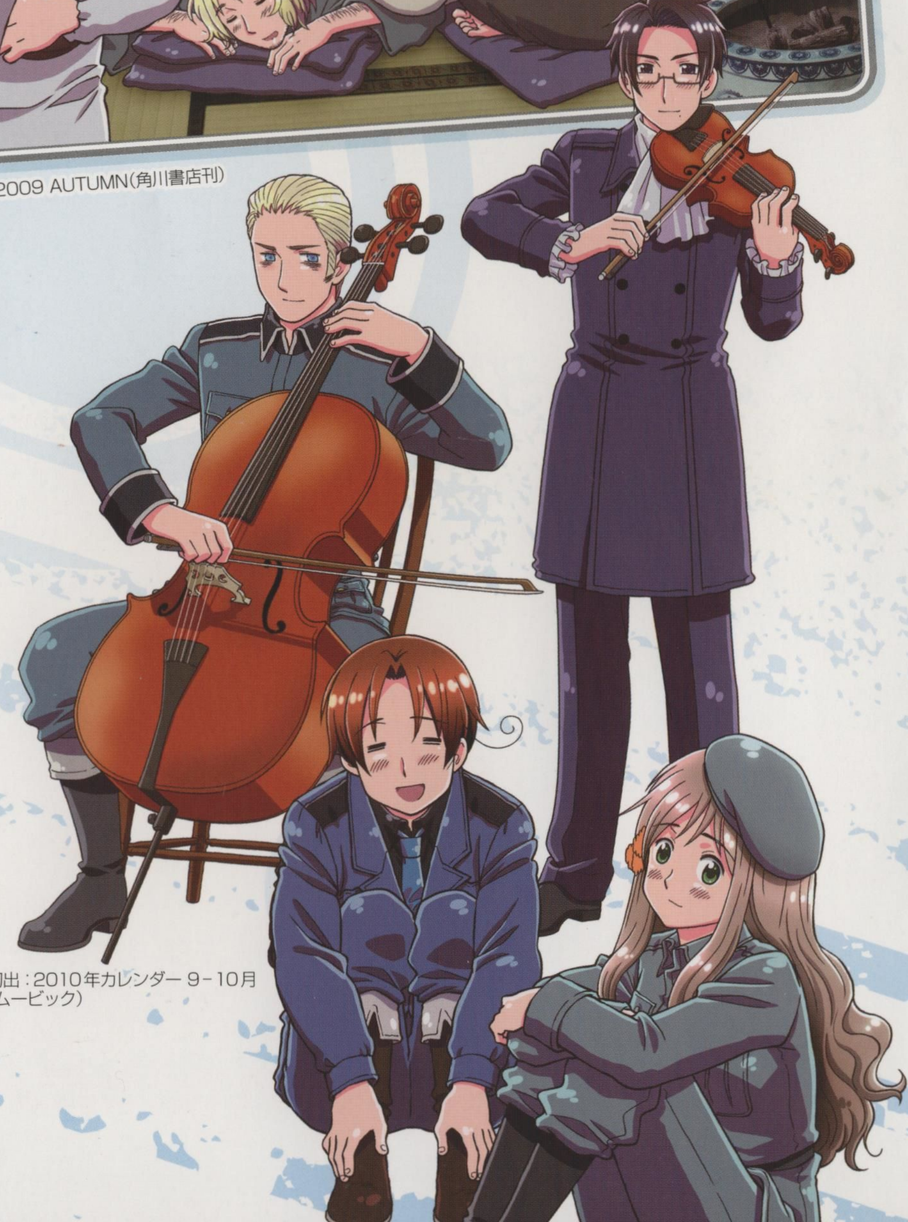
初出：2010年カレンダー 5-6月(ムービック)



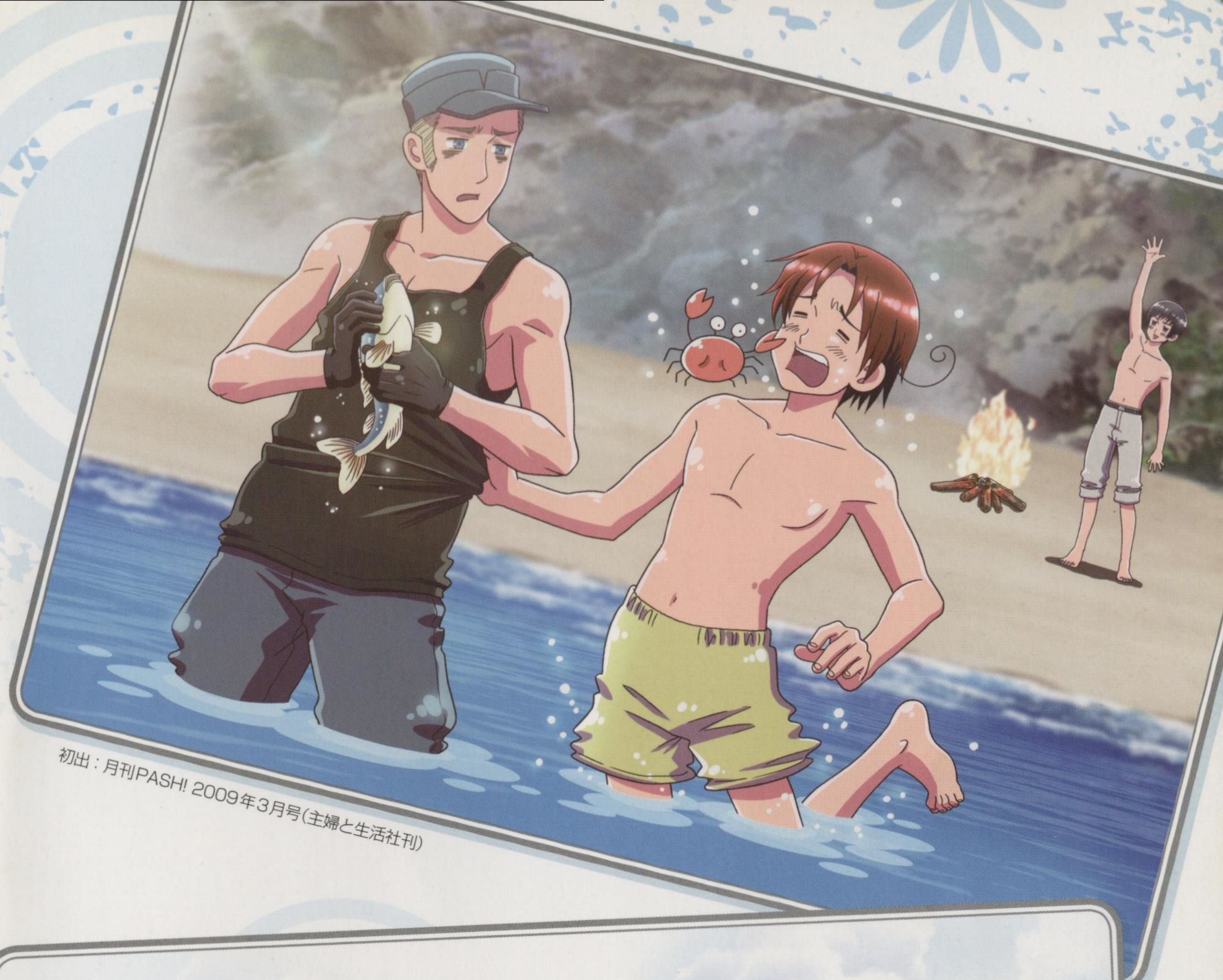
初出：月刊PASH! 2009年7月号(主婦と生活社刊)



初出：ニュータイプ・ロマンス 2009 AUTUMN(角川書店刊)



初出：2010年カレンダー 9-10月
(ムービック)



初出：月刊PASH! 2009年3月号(主婦と生活社刊)



初出：ニュータイプ・ロマンス 2009 SUMMER(角川書店刊)





初出：2010年年賀状申込セットA・B
（ムービック）



初出：2010年カレンダー 11－12月
（ムービック）



初出：月刊アニメージュ2009年12月号（徳間書店刊）



初出：へたりあかるた
(ムービック)



初出：月刊アニメージュ
2010年2月号(徳間書店刊)



初出：月刊PASH! 2010年1月号(主婦と生活社刊)



初出：2010年カレンダー 1-2月
(ムービック)

Theater Version

Theater Version





ヘタリア Axis Powers 話数別スタッフリスト

話数	絵コンテ	演出	作画監督
第 1 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 2 話	ボブ白旗	鈴木芳成	斎藤哲人
第 3 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 4 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 5 話	ボブ白旗	鈴木芳成	古屋敦子
第 6 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 7 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 8 話	ボブ白旗	鈴木芳成	江森真理子
第 9 話	ボブ白旗	鈴木芳成	古屋敦子
第 10 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 11 話	ボブ白旗	鈴木芳成	秋山由樹子
第 12 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 13 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 14 話	ボブ白旗	鈴木芳成	古屋敦子
第 15 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 16 話	ボブ白旗	鈴木芳成	江森真理子
第 17 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 18 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 19 話	ボブ白旗	鈴木芳成	なかじまちゅうじ
第 20 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 21 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 22 話	ボブ白旗	鈴木芳成	なかじまちゅうじ
第 23 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 24 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 25 話	ボブ白旗	鈴木芳成	江森真理子
第 26 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 27 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 28 話	ボブ白旗	鈴木芳成	なかじまちゅうじ
第 29 話	ボブ白旗	鈴木芳成	杉田葉子
第 30 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 31 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 32 話	ボブ白旗	鈴木芳成	江森真理子
第 33 話	ボブ白旗	鈴木芳成	なかじまちゅうじ
第 34 話	ボブ白旗	鈴木芳成	中山由美
第 35 話	ボブ白旗	鈴木芳成	江森真理子
第 36 話	ボブ白旗	鈴木芳成	岡真里子
第 37 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 38 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 39 話	ボブ白旗	鈴木芳成	江森真理子
第 40 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 41 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 42 話	ボブ白旗	鈴木芳成	なかじまちゅうじ
第 43 話	ボブ白旗	鈴木芳成	中山由美
第 44 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 45 話	ボブ白旗	鈴木芳成	江森真理子
第 46 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 47 話	ボブ白旗	鈴木芳成	なかじまちゅうじ
第 48 話	ボブ白旗	鈴木芳成	江森真理子
第 49 話	ボブ白旗	鈴木芳成	岡真里子
第 50 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 51 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭
第 52 話	ボブ白旗	鈴木芳成	河南正昭






USA
France
UK
Russia
中華街
China
Italy
Germany
Japan


銀幕
ヘタリア
Axis Powers
Paint it, White (白くぬれ!)
2010.6.5
「世界」が変わる。


Mystery
謎
運命
Fate
ACCIDENT
事件
助けて〜!!!
うおおお!!

【イラスト初出】
カバーイラスト　描き下ろし
ピンナップイラスト　描き下ろし
P1　キービジュアル第１弾
P3　スティックポスター・イタリア（ムービック）
P17　月刊アニメディア 2009 年 11 月号（学研パブリッシング刊）
P59　スティックポスター・ドイツ（ムービック）
P77　2010年カレンダー・フランス（ムービック）
P114　アニメ 絵コンテ集1、3（幻冬舎コミックス刊）
P115　2010年カレンダー・中国（ムービック）
P116～120　アニメCD「サウンドワールド」ジャケット（フロンティアワークス）
P121　モバイルアニメイト配信用・イギリス（フロンティアワークス）
P127　モバイルアニメイト配信用・日本（フロンティアワークス）
P138　アニメDVD初回限定版・アニメイト限定版CDレーベル4、5（フロンティアワークス）
P139　「劇場版 銀幕ヘタリア」特典ポスター（フロンティアワークス）
P143　「劇場版 銀幕ヘタリア」キービジュアル（フロンティアワークス）

ヘタリア Axis Powers
アニメオフィシャルガイド

発行日　2010 年 5 月 31 日　第 1 刷発行

発行人　伊藤嘉彦

発行元　株式会社 幻冬舎コミックス
〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷4-9-7
電話　03-5411-6436（編集）

発売元　株式会社 幻冬舎
〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷4-9-7
電話　03-5411-6222（営業）
振替　00120-8-767643

印刷・製本所　図書印刷株式会社

JASRAC　出1005546-001

カバー・ピンナップイラスト　河南正昭（かんなんまさあき）

企画・編集　高橋君枝　藤田みちよ
装丁　あうんクリエイティブ
本文デザイン　株式会社 サンプラント
編集協力　ひまわり編集事務所
フードコーディネイト　田中みさと
撮影　富森浩幸　株式会社 スタジオ ネモ

制作協力　株式会社 フロンティアワークス、株式会社 スタジオ ディーン、
株式会社 ダックスプロダクション、株式会社 アクロス エンタテインメント、
株式会社 シグマ・セブン、株式会社 マック・ミック、
株式会社 ぷろだくしょんバオバブ、株式会社 青二プロダクション、
株式会社 賢プロダクション、株式会社 Y・M・O、
株式会社 アーツビジョン、有限会社 B-Box、
株式会社 リマックス、株式会社 マウスプロモーション、
株式会社 アイムエンタープライズ、株式会社 円企画、
株式会社 ソニー・ミュージックアーティスツ（順不同）

Special Thanks　日丸屋秀和　ポプ白旗　松田桂一　野村美加　岩田充裕

幻冬舎コミックスホームページ	http://www.gentosha-comics.net

ISBN978-4-344-81937-5　C0979　Printed in Japan